

令和3年度

主要な施策に関する説明書

(一 般 会 計)

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により令和3年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

令和3年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の歳出決算額は、総額で約188億699万円、前年度に比べ約13%、金額にして約27億193万円の大幅な減となっています。

その主な要因は、令和2年度に実施した特別定額給付金給付の完了に伴うものですが、新型コロナウイルスワクチン接種事業を始めとした新型コロナウイルス感染症対策事業関連経費、介護、医療、福祉といったいわゆる社会保障関連経費は、引き続き増加傾向にあります。

一方、少子高齢化による人口減少社会にあっても、これまでの定住人口の増加に向けた区画整理事業等の都市基盤整備の成果により、一定の水準で町税収入を確保することができ、町の魅力を向上させ交流人口・定住人口の増加に向け都市基盤整備など将来につながる投資を進めると共に、持続可能な財政運営の実現に向け各種施策を推し進めました。

他方、国では、「日本の未来を拓く4つの原動力～グリーン、デジタル、活力ある地方創り、少子化対策～」の推進を目標に掲げる「経済財政運営と改革の基本方針2021」を定め、「感染症に対し強靱で安心できる経済社会の構築」「経済の好循環の加速・拡大」の実現に向けた新たな施策を展開すると共に、地方創生の更なる深化を推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、令和3年度は、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の初年度として新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

令和4年度も引き続き皆様の声を聴き、皆様の声を活かし、将来に渡ってこのまちに住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

令和4年 8月25日

宮代町長 新井 康之

目 次

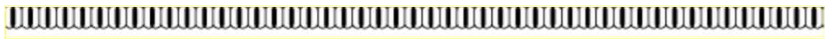
1 一 般 会 計 -----	1 頁
令和3年度 一般会計歳入歳出決算状況 -----	2 頁
令和3年度 一般会計歳出性質別決算状況 -----	6 頁
地方債現在高の状況 -----	8 頁
地方債の借入先別-利率別現在高の状況 -----	8 頁
令和3年度 決算状況総括表 -----	10 頁
歳 入	
1) 町 税 -----	12 頁
2) 地 方 譲 与 税 -----	13 頁
3) 利 子 割 交 付 金 -----	13 頁
4) 配 当 割 交 付 金 -----	13 頁
5) 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 -----	13 頁
6) 法 人 事 業 税 交 付 金 -----	14 頁
7) 地 方 消 費 税 交 付 金 -----	14 頁
8) 環 境 性 能 割 交 付 金 -----	15 頁
9) 地 方 特 例 交 付 金 -----	15 頁
10) 地 方 交 付 税 -----	15 頁
11) 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 -----	16 頁
12) 分 担 金 及 び 負 担 金 -----	16 頁
13) 使 用 料 及 び 手 数 料 -----	16 頁
14) 国 庫 支 出 金 -----	17 頁
15) 県 支 出 金 -----	18 頁
16) 財 産 収 入 -----	19 頁
17) 寄 附 金 -----	19 頁
18) 繰 入 金 -----	20 頁
19) 繰 越 金 -----	20 頁
20) 諸 収 入 -----	21 頁
21) 町 債 -----	21 頁
22) 自 動 車 取 得 税 交 付 金 -----	22 頁

歳 出

第5次宮代町総合計画 前期実行計画	-----	23 頁
1) 議 会 事 務 局	-----	69 頁
2) 総 務 課	-----	71 頁
3) 企 画 財 政 課	-----	79 頁
4) 住 民 課	-----	87 頁
5) 税 務 課	-----	93 頁
6) 町 民 生 活 課	-----	101 頁
7) 環 境 資 源 課	-----	115 頁
8) 福 祉 課	-----	121 頁
9) 子 育 て 支 援 課	-----	131 頁
10) 健 康 介 護 課	-----	147 頁
11) 産 業 観 光 課	-----	167 頁
12) ま ち づ くり 建 設 課	-----	175 頁
13) 教 育 推 進 課	-----	185 頁
2 国民健康保険特別会計	-----	213 頁
3 介護保険特別会計	-----	233 頁
4 後期高齢者医療特別会計	-----	265 頁



一 般 会 計



令和3年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

令和3年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業を始めとした新型コロナウイルス感染症対策関連事業のほか、高齢化を背景とする社会保障関連経費が引き続き増加する状況下での財政運営となりました。

歳入では、町税は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による個人町民税、税率改定による法人町民税の減及び評価替えによる既存家屋の減価等による固定資産税、都市計画税の減を背景に町税全体では前年度に比べ減額となりました。一方、各種交付金は、地方消費税交付金が交付原資（県税）の増に伴い増額となるなど、全体でも増額、地方交付税は、国勢調査人口の増加及び高齢者人口の増加等による基準財政需要額の拡大に伴い増額し、一般財源総額も前年度に比べ増額しました。

歳出では、義務的経費は、新型コロナウイルスワクチン接種実施に伴い人件費等が増額となったほか、高齢化を背景とした社会保障関連経費が引き続き増加しました。投資的経費は、引き続き都市計画道路整備事業や東武動物公園駅東口周辺整備事業等の都市基盤整備、国庫補助を活用した東小学校教室新設工事等を実施してまいりましたが、旧ふれ愛センターを新たな福祉交流拠点とするためのリニューアル工事の完了等により減額となりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスワクチン接種の実施、子育て世帯等臨時特別支援事業給付金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金や事業者・お店支援金の支給等の事業を実施しました。その結果、歳出総額は115億6,234万円、前年度に比べ30億382万円の減額となりました。

このような中、令和3年度は第5次宮代町総合計画前期実行計画の初年度として、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

「構想1 宮代らしさを価値として高めていく」では、西原自然の森フェスタ2021を開催し西原自然の森の魅力向上を図りました。また、アーティスト等とのマッチングモデル事業としての作品展や演奏会の実施、町の魅力の情報発信力向上のための「みんなが地域の特派員制度」を創設しました。

「構想2 コンパクトな町の強みを活かす」では、75歳以上の高齢者等にタクシー助成券を交付する「高齢者等タクシー助成事業」を開始しました。また、都市基盤整備として、引き続き道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線整備及び東武動物公園駅東口駅前広場整備等を実施しました。

「構想3 さまざまな活動や主体を生み出す」では、地域の高齢者サロンや子育て支援事業者と連携した子どもの居場所づくりイベントを開催しました。また、宮代町教育支援センターの設置準備をするとともに、包括的な支援体制を構築しました。

「構想4 社会環境の変化に対応し行政運営を変化させ続ける」では、将来予測される児童生徒数の変化に応じた学校施設の規模と適正配置について、審議会の答申を受け方向性を検討しました。また、公共施設マネジメント会議や市民参加のワークショップを開催し「第2期公共施設マネジメント計画」を策定しました。

令和4年度も、引き続き、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業を着実に進めてまいります。

令和3年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,778,862	29.6	112	△ 81,153
2 地 方 譲 与 税	92,083	0.7	3	1,185
3 利 子 割 交 付 金	2,711	0.0	0	△ 583
4 配 当 割 交 付 金	26,602	0.2	1	9,192
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	31,575	0.2	1	10,763
6 法 人 事 業 税 交 付 金	23,293	0.2	1	13,427
7 地 方 消 費 税 交 付 金	689,346	5.4	20	61,052
8 環 境 性 能 割 交 付 金	12,055	0.1	0	△ 534
9 地 方 特 例 交 付 金	48,591	0.4	1	812
10 地 方 交 付 税	2,709,556	21.2	81	490,397
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,171	0.0	0	△ 460
12 分 担 金 及 び 負 担 金	64,365	0.5	2	△ 4,602
13 使 用 料 及 び 手 数 料	35,738	0.3	1	3,375
14 国 庫 支 出 金	2,756,029	21.6	82	△ 2,430,134
15 県 支 出 金	747,358	5.9	22	△ 51,215
16 財 産 収 入	29,671	0.2	1	10,099
17 寄 附 金	26,899	0.2	1	△ 81,644
18 繰 入 金	299,030	2.4	9	△ 265,842
19 繰 越 金	610,431	4.8	18	60,854
20 諸 収 入	233,758	1.8	7	15,396
21 町 債	543,900	4.3	16	△ 170,957
22 自 動 車 取 得 税 交 付 金	5	0.0	0	5
歳 入 合 計	12,766,029	100.0	379	△ 2,410,567

令和4年3月31日現在人口
33,656人

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,860,015	25.5	3,767,817	町民税の減等による減
90,898	0.6	90,322	交付原資（国税）の増
3,294	0.0	3,146	交付原資（県税）の減
17,410	0.1	20,482	交付原資（県税）の増
20,812	0.1	12,349	交付原資（県税）の増
9,866	0.1	0	交付割合の拡大に伴う増
628,294	4.1	503,938	交付原資（県税）の増
12,589	0.1	6,106	交付原資（県税）の減
47,779	0.3	86,635	地方税減収補填特別交付金の交付に伴う増
2,219,159	14.7	2,120,407	65歳以上人口の増による高齢者福祉費の増額及び国勢調査人口の増による算定経費の増等に伴う普通交付税の増
4,631	0.0	4,151	交付原資の減
68,967	0.5	114,763	保育所保護者負担金の減
32,363	0.2	71,129	駐輪場使用料の増 開発許可等申請の権限移譲による都市計画手数料の増
5,186,163	34.2	1,173,398	特別定額給付金給付事業補助金の皆減による減
798,573	5.3	702,788	社会保障関連経費の増に伴う県負担金の増 埼玉県ふるさと創造資金の減
19,572	0.1	17,952	普通財産売払収入の増
108,543	0.7	65,854	宮代町らしいまちづくりのための寄付金（ふるさと納税）の減
564,872	3.7	594,324	財政調整基金繰入金の減
549,577	3.6	587,858	前年度決算剰余金の増
218,362	1.4	239,822	埋蔵文化財発掘事業受託事業収入の増による増
714,857	4.7	573,711	西原自然の森整備事業及び消防団第3分団詰所改修工事の完了に伴う減
0	0.0	20,174	令和元年度に廃止された自動車取得税交付金の過年度分追加交付
15,176,596	100.0	10,777,126	

歳出の状況

款名	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比 (%)	人口1人当たり	
1 議会費	102,779	0.9	3	788
2 総務費	1,460,392	12.6	43	△ 3,629,024
3 民生費	4,770,145	41.3	142	617,204
4 衛生費	1,282,016	11.1	38	386,352
5 労働費	836	0.0	0	△ 125
6 農林水産業費	210,893	1.8	6	△ 30,155
7 商工費	120,856	1.0	4	△ 113,719
8 土木費	1,057,830	9.2	31	△ 85,580
9 消防費	488,935	4.2	16	△ 73,748
10 教育費	1,223,425	10.6	36	△ 102,353
11 公債費	844,030	7.3	25	26,374
12 諸支出金	205	0.0	0	163
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	11,562,342	100.0	344	△ 3,003,823

令和4年3月31日現在人口
33,656人

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
101,991	0.7	100,022	議場用映像音響設備機器使用料の増
5,089,416	34.9	1,634,967	特別定額給付金の給付完了による減
4,152,941	28.5	3,905,141	子育て世帯等臨時特別支援事業給付金の給付に伴う増 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付に伴う増
895,664	6.1	805,267	新型コロナウイルスワクチン接種事業の開始に伴う増
961	0.0	1,105	勤労者住宅資金貸付制度預託金の減
241,048	1.7	263,708	農業施設修繕の減及び新しい村育苗施設トイレ改修工事等 完了に伴う減
234,575	1.6	106,264	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策プレミアム付商品 券発行事業の完了による減
1,143,410	7.9	966,393	下水道事業会計に対する補助金の減
562,683	3.9	590,955	消防団（第3分団）詰所建替工事の完了に伴う減
1,325,778	9.1	1,050,819	小中学校児童生徒1人1台情報端末整備完了に伴う減 小中学校情報通信ネットワーク整備工事の完了に伴う減
817,656	5.6	802,870	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始に伴う増
42	0.0	38	
0	0.0	0	
14,566,165	100.0	10,227,549	

令和3年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	3年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	
1 人 件 費	1,876,874	16.2	63,257
うち 職 員 給	1,170,474	10.1	41,327
2 物 件 費	1,733,946	15.0	42,188
3 維 持 補 修 費	44,348	0.4	△ 18,738
4 扶 助 費	2,802,308	24.3	680,682
5 補 助 費 等	1,932,774	16.7	△ 3,493,647
一部事務組合に対するもの	993,412	8.6	21,159
そ の 他	939,362	8.1	△ 3,514,806
6 普 通 建 設 事 業 費	773,687	6.7	△ 215,223
補 助 事 業 費	348,455	3.0	148,805
単 独 事 業 費	396,207	3.4	△ 337,724
県 営 事 業 負 担 金	29,025	0.3	△ 26,304
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	844,031	7.3	26,375
8 積 立 金	291,642	2.5	△ 75,702
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	△ 30,000
10 貸 付 金	125	0.0	△ 125
11 繰 出 金	1,262,607	10.9	17,110
合 計	11,562,342	100.0	△ 3,003,823

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
1,813,617	12.5	1,698,356	新型コロナウイルスワクチン接種に係る人件費の増
1,129,147	7.8	1,140,470	フルタイム会計年度任用職員数の増加等による職員給料の増 超過勤務手当の増
1,691,758	11.6	1,562,382	新型コロナウイルスワクチン接種に係る委託料の増
63,086	0.4	60,475	道仏土地区画整理事務所撤去完了に伴う減
2,121,626	14.6	1,925,857	子育て世帯等臨時特別支援事業給付金の給付に伴う増 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付に伴う増
5,426,421	37.3	1,307,243	
972,253	6.7	944,245	久喜宮代衛生組合負担金の増
4,454,168	30.6	362,998	特別定額給付金の給付完了に伴う減
988,910	6.8	742,300	
199,650	1.4	367,285	東小学校教室新設工事の実施に伴う増
733,931	5.0	368,175	福祉作業所等施設整備の完了に伴う減 消防団（第3分団）詰所改修工事の完了に伴う減
55,329	0.4	6,840	東武動物公園駅東口周辺整備事業にかかる街路事業負担金の減
0	0.0	0	
0	0.0	0	
817,656	5.6	802,869	過年度分臨時財政対策債の元金償還開始等に伴う増
367,344	2.5	341,401	宮代まちづくり基金積立金の減
30,000	0.2	0	下水道事業会計に対する出資金の減
250	0.0	400	勤労者住宅資金貸付制度預託金の減
1,245,497	8.5	1,786,266	国民健康保険特別会計繰出金の増
14,566,165	100.0	10,227,549	

地 方 債 現 在

区 分	令和2年度末 現在高 A	令和3年度 発行額 B
1 普 通 債	2,808,046	159,600
(1) 総 務 債	398,273	
(2) 民 生 債	666,742	12,100
(3) 衛 生 債	381,701	
(4) 土 木 債	998,660	85,500
(5) 消 防 債	94,634	
(6) 教 育 債	268,036	62,000
2 そ の 他	5,737,073	384,300
(1) 減 税 補 て ん 債	59,354	
(2) 減 収 補 て ん 債	30,700	6,000
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	5,647,019	378,300
合 計	8,545,119	543,900

地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借入先 \ 利率別	令和2年度末 現在高 A	令和3年度 発行額 B	令和3年度 元金償還額 C	令和3年度末 現在高 D(A+B-C)
1 財 務 省	4,037,603	259,201	395,170	3,901,634
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構	243,973		25,658	218,315
3 地方公共団体金融機構	3,058,462	232,099	223,267	3,067,294
4 市中銀行等	930,223	52,600	136,542	846,281
5 共済組合等	25,358		5,115	20,243
6 埼 玉 県	249,500		14,163	235,337
合 計	8,545,119	543,900	799,915	8,289,104

高 の 状 況

(単位 千円)

令和3年度 元金償還額 C	令和3年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
281,466	2,686,180	1,185,594	1,500,586
37,133	361,140		361,140
52,559	626,283	290,867	335,416
36,865	344,836	100,674	244,162
108,681	975,479	704,958	270,521
4,901	89,733		89,733
41,327	288,709	89,095	199,614
518,449	5,602,924	2,895,457	2,707,467
18,444	40,910	40,910	
3,067	33,633	27,633	6,000
496,938	5,528,381	2,826,914	2,701,467
799,915	8,289,104	4,081,051	4,208,053

利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

令和3年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.0% 超
3,721,235	20,742	149,993	3,731	3,142			2,791	
65,656		152,659						
2,561,797	494,266	3,931	3,691	2,588			1,021	
668,545	177,736							
20,243								
235,337								
7,272,813	692,744	306,583	7,422	5,730			3,812	

令和3年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
歳入総額 A	12,766,029	15,176,596	10,777,126
歳出総額 B	11,562,342	14,566,165	10,227,549
歳入歳出差引額 (A - B) C	1,203,687	610,431	549,577
翌年度へ繰越すべき財源 D	183,197	124,744	74,808
実質収支 (C - D) E	1,020,490	485,687	474,769
単年度収支 F	534,803	10,918	△ 22,450
財政調整基金積立金額 G	243,952	237,643	248,831
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	28,175	298,237	260,594
実質単年度収支 (F + G + H - I)	750,580	△ 49,676	△ 34,213

2 基金の現在高

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
財政調整基金	1,300,034	1,084,257	1,144,851
(主な増減理由) 決算剰余金の積み立てによる増			
減債基金	3,519	3,515	3,514
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
公共施設整備基金	621,468	607,687	559,255
(主な増減理由) 普通財産売払い収入の積み立てによる増			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	2,742	4,261	3,606
(主な増減理由) 医療機器リース料の財源としての取り崩しによる減			
宮代まちづくり基金	28,219	59,158	86,381
(主な増減理由) ふるさと納税の減額による減			
土地開発基金	328,983	328,778	328,736
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
育英基金	16,908	18,305	19,628
(主な増減理由) 小中学校教材教具購入費の財源としての取り崩しによる減			
森林環境譲与税積立基金	8,291	4,914	1,572
(主な増減理由) 森林環境譲与税の積み立てによる増			
合 計	2,310,164	2,110,875	2,147,543

3 財政指標

	3年度	2年度	元年度
実質公債費比率	6.0%	6.3%	6.5%
将来負担比率	-	6.5%	4.1%
財政力指数	0.613	0.633	0.635
経常収支比率	88.0%	91.9%	94.0%
実質収支比率	13.7%	7.0%	7.1%
標準財政規模	7,473,220千円	6,944,050千円	6,710,416千円

※令和3年度の将来負担比率は指数なしのため「-」と表記しています。

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は16ページを参照ください)

4 人口

(単位 人)

	3年度	2年度	元年度
住民基本台帳	33,656	33,792	33,969

5 国勢調査

(単位 人)

	2年国勢調査	27年国勢調査	22年国勢調査
人口	34,147	33,705	33,641
第1次就業人口	298	315	353
第2次就業人口	3,331	3,551	3,499
第3次就業人口	11,545	10,861	11,221
(分類不能)	595	854	606

6 職員数等の状況

	3年度	2年度	元年度
(一般職員)職員数	188人	186人	180人
平均年齢	43.09歳	44.02歳	45.20歳
一人当たりの給料月額	315,403円	317,492円	322,958円
ラスパイレス指数	95.8	94.3	94.1

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体(市町村など)の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

1 款 町

税

決算書 P11

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
3,536,717,000	3,778,862,309	△81,152,309	3,860,014,618	3,767,816,951

現年度課税分では、主に個人及び法人町民税等の減少により前年度に比べ79,033,166円(2.1%)の減、滞納繰越分では、滞納調定額の縮小により前年度に比べ2,119,143円(8.1%)の減、町税全体では、81,152,309円(2.1%)の減となりました。

税目別では、個人町民税は所得割の減少により前年度に比べ33,038,999円(1.8%)の減となり、法人町民税は法人税割の減少により前年度に比べ36,145,300円(31.8%)の減となりました。

固定資産税は、評価替えによる既存家屋の減価等により前年度に比べ22,156,368円(1.4%)の減、都市計画税は固定資産税同様に前年度に比べ4,273,836円(2.7%)の減となりました。

軽自動車税は、軽四輪乗用等の増加により前年度に比べ4,017,942円(5.8%)の増となり、町たばこ税は、令和3年10月の税率改定に伴い前年度に比べ12,563,395円(7.6%)の増となりました。

(単位 円)

		3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
現年度課税分	町 民 税	1,831,912,949	△69,184,299	1,901,097,248	1,836,117,287
	個人町民税	1,754,550,449	△33,038,999	1,787,589,448	1,733,552,187
	法人町民税	77,362,500	△36,145,300	113,507,800	102,565,100
	固定資産税	1,518,958,400	△22,156,368	1,541,114,768	1,508,269,789
	都市計画税	152,732,987	△4,273,836	157,006,823	153,232,918
	軽自動車税	73,402,100	4,017,942	69,384,158	65,162,510
	町たばこ税	177,881,559	12,563,395	165,318,164	173,037,809
	計	3,754,887,995	△79,033,166	3,833,921,161	3,735,820,313
滞納繰越分	町 民 税	12,896,663	△1,183,659	14,080,322	18,646,950
	個人町民税	12,102,543	△1,415,379	13,517,922	18,113,950
	法人町民税	794,120	231,720	562,400	533,000
	固定資産税	9,660,857	△549,748	10,210,605	11,212,957
	都市計画税	897,594	△243,136	1,140,730	1,290,457
	軽自動車税	519,200	△142,600	661,800	846,274
	計	23,974,314	△2,119,143	26,093,457	31,996,638
町 税 合 計		3,778,862,309	△81,152,309	3,860,014,618	3,767,816,951

※国有資産等所在市町村交付金525,700円は固定資産税(現年度課税分)に含む

※軽自動車税は種別割及び環境性能割の合計

(単位 千円)

都市計画税充当事業	充当額	主な内容
都市計画道路整備事業	41,364	(都)春日部久喜線の整備
東武動物公園駅西口周辺整備事業	2,191	(都)中央通り線の整備
東武動物公園駅東口周辺整備事業	22,104	駅前広場の整備
都市計画事業公債費	87,972	都市計画事業に係る元利償還金
充 当 額 合 計	153,631	

2款 地方譲与税

決算書 P13

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
64,772,000	92,083,000	1,185,000	90,898,000	90,322,009

地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税及び森林環境譲与税の交付原資拡大により、地方譲与税全体で増額しました。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
地方揮発油譲与税	22,987,000	591,000	22,396,000	22,874,000
自動車重量譲与税	65,726,000	566,000	65,160,000	65,876,000
森林環境譲与税	3,370,000	28,000	3,342,000	1,572,000
地方道路譲与税	0	0	0	9
合計	92,083,000	1,185,000	90,898,000	90,322,009

3款 利子割交付金

決算書 P15

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
3,400,000	2,711,000	△583,000	3,294,000	3,146,000

県民税利子割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

4款 配当割交付金

決算書 P15

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
16,700,000	26,602,000	9,192,000	17,410,000	20,482,000

県民税配当割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が拡大し、交付額は増額しました。

5款 株式等譲渡所得割交付金

決算書 P15

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
14,400,000	31,575,000	10,763,000	20,812,000	12,349,000

県民税株式等譲渡割額に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が拡大し、交付額は増額しました。

6款 法人事業税交付金

決算書 P15

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
10,600,000	23,293,000	13,427,000	9,866,000	-

法人事業税（県税）に原資を拠っていますが、交付割合の拡大に伴い、交付額は増額しました。

7款 地方消費税交付金

決算書 P15

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
572,100,000	689,346,000	61,052,000	628,294,000	503,938,000

地方消費税（県税）に原資を拠っていますが、景気の動向等により交付原資が拡大し、交付額は増額しました。

(単位:円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
従 来 分	278,818,000	11,499,000	267,319,000	271,099,000
社会保障財源化分	410,528,000	49,553,000	360,975,000	232,839,000
合 計	689,346,000	61,052,000	628,294,000	503,938,000

※ 社会保障財源化分は平成26年4月及び令和元年10月から引き上げられた地方消費税相当分で、この収入は社会保障施策に要する経費に活用するものとされ、令和3年度分は、以下の事業に活用しました。

【社会保障財源化分（引上げ分）を活用した社会保障施策に要した経費】

(単位:千円)

事業名	事業費	特定財源	一般財源	引上げ分		
				引上げ分	その他	
社会福祉	社会福祉	384,432	265,013	119,419	20,098	99,321
	障がい者福祉	875,261	582,105	293,156	49,337	243,819
	高齢者福祉	34,446	219	34,227	5,760	28,467
	児童福祉	2,193,627	1,498,695	694,932	116,956	577,976
	小計	3,487,766	2,346,032	1,141,734	192,151	949,583
社会保険	国民健康保険	304,869	103,400	201,469	33,907	167,562
	後期高齢者医療	443,778	54,452	389,326	65,523	323,803
	介護保険	514,587	20,823	493,764	83,099	410,665
	小計	1,263,234	178,675	1,084,559	182,529	902,030
保健衛生	疾病予防対策	217,527	4,525	213,002	35,848	177,154
	小計	217,527	4,525	213,002	35,848	177,154
合 計	4,968,527	2,529,232	2,439,295	410,528	2,028,767	

8款 環境性能割交付金

決算書 P15

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
21,100,000	12,055,000	△534,239	12,589,239	6,106,123

自動車取得税に代わり、環境性能に応じた割合で課税される環境性能割を原資として交付されるもので、景気の動向等により交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

9款 地方特例交付金

決算書 P17

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
61,489,000	48,591,000	812,000	47,779,000	86,635,000

新型コロナウイルス感染症等に係る固定資産税、都市計画税の課税標準の特例に伴う減収分が、地方税減収補填交付金として令和3年度から交付され、全体の交付額は増額しました。

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
地方特例交付金	44,789,000	△2,990,000	47,779,000	86,635,000
地方税減収補填特別交付金	3,802,000	3,802,000	-	-
合 計	48,591,000	812,000	47,779,000	86,635,009

10款 地方交付税

決算書 P17

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
2,656,227,000	2,709,556,000	490,397,000	2,219,159,000	2,120,407,000

65歳以上人口の増による高齢者福祉費の増額及び令和2年国勢調査人口反映に伴う算定経費の増額により、普通交付税は増額しました。また、特別交付税は、省令算定分は前年度より減少しましたが、全体では増額となりました。

◆普通交付税の額 = 基準財政需要額 - 基準財政収入額

◆特別交付税の額 = 普通交付税では措置されない特別な財政需要に対応するもので、地方交付税総額の6%相当額

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
普通交付税	2,580,227,000	481,594,000	2,098,633,000	1,989,191,000
特別交付税	129,200,000	8,896,000	120,304,000	131,016,000
震災復興特別交付税	129,000	△93,000	222,000	200,000
合 計	2,709,556,000	490,397,000	2,219,159,000	2,120,407,000

■普通交付税の算出基礎

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
基準財政需要額 a	6,072,072,000	412,595,000	5,659,477,000	5,428,871,000
基準財政収入額 b	3,491,845,000	△66,108,000	3,557,953,000	3,434,899,000
調整額 c	0	2,891,000	△2,891,000	△4,781,000
交付額 a-b+c	2,580,227,000	481,594,000	2,098,633,000	1,989,191,000
単年度財政力指数 b/a	0.575	△0.055	0.630	0.634

※元年度の基準財政需要額及び基準財政収入額には、過年度分の錯誤額が含まれます。

※3カ年の単年度財政力指数を平均したものが、11ページの「財政力指数」となります。

11款 交通安全対策特別交付金

決算書 P17

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
3,400,000	4,171,000	△460,000	4,631,000	4,151,000

交通違反反則金を原資としていますが、交付原資が縮小し、交付額は減額しました。

12款 分担金及び負担金

決算書 P17

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
84,433,000	64,364,833	△4,601,884	68,966,717	114,762,786

保育所保護者負担金の減少により、分担金及び負担金全体では減額となりました。

(単位 円)

主なもの	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
保育所保護者負担金	39,301,300	△4,962,630	44,263,930	89,803,290
学童保育所保護者負担金	23,201,600	1,323,600	21,878,000	24,194,560

※保護者負担金は滞納繰越分を含む金額です。

13款 使用料及び手数料

決算書 P19

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
34,141,000	35,737,901	3,375,308	32,362,593	71,128,534

■使用料

主に公共施設の利用者に負担いただく使用料です。駐輪場使用料等の増に伴い使用料収入は増額しました。

(単位 円)

主なもの	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
駐輪場使用料	6,290,620	1,015,100	5,275,520	6,734,220
公民館使用料	2,399,700	638,600	1,761,100	2,395,700
道路占用料	10,442,760	394,878	10,047,882	9,935,498

■手数料

各種行政サービスに伴う役務の対価として負担いただくものです。開発許可等申請の権限移譲による都市計画手数料の増に伴い手数料収入は増額となりました。

(単位 円)

主なもの	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
税務手数料	1,942,900	69,500	1,873,400	2,123,500
戸籍住民手数料	10,738,700	△433,000	11,171,700	11,558,400
犬の登録手数料	1,048,300	24,770	1,023,530	983,840
道路橋りょう手数料	44,400	7,800	36,600	42,900
都市計画手数料	1,759,270	1,645,770	113,500	51,600

14款 国庫支出金

決算書 P21

3年度予算	3年度決算 A	増減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
3,151,958,616	2,756,029,332	△2,430,133,468	5,186,162,800	1,173,397,617

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
国庫負担金	1,244,549,647	228,075,005	1,016,474,642	887,831,903
国庫補助金	1,500,126,098	△2,659,227,016	4,159,353,114	277,838,727
国庫委託金	11,353,587	1,018,543	10,335,044	7,726,987
合計	2,756,029,332	△2,430,133,468	5,186,162,800	1,173,397,617

■国庫負担金

令和3年度は、引き続き子どものための教育・保育給付費負担金や子育てのための施設等利用給付費交付金の交付を受けたほか、新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金の交付に伴い、全体で増額となりました。

(単位 円)

主なもの(負担率)	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
障害者自立支援給付費等負担金(1/2)	345,964,742	771,677	345,193,065	304,317,000
子どものための教育・保育給付費負担金(1/2)	223,473,734	7,346,861	216,126,873	171,830,041
子育てのための施設等利用給付費交付金(1/2)	81,082,226	△3,672,074	84,754,300	41,367,320
児童手当負担金(37/45, 2/3)	299,692,665	△9,909,665	309,602,330	314,840,999
【R2 繰越明許】公立学校施設整備費国庫負担金(1/2)	68,977,000	皆増	-	-
新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金(10/10) ※R2 明許含む	162,088,362	皆増	-	-

■国庫補助金

令和3年度は、引き続き社会資本総合交付金の交付を受けたほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や子育て世帯臨時特別支援事業給付金給付事業費補助金等の交付がありました。特別定額給付金給付事業補助金の皆減に伴い、全体で大きく減額となりました。

(単位 円)

主なもの(補助率)	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
特別定額給付金給付事業補助金(10/10)	-	皆減	3,402,295,141	-
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(10/10) ※R2 明許含む	230,063,000	△207,633,000	437,696,000	-
社会資本整備総合交付金(50/100, 55/100) ※R2 明許含む	134,074,150	92,649,150	41,425,000	
子育て世帯臨時特別支援事業給付金給付事業費補助金(10/10)	437,687,948	皆増	-	-
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金(10/10) ※R2 明許含む	291,764,000	皆増	-	-

■国庫委託金

基礎年金等事務費交付金が増額し、全体で増額となりました。

(単位 円)

主なもの	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
基礎年金等事務費交付金	7,872,215	502,300	7,369,915	5,603,778
協力・連携交付金	2,718,763	368,975	2,349,788	1,703,265

15 款 県 支 出 金

決算書 P27

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
770,188,000	747,357,742	△51,215,505	798,573,247	702,788,241

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度 B
県 負 担 金	527,684,524	6,808,638	520,875,886	463,375,841
県 補 助 金	147,767,657	△59,570,680	207,338,337	151,785,622
県 委 託 金	71,905,561	1,546,537	70,359,024	87,626,778
合 計	747,357,742	△51,215,505	798,573,247	702,788,241

■県負担金

障害者自立支援給付費等負担金や子どものための教育・保育給付費負担金等の増により、全体で増額となりました。

(単位 円)

主なもの(負担率)	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
障害者自立支援給付費等負担金(1/4)	176,516,245	2,841,865	173,674,380	153,298,500
子どものための教育・保育給付費負担金(1/4)	92,015,558	1,574,376	90,441,182	74,363,140
保険基盤安定負担金(1/4, 3/4)	132,434,845	449,151	131,985,694	132,056,985

■ 県補助金

子ども・子育て支援事業補助金は増額したものの、埼玉県ふるさと創造資金の減額等に伴い、全体で減額となりました。

(単位 円)

主なもの (補助率)	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
埼玉県ふるさと創造資金 (1/2)	646,000	△24,354,000	25,000,000	-
重度心身障害者医療費補助金 (1/2)	26,713,823	△1,420,259	28,134,082	31,160,853
子ども・子育て支援事業補助金 (1/3)	54,609,000	3,553,000	51,056,000	28,124,000
県費単独土地改良事業費補助金 (1/3)	3,267,000	△2,050,000	5,317,000	5,431,000

■ 県委託金

令和2年国勢調査の完了に伴う国勢調査委託金の減はありましたが、衆議院議員総選挙の実施による増に伴い、全体で増額となりました。

(単位 円)

主なもの	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
個人県民税徴収取扱費	56,432,484	1,518,320	54,914,164	54,268,907
衆議院議員総選挙委託金	12,743,627	皆増	-	-
令和2年国勢調査委託金	0	皆減	15,054,020	-

16 款 財 産 収 入

決算書 P31

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
5,885,000	29,670,886	10,098,783	19,572,103	17,951,979

普通財産売払収入の増により増額しました。

■ 財産貸付収入

町が所有する普通財産等の貸付にかかる歳入です。

4,747,957 円

■ 利子及び配当金

町が所有する基金にかかる利子収入です。

2,037,517 円

■ 財産売払収入

町が所有する普通財産（土地）及び物品の売払にかかる歳入です。

22,885,412 円

17 款 寄 附 金

決算書 P33

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
30,000,000	26,899,417	△81,643,437	108,542,854	65,853,515

農のあるまちづくり、市民活動支援、にぎわい創出など宮代町らしいまちづくりのための寄付金（ふるさと納税）の減少、宮代和戸横町地区関連事業に対する寄付金（2年度決算額 63,000,000 円）の皆減により、減額となりました。

18 款 繰 入 金

決算書 P33

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
299,044,000	299,030,141	△265,841,607	564,871,748	594,324,386

■他会計繰入金

各特別会計における前年度決算剰余金を一般会計へ繰り入れるものです。令和3年度は、令和元年度公共下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計の決算剰余金を下水道事業会計から繰入したことに伴い、増加しました。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
国民健康保険特別会計繰入金	102,495,641	3,555,009	98,940,632	99,033,839
介護保険特別会計繰入金	78,478,627	18,752,276	59,726,351	57,655,846
後期高齢者医療特別会計繰入金	3,373,648	1,228,883	2,144,765	930,887
下水道事業会計繰入金	22,105,225	皆増	0	-

■基金繰入金

当該年度の財源として、基金を取り崩して一般会計へ繰り入れたものです。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
財政調整基金繰入金	28,175,000	△270,062,000	298,237,000	260,594,000
宮代まちづくり基金繰入金	58,000,000	△14,956,000	72,956,000	70,000,000
公設宮代福祉医療センター 施設整備基金繰入金	3,700,000	100,000	3,600,000	4,598,078
育 英 基 金	1,415,000	88,000	1,327,000	5,698,162
公共施設整備基金繰入金	1,287,000	△26,653,000	27,940,000	5,881,400

19 款 繰 越 金

決算書 P35

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
610,430,614	610,430,712	60,853,323	549,577,389	587,858,604

■前年度繰越金

485,687,098 円

令和2年度決算剰余金として、令和3年度へ繰り越されたものです。

■繰越明許費繰越金

120,015,384 円

令和2年度中に完了しなかった事業の財源の一部として、令和3年度へ繰り越したものです。

《繰越事業》

保健予防事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、商工業振興事業、地区生活道路整備事業、主要町道整備事業、橋りょう維持管理事業、橋りょう整備事業、東武動物公園駅西口周辺整備事業、東武動物公園駅東口周辺整備事業、小学校施設管理事業、中学校施設管理事業、埋蔵文化財発掘調査受託事業

■事故繰越繰越金

4,728,230 円

不測の事態により令和2年度中に完了しなかった事業の財源として、令和3年度へ繰り越したものです。

《繰越事業》

障害者地域生活支援事業、道路維持管理事業、湛水防除対策事業

20 款 諸 収 入 決算書 P35

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
224,121,000	233,758,230	15,395,914	218,362,316	239,822,273

埋蔵文化財発掘事業受託事業収入の増により、全体で増額となりました。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
延滞金、加算金及び過料	7,346,205	1,708,947	5,637,258	8,083,162
町 預 金 利 子	10,589	△1,154	11,743	10,015
受 託 事 業 収 入	27,352,595	10,406,446	16,946,149	18,555,998
雑 入	199,048,841	3,281,675	195,767,166	213,173,098

21 款 町 債 決算書 P41

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
650,500,000	543,900,000	△170,957,000	714,857,000	573,711,000

町債の現在高は約82億8,910万円となっています。

(単位 円)

借 入 内 容 ・ 条 件		借 入 額
民 生 債	保育所施設整備事業 借入先：地方公共団体金融機構、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.2% 交付税措置：元利償還金の約30%（地域活性化事業債）	12,100,000
土 木 費	道路舗装修繕事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.21% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	4,200,000
	都市計画道路整備事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.21% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	6,400,000
	橋りょう維持管理事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.21% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	8,800,000

	【R2 繰越明許】橋りょう維持管理事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.183% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	2,100,000
	【R2 繰越明許】橋りょう整備事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.183% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	8,100,000
	東武動物公園駅東口整備事業 借入先：武蔵野銀行、償還期間：20年（据置0年）、利率：0.633% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	17,000,000
	東武動物公園駅東口整備事業 借入先：財務省、償還期間：20年（据置3年）、利率：0.5% 交付税措置：元利償還金の約20%（公共事業等債）	38,900,000
教育債	【R2 繰越明許】東小学校教室新設事業 借入先：財務省、償還期間：20年（据置3年）、利率：0.5% 交付税措置：元利償還金の約60%（学校教育施設整備事業債）	62,000,000
減収補てん債	減収補てん債 借入先：埼玉縣信用金庫、償還期間：10年（据置0年）、利率：0.25% 交付税措置：元利償還金の約75%（減収補てん債）	6,000,000
臨時財政対策債	臨時財政対策債（地方交付税の補てん措置としての地方債） 借入先：財務省 158,301,000円 償還期間：20年（据置3年）、利率：0.3% 借入先：地方公共団体金融機構 219,999,000円 償還期間：20年（据置3年）、利率：0.2% 交付税措置：元利償還金の100%	378,300,000

※交付税措置とは、地方債の種類に応じて、元利償還金相当額の一定割合が後年度の地方交付税基準財政需要額に算入されるというものです。

（単位 円）

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
臨時財政対策債	378,300,000	943,000	377,357,000	372,011,000

22 款 自動車取得税交付金

決算書 P43

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
0	4,947	4,947	0	20,174,198

自動車取得税交付金は令和元年度に廃止となりましたが、令和3年度中に過年度分の追加交付がありました。

第5次宮代町総合計画 前期実行計画

宮代町が10年間のまちづくりの目標として掲げている「首都圏でいちばん人が輝く町」を実現するために、計画期間を5年ごとの前期と後期に分け、令和3年度から令和7年度に取り組む事業を前期実行計画としてまとめています。

これらの事業については半年ごとに市民の皆様はその進捗状況をお知らせします。なお、予算執行のあった事業についてはその執行額を掲載しています。

■令和3年度 前期実行計画

		令和3年度 進捗状況
西原自然の森活用事業(里山体験事業編)	25	完了
西原自然の森活用事業(移築民家活用編)	27	完了
新しい村魅力アップ事業	28	完了
集落で支えあう営農事業	29	一部未完了
宮代農業人材育成事業	31	一部未完了
東武動物公園駅西口わくわくロード事業	33	一部未完了
まちなかどこでもミュージアム事業	34	完了
みやしろズームアッププロジェクト	35	完了
遊休資源活用プロデュース事業	37	完了
岸辺遊歩道整備事業	38	一部未完了
地域のオリジナルパークをつくろう!	39	完了
宮代型デマンド交通事業	40	完了
広域道路ネットワークの整備	42	一部未完了
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	43	一部未完了
和戸駅周辺活性化事業	44	完了
姫宮駅西側周辺活性化事業	45	一部未完了
地域の力となる地区コミュニティセンター事業	46	完了
小商いから始めようチャレンジショップ推進事業	47	完了
身近な場所で子育てサロン事業	48	一部未完了
地域みんなでこどもたちの居場所づくり事業①	49	完了
地域みんなでこどもたちの居場所づくり事業②	50	完了
進修館オープンカレッジ事業	51	一部未完了
おかえりなさい!地域デビュー事業	52	完了
西原自然の森活用事業(新たな福祉の拠点づくり編)	54	一部未完了
若い世代の健康づくり促進事業	55	完了
人権・平和推進事業	57	完了
チームみやしろ会議	60	一部未完了
みんなで備える防災力強化促進事業	61	一部未完了
高齢者困りごとサポート隊事業	63	完了

日工大サイエンスプロジェクト	-----	65	完了
公共施設マネジメント計画2.0	-----	66	完了
宮代町立小中学校適正配置事業	-----	67	完了

西原自然の森活用事業（里山体験事業編）

【みやしろの魅力推進事業 決算書 P70】

環境資源課
環境推進担当
内線 293

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
220,000	88,600	0	0	0	0	88,600

◎ 令和3年度の事業実績（成果）

西原自然の森活用事業の担当 3 課(町民生活課、教育推進課、福祉課)のほか、健康介護課、子育て支援課、社会福祉協議会が連携し、西原自然の森の魅力向上と協力者の募集、情報発信などを行うため「西原自然の森フェスタ 2021」を開催しました。

環境資源課では、11月20日と11月27日に竹灯ろうアート作品制作(参加者8名・作品数23)、12月4日と12月5日に作品展示(来場者80名)を行いました。

<実施内容>

■コンセプト作り

「生物多様性」と「保護と継承」をキーワードに据えたコンセプト原案を作成しました。

■協力者の募集

イベント実施を通じて、協力者となる可能性のある参加者とのつながりができました。

■イベント実施

西原自然の森の魅力向上と協力者の募集、情報発信などを行うため「西原自然の森フェスタ 2021」を開催しました。

環境資源課では、11月20日と11月27日に竹灯ろうアート作品制作(参加者8名・作品数23)、12月4日と12月5日に作品展示(来場者80名)を行いました。

★前期実行計画の趣旨とその工程

山崎山で市民団体とともに培った、事業や活動のノウハウと経験を活かし、西原自然の森においても、自然の魅力や大切さを知る体験事業や保全事業を市民とともに実施します。これにより、町の自然を守り育て、その魅力を発信する人材を生み出します。

[移築民家活用編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
コンセプト作り	環境資源課 ボランティア等	▶				
協力者確保	環境資源課	▶				
イベント実施	環境資源課 ボランティア等		▶			
環境整備・管理	環境資源課 ボランティア等		▶			
情報発信	環境資源課	▶				

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新規ボランティアスタッフの確保 10人以上

里山体験イベントの実施 年3回以上、参加者100人以上

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）

【資料館管理運営事業 決算書 P192】

教育推進課
文化財保護担当
TEL 34-8882

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
50,000	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績（成果）

西原自然の森の魅力を高めるため、町指定文化財である「旧加藤家」を活用したイベントとして、他課との共催で「西原自然の森フェスタ 2021」を開催しました。フェスタでは、「竹あかり」の会場や「旧加藤家」の縁側を舞台に、「オカリナの夕べ」として「こぶし10」によるオカリナの演奏会を開きました。また、同じく「竹あかり」の開催時間に合わせて、「ナイトミュージアム」と題し、開館時間の延長を行いました。

<実施内容>

■オカリナの夕べ

実施日：12月4日 16：30～

オカリナ愛好のグループである「こぶし10」による演奏鑑賞会で、第1部を「竹あかり」の会場である旧ジャブジャブ池跡地で、第2部を旧加藤家住宅の縁側で行いました。

■ナイトミュージアム

実施日：12月4・5日～18：00まで開館時間延長

西原自然の森フェスタでのイベント終了時間である18時まで、郷土資料館の開館時間を延長しました。

★前期実行計画の趣旨とその工程

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家住宅」「旧齋藤家住宅」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

[里山体験事業編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
モデル事業の実施	教育推進課	▶					
仕組みづくりと運用準備	教育推進課		▶				
活用支援	教育推進課			▶			

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上

新しい村魅力アップ事業

【新しい村管理運営事業 決算書 P142】

産業観光課
農業振興担当
内線 262

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
39,516,000	39,360,924	867,000	0	0	16,075,800	22,418,124

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

新しい村を取り巻く現状・課題を把握するため、生産者の意向や利用者ニーズ、市場の動向等について、基礎調査を実施しました。

<実施内容>

■新しい村魅力アッププラン策定に係る調査の実施

これまでの取り組みや運営状況などを基礎資料としてまとめ、新しい村の利用者(生産者や体験農園、市民農園等の利用者)へのアンケートやヒアリング調査を実施しました。また、関東圏域の在住者を対象とした意識調査などを実施し、各種の調査結果から新しい村に求められる機能や役割を整理しました。

■指定管理者による事業及び管理運営

指定管理者による各施設の管理運営及び事業運営を行いました。

- ・指定管理者 株式会社新しい村
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日

★ 前期実行計画の目標とその工程

「新しい村」を整備してから約20年。直売施設の増加やインターネット販売の普及など取り巻く状況も大きく変わりました。着地型観光という視点も含めて、調査・分析を行い、「新しい村」の魅力をも高める計画を策定し、「新しい村」をより魅力的な空間へと変えていきます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
新しい村の現状分析・課題整理	産業観光課 新しい村	▶					
持続可能な経営モデルの調査研究	産業観光課		▶				
新しい村周辺農地の地権者意向調査	産業観光課		▶				
新しい村魅力アッププランの策定	産業観光課		▶				

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新しい村魅力アッププランの策定

集落で支えあう営農事業

【農業生産基盤整備推進事業 決算書 P146】

産業観光課
農地調整担当
内線 267

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
17,505,000	16,970,081	0	4,271,850	0	0	12,698,231

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

・宮東・中島地区圃場整備事業においては、令和3年4月に開催した地権者説明会の結果を踏まえ、県と協議を行い、地権者の事業への認識度をさらに高める必要があると判断し、事業の実施工程の一部を変更しました。

<実施内容>

■宮東・中島地区圃場整備事業(準備委員会の開催及び圃場整備構想図(案)の作成)

地権者説明会(全3回)を実施した結果、事業への認識度が低かったことから、事業内容等の理解を深めていただくため、事業実施工程の一部を変更しました。

準備委員会では、圃場整備構想図(案)や農地集積計画(案)の検討・作成を行い、今後、仮同意率100%を目標に、次年度における地権者説明会の実施に向けて調整を行いました。

■農業用排水路の改修工事

県補助事業を活用し、宇山崎地内の用排水路(総延長205.57m)を、土水路からコンクリートフレーム(B500×H500)への改修工事を実施しました。

▼整備前



▼整備後



■小規模農地基盤整備事業の推進

農業者自らが実施する営農環境の改善への取組を支援するため、補助事業の活用を呼びかけた結果、3年度は11件の申請があり、補助金を交付しました。

- | | |
|------------------------------|----|
| ・水田区画拡大事業(コンクリート畦畔除去を伴うもの) | 8件 |
| ・水田区画拡大事業(コンクリート畦畔除去を伴わないもの) | 2件 |
| ・農業用水利施設整備事業(揚水ポンプ電動機取替工事) | 1件 |

■多面的機能支払交付金の交付

「多面的機能支払交付金制度」を活用し、共同活動（浚渫・藻刈り・除草等の作業）に取り組む活動組織（4組織）に対して、「宮代町多面的機能支払支援事業補助金」を交付しました。

- *若宮地区陸田管理組合 構成員 28名（農業者・一般住民で構成）
活動内容 農地維持支払交付金
活動区域面積 10.52ha
交付金額 293,500円
- *中地区水田管理組合 構成員 26名（農業者のみで構成）
活動内容 農地維持支払交付金
活動区域面積 15.88ha
交付金額 476,400円
- *内野地区農地管理組合 構成員 21名（農業者のみで構成）
活動内容 農地維持支払交付金
活動区域面積 9.31ha
交付金額 239,200円
- *沖の山地区水田管理組合 構成員 40名（農業者のみで構成）
活動内容 農地維持支払交付金
活動区域面積 11.50ha
交付金額 330,700円

★ 前期実行計画の目標とその工程

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくために、農業生産の効率化・省力化を図るとともに、農地集積化を推進し、農作業環境の向上を図ります。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
現地調査	埼玉県産業観光課 地権者	→					
事業計画策定及び地権者同意	埼玉県産業観光課 地権者	→					
用地測量及び実施設計	埼玉県産業観光課			→			
整地工事	埼玉県産業観光課				→		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

宮東・中島地区における20ha以上の農地集積化と基盤整備(100%)

宮代農業人材育成事業

【明日の農業担い手支援事業 決算書 P144】

産業観光課
農業振興担当
内線 262

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,248,000	9,352,128	0	3,280,000	0	163,570	5,908,558

◎ 令和3年度の事業実績（成果）

- ・ 農業担い手塾の研修制度を検証し、研修環境の充実を図るため、「入塾前研修制度」を創設しました。
- ・ 農業担い手塾で新たな就農希望者を塾生として受け入れました。
- ・ 新たな就農希望者を受け入れるため、引き続き、ホームページ等で周知を行いました。

<実施内容>

■事業計画の策定

農業担い手塾の研修制度の検証を行い、研修環境の充実を図るため、農業（農作業・作物の栽培等）経験が少ない方を対象に、農家実習形式で基礎的な実践経験を積み、入塾への足掛かりとする「宮代町農業担い手塾入塾前研修制度」を創設しました。（申込1名）

■農業担い手塾での研修生の受入及び実践研修の実施

農業担い手塾の塾生の募集を通年で実施するとともに、入塾前研修制度による農家実習を経た就農希望者に対し入塾審査を実施し、新たな塾生として1名(9期生：男性)が令和4年2月1日から実践研修を開始しました。

■新規就農里親制度の実施

9期生の受入れに際して、新たな里親農家(農業技術支援農家及び農業生産基盤支援農家)を2名確保し、助言及び農業機械等の貸出等の支援を行っていくことになりました。

■宮代町農業次世代人材投資資金（経営開始型）の交付

経営の不安定な就農後間もない青年就農者に対し、宮代町農業次世代人材投資資金（経営開始型）を交付しました。

交付対象者 3名 交付総額 3,000,000円（内訳 750,000円×2名 1,500,000円×1名）

■農業講座の実施

稲作農家の後継者で栽培経験が少ない方やこれから専業で米づくりを行っていく方等を対象に、全3回の「稲作講座」を実施しました。「栽培技術編」には17名が受講し、良質米の生産を目指して雑草管理をはじめとする水稲防除のポイントを学ぶとともに、受講者全員の圃場を巡回し生育診断を実施しました。

■「農」のあるまちづくり担い手支援対策事業補助金（農業機械及び栽培施設等に関する補助）の交付

補助事業の活用を周知・提案した結果、3件の補助申請があり、補助金を交付しました。





- ①水田農業担い手支援事業（農業機械） 1件（トラクターの導入）
- ②園芸・果樹生産担い手支援事業（農業機械） 1件（ねぎ苗移植機の導入）
- ③園芸・果樹生産担い手支援事業（栽培施設） 1件（野菜苗育苗栽培施設の整備）

■農商工連携による農業の6次産業化の推進

宮代産農産物等を積極的に取り扱う飲食店や食品加工所等を募集し、「宮代町地産地消推進の店」として、新たに1店舗を認定しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

就農希望者のための実践的な研修環境を整え、将来の宮代農業を支える骨太な若手農業者を育成します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7							
事業計画の策定	産業観光課												
就農希望者の受入	産業観光課												
農業用栽培施設レンタル制度の創設	産業観光課 新しい村												
みやしろ型市民農業大学の実施	産業観光課												

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新規就農者の確保  5人以上

東武動物公園駅西口わくわくロード事業

【東武動物公園駅西口周辺整備事業 決算書 P156、158】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
119,790,136	45,056,814	0	0	0	21,017,537	24,039,277

※令和2年度からの繰越分を含みます。

※令和3年度予算のうち、55,700,000円を令和4年度に繰り越しています。

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

東武動物公園駅西口整備については、県道春日部久喜線と東武動物公園駅西口駅前広場へのアクセス道路となる都市計画道路中央通り線との交差点改良に支障となる箇所の用地買収が完了しました。

<実施内容>

■ 交差点改良

県道春日部久喜線と(都)中央通り線との交差点改良に支障となる箇所の用地買収が完了し、交差点改良に必要となる測量設計を進めました。

委託・工事	3,722,400円
用地・補償	41,247,539円
その他、道路用地管理等	86,875円



★ 前期実行計画の目標とその工程

駅から東武動物公園、新しい村までを、町民・観光客・事業者と共にアイデアを出し合いながら、歩いて楽しく、わくわくするような道に整備し、西口エリアの価値を高めます。あわせて、駅西口区画整理エリアの土地利用を促進します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
市民参加によるコンセプトの決定	まちづくり建設課	▶					
概略設計・整備エリアの決定	まちづくり建設課		▶				
関係機関協議	まちづくり建設課		▶				
実施設計	まちづくり建設課			▶			
わくわくロード整備工事	まちづくり建設課				▶		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

東武動物公園駅西口わくわくロードの完成(100%)

まちなかどこでもミュージアム事業

教育推進課

生涯学習・スポーツ振興担当

内線 433

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

町ホームページ上に散らばる公共施設情報を集約し、活動場所の検索性を向上させるための準備を行いました。

また、文化芸術活動を後押しする体制のひとつとして、活動を応援するための物品等を整備できるよう予算を確保するとともに、アーティスト等とのマッチングモデル事業として、3月に開催された西原自然の森での作品展や演奏会の支援を行いました。

<実施内容>

- ・飲食店やパブリックスペース等で展開されている町内の文化芸術活動の実態や町関連アーティスト・団体の情報を収集し、今後の展開に向け、たたき台となる素案を作成しました。
- ・町ホームページ上に散らばる公共施設情報を集約し、活動場所の検索性を向上させるための情報整理を行いました。
- ・文化芸術活動を後押しする体制のひとつとして、活動を応援するための物品等を準備できるよう次年度予算の確保を行いました。
- ・アーティスト等とのマッチングモデル事業として、3月に西原自然の森での作品展や演奏会の開催支援を行いました。

★前期実行計画の趣旨とその工程

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討	教育推進課	▶					
アーティストと飲食店等のマッチング	教育推進課		▶				
(仮称)アートウィークの開催	教育推進課 参加者			▶			
(仮称)アートウィークの実施方法の検証と見直し	教育推進課			▶			

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

飲食店等やアーティストが主体となった(仮称)アートウィークの開催 年1回以上

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
520,000	237,737	0	0	0	0	237,737

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

既存の広報サポーター制度を見直し、SNS や動画で気軽に情報発信する市民参加の仕組み「みんなが地域の特派員」制度を創設し、12名登録がありました。宮代町インターネット放送局への動画の投稿が24本、広報紙や公式 Twitter への写真記事が2本掲載されました。

また地元の魅力を再発見し発信するために、公式 Twitter 上で写真コンテストを開催するほか、公式ハッシュタグ「#みやしろまち」の周知・使い手を増やすために、ワークショップや写真展を開催しました。

<実施内容>

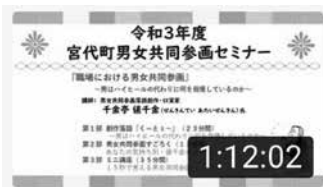
■町事業や地域活動の取材

- ・動画 24本(上半期10本、下半期14本)
資料館企画展、子育てイベント、ワクチン接種会場用動画、地産地消レシピ動画、男女共同参画セミナー動画など
- ・写真 2本 宮代花だより
- ・特派員数 12名(令和4年3月末時点)

宮代町インターネット放送局



YOUTUBEで動画配信中!



宮代花だより
~ハナミズキ~
4月、ピンクと白のハナミズキが一緒に咲き始めます。爽やかに華やかに春を彩ります。花びらに見えるのは、4枚の葉の変形した萼苞(そうほう)と呼ばれるもので、実際の花は中央部に小さく密集した黄緑色部分になります。萼苞は開花前に花全体を保護する役目を担います。
宮代総合運動公園(ぐる宮代)、笠原小学校、東畑宮地区の並木、百間地区の並木をはじめ、公園や家の庭先にもよく見かけます。
あなたも、ハナミズキを探してみませんか。
みやしろズームアッププロジェクト
みんなが地域の特派員 山本豊



■特派員研修会の実施

特派員の情報交換会(月1回)に特派員同士の勉強会を実施したほか、民間の動画制作会社に協力をいただき、動画編集や取材方法等の講座を実施し、特派員の知識や技術の向上に努めました。(3月)



特派員勉強会



スキルアップ研修



■地元の魅力の再発見（#みやしろまちフォトコンテスト・写真展・ワークショップの開催）

地元の魅力を再発見するきっかけ、気軽に情報発信をするきっかけとして、公式 Twitter 上で「#みやしろまちフォトコンテスト」を開催しました。出品された作品でオリジナルカレンダーを作製したほか、写真展で応募作品を披露し、会場内でワークショップを実施しました。

・ #みやしろまちフォトコンテスト【春～冬部門（R3. 3. 15～R4. 3. 15）延べ 1,161 点、72 アカウント】



春部門
アルパカのハクト君の花見



夏部門
晴ちゃん復活！！



秋部門
夕焼け色に背中を染めて



冬部門 雪の静寂

- ・ 写真展、ワークショップの開催
11月：西原自然の森フェスタ
1月：無印良品東武動物公園駅前
3月：月一まんまる出店



オリジナル
カレンダー

★前期実行計画の趣旨とその工程

町の魅力の情報発信力向上を図るため、地元の魅力を再発見し、掘り下げ、自らの言葉で発信する人材を生み出します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
(仮称)「みんなが地域の特派員」制度の創設	総務課	▶					
みやしろ再発見ワークショップの開催	総務課	▶					
(仮称)「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大	総務課	▶					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域特派員 10人

遊休資源活用プロデュース事業

企画財政課

管財担当

内線 211・212

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

□ 普通財産カルテ及び遊休スペース活用計画の作成

普通財産の現状を整理し、有効活用の方向性を整理しました。令和4年度以降は方向性に即して処分等を行います。

また、庁舎の建物内、敷地内にある遊休スペースの現状を整理し、活用できる場所や方法を遊休スペース活用計画としてまとめました。



前期実行計画の趣旨とその工程

官・民を問わず、それぞれが所有する土地や施設などの遊休資源と人・団体等を結びつけ、町の様々な場所での活動の拠点づくりを行います。提案に対する場所の募集と場所に対する提案の募集の2つを柱として行います。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
普通財産カルテの作成	企画財政課	▶					
庁舎の遊休スペース活用計画の作成	企画財政課		▶				
活用事業の実施	企画財政課			▶			
民間施設の活用事例の収集・公表	企画財政課	▶					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

活用実績 10件

地域のオリジナルパークをつくろう！

まちづくり建設課
都市計画担当
内線 331

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

町内 43 箇所の街区公園から様々な視点をもって、地区・自治会の皆さまと一緒に再整備を行うモデル公園(モデル地区)を決定しました。

<実施内容>

■モデル公園 (モデル地区) の選定

地区・自治会の課題や地域の人々のライフスタイルに合わせた公園をつくりあげるために、モデル公園の要件を満たす6公園の地区・自治会に説明を行い、意見交換等を行いながらモデル公園(宮代台中央公園、学園台けやき公園)を決定しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

身近な街区公園等を一律に“児童公園”として位置付けるのではなく、人々のライフスタイルに合わせて、それぞれが特色のある“場”となるように再整備し、地域の人が集まる憩いの場(青空カフェ、移動販売、健康づくりパークなど)を地域の皆さんとともに作りあげます。

実施内容	実施主体	R3		R4		R5		R6		R7	
モデル公園検討	まちづくり建設課	▶									
公園整備計画検討・策定	まちづくり建設課			▶							
公園整備	まちづくり建設課					▶					
事業実施	まちづくり建設課							▶			
評価・検証	まちづくり建設課									▶	

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

公園の整備 2箇所

宮代型デマンド交通事業

【高齢者等タクシー助成事業・便利バスが走る事業 決算書 P56】

企画財政課
管財担当
内線 211・212

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,369,000	4,671,105	0	0	0	0	4,671,105

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

多様化する交通需要に対応するため、75歳以上の方や障がい者などを対象として「高齢者等タクシー助成事業」をスタートしました。

また、町内循環バスにおいては、令和5年度からの新規運行開始に向けて、住民の意向を確認するため、交通行動調査及び利用者アンケートを実施し、その結果を踏まえて、地域公共交通会議において、運行ルート、時刻表等を決定しました。

<実施内容>

■ 高齢者等タクシー助成

- ・登録者数 1,423名
- ・利用枚数 8,762枚
- ・利用目的
 - 通院 44%
 - 買い物 10%
 - その他 46%

75歳以上の方の移動を支援します!



■ 町内循環バスの運行内容の見直し

- ・交通行動調査 (令和3年10月27日～11月19日)
対象者: 町内在住18歳以上 2,000人 (無作為抽出) 回答数: 708件 (35.4%)
- ・利用者アンケート (令和3年10月25日～11月19日)
回答数: 67件
- ・宮代町地域公共交通会議
 - 第1回 令和4年2月4日 (金) ※書面開催
 - 第2回 令和4年3月24日 (木)

★前期実行計画の趣旨とその工程

循環バスのルートでないエリアや身体的な理由で循環バスが利用できない方の交通需要に対応するため、宮代町の地勢や特性に合ったデマンド交通を導入します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
タクシー助成制度の実証実験の実施	企画財政課	▶					
実証実験を踏まえた効果と課題の検証	企画財政課		▶				
循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し	企画財政課		▶				
タクシー助成制度の本格実施、次期循環バスの運行	企画財政課				▶		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

高齢者が外出を控えている理由「交通手段がない」 10%以下

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 令和元年度 15.8%

広域道路ネットワークの整備

【都市計画道路整備事業 決算書 P152】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
132,664,000	55,455,126	7,000,000	0	6,400,000	0	42,055,126

※令和3年度予算のうち、51,000,000円を令和4年度に繰り越しています。

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

(都)春日部久喜線(町道第12号線)については、支障となる用地の取得を目指し、権利者との交渉を進め、買収箇所については令和3年度分の整備を進めました。(都)春日部久喜線(町道第252号線)については、春日部市の進捗状況に合わせて都市計画決定に向けた関係機関協議を進めました。

<実施内容>

■都)春日部久喜線(町道第12号線)

用地交渉・用地買収を進め、令和3年度分の整備工事を進めました。

用地・補償	4,345,581円
委託・工事	50,951,263円
その他、負担金等	158,282円

■都)春日部久喜線(町道第252号線)

埼玉県・春日部市と都市計画決定に向けた調整を行いました。

■都)新橋通り線(町道第148号線)

埼玉県に対して事業実施の要望を行い、県が国から都市計画道路事業の認可を得ました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

利便性の高い近隣市町への広域道路ネットワーク構築のため、都市計画マスタープランに基づく都市計画事業整備計画において優先順位を定め、計画的な整備を進めます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備	まちづくり建設課	用地買収				
		整備工事				
(都)春日部久喜線(町道第252号線)の整備	まちづくり建設課					
(都)万願寺橋通り線(町道第75号線)の整備(設計)	まちづくり建設課					
(都)新橋通り線(町道第148号線)の整備(設計)	まちづくり建設課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備完了・(町道第252号線)の都市計画決定

東武動物公園駅東口にぎわいロード事業

【東武動物公園駅東口周辺整備事業 決算書 P158、160】

まちづくり建設課
道路担当
内線 331

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
279,743,278	187,196,547	102,099,250	0	55,900,000	22,104,000	7,093,297

※令和2年度からの繰越分を含みます。

※令和3年度予算のうち、56,649,965円を令和4年度に繰り越しています。

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

(都)東武動物公園駅東口駅前広場整備(宮代町施行)、(都)東武動物公園駅東口通り線(埼玉県施行)において、埼玉県・杉戸町との連携により、用地交渉及び用地買収を進めました。

<実施内容>

- 駅前広場の街路事業については、関係地権者を個別に訪問し、意向を確認しながら用地交渉を進め、用地買収を進めました。

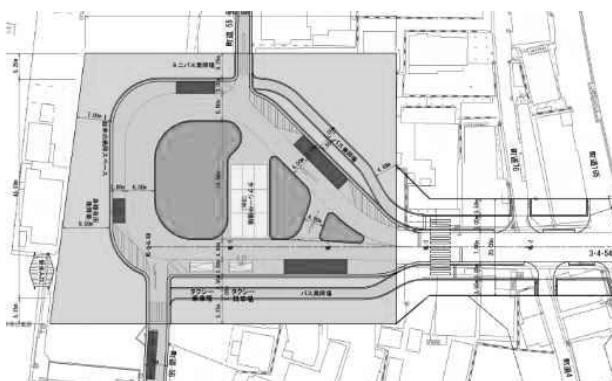
用地費 24,142,432円

補償費 132,981,056円

その他、道路用地管理費 9,191,639円

- 東口通り線の街路事業については、埼玉県との協議を進め、県と町との役割分担を明確にし、用地交渉及び用地買収を進めました。

負担金 20,881,420円



★ 前期実行計画の目標とその工程

駅東口の地域の魅力とアクセス性を向上させるため、駅前広場や都市計画道路を一体的に整備し、他自治体と広域的につながるターミナルとしての機能を高めます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
物件調査(単価入替等)・鑑定評価	まちづくり建設課	[Progress bar from R3 to R7]				
用地交渉	まちづくり建設課	[Progress bar from R3 to R7]				
用地・物件補償	まちづくり建設課	[Progress bar from R3 to R7]				
関係機関協議・実施設計	まちづくり建設課		[Progress bar from R4 to R7]			
整備工事	まちづくり建設課			[Progress bar from R5 to R7]		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

東武動物公園駅東口駅前広場・東口通り線の完成(100%)

和戸駅周辺活性化事業

まちづくり建設課
都市計画担当
内線 331

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

埼玉県との協議等を踏まえて、土地利用や事業手法等について検討するとともに、対象エリア内の登記簿により権利者を調査し、あわせて土地等の利用状況を確認しました。

<実施内容>

■ 土地・権利者の調査

和戸駅周辺区域の地域特性を確認し、現状や課題を検討しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

都市計画道路国納橋通り線や都市計画道路万願寺橋通り線の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
関係機関との調整	まちづくり建設課	▶					
土地・権利者調査	まちづくり建設課	▶					
事業化検討調査	まちづくり建設課		▶				
地元調整・企業意向確認	まちづくり建設課			▶			
事業推進調査	まちづくり建設課				▶		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

土地利用・事業手法の決定
事業区域の決定

姫宮駅西側周辺活性化事業

まちづくり建設課
都市計画担当
内線 331

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

春日部市が計画を予定している土地区画整理事業の進捗状況に合わせ、春日部市と連携を図りながら、都市計画道路春日部久喜線の延伸を目指し、埼玉県及び春日部市と都市計画決定に向けて調整及び協議を行いました。

<実施内容>

■春日部市及び埼玉県(都市計画課、春日部農林振興センター)等との協議

(都)春日部久喜線の延伸に伴う都市計画決定(変更)について関係機関と協議を進めました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

北春日部方面への都市計画道路の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
関係機関協議、説明会開催	まちづくり建設課	▶					
都市計画決定手続き	まちづくり建設課	▶					
用地・補償交渉	まちづくり建設課		▶				
都市計画道路整備	まちづくり建設課			▶			
土地利用等検討	まちづくり建設課			▶			

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定

地域力となる地区コミュニティセンター事業

町民生活課
地域振興担当
内線 281・282

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

地区コミュニティセンター開設に向けた基本的な考え方を検討し、庁内会議にて実施計画策定に向けた方向性を確認しました。

令和5年4月からの開設に向けてモデル地区の選定と実施計画の作成、開設スケジュールを設定しました。

<実施内容>

■地区コミュニティセンター開設に向けて、機能や役割などの基本的な考え方を庁内会議で確認しました。

庁内会議にて、審議検討 2回

■地区コミュニティセンター1か所目の開設場所について学校再編の方向性を踏まえ、モデル地区の選定と開設スケジュールを設定しました。

■令和5年4月からの須賀地区コミュニティセンター開設に向けて実施計画を作成しました。

庁内会議にて審議 1回

★ 前期実行計画の目標とその工程

地域コミュニティや地区・自治会のサポートをする地区担当者を配置します。また、その拠点として、既存施設を活用した地区コミュニティセンターを開設します。そこでは、新たな繋がりが生まれ、地域における自治会活動活性化を図ります。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
具体的な実施計画の作成	町民生活課	■				
モデル地区の選定と開設スケジュール等の作成	町民生活課	■	■			
モデル地区での地区コミュニティセンター開設	町民生活課			■	■	■
モデル地区の運営と次地区の開設準備	町民生活課				■	■
2か所目の地区コミュニティセンター開設	町民生活課					■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地区コミュニティセンターの開設



2か所

小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業

【まちなか起業創業支援事業 決算書 P148】

産業観光課
商工観光担当
内線 265

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,186,000	2,415,318	0	0	0	1,043,000	1,372,318

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

宮代町での起業を促進するため、月3万円ビジネス講座や創業セミナー等の起業志望者を支援する講座を開催しました。また、学びや実践の場の提供としてマルシェの開催をするとともに、補助制度を創設しました。

□起業創業支援講座の実施 2,254,850円

「わたしたちの月3万円ビジネス講座」 2,086,000円

期間：令和3年12月～令和4年3月の全6回 参加者：12人

販路開拓・商品開発・改良のきっかけづくりセミナー 30,000円

期日：令和4年3月30日 参加者：12人

創業セミナー及びフォローアップ 138,850円

□チャレンジショップ開店準備

起業希望者がチャレンジする場としてマルシェ開催を支援する補助金制度を創設しました。

□起業創業準備支援 299,318円

起業創業支援補助金 3件 299,318円

宮代マルシェ(里山マルシェ)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

★前期実行計画の趣旨とその工程

宮代町での起業を促進するため、空き店舗や公共施設の空きスペース等をチャレンジショップとして、起業志望者に提供する仕組みづくりを行います。また、複数店が連続して空き店舗となったエリアについては、貸主などと連携して、特色のあるエリアの形成を促します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
起業創業支援講座の開催	産業観光課	月3万円ビジネス講座					
		創業セミナー					
チャレンジショップの開店準備	産業観光課						
チャレンジショップの運営	民間 産業観光課 商工会						
起業創業準備支援	産業観光課						

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

町の支援策を利用した起業家 15人以上

身近な場所で子育てサロン事業

【みんなで子育て！こども未来事業 決算書 P106】

子育て支援課
こども笑顔担当
内線 361

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,043,000	8,201,838	2,431,000	1,164,000	0	2,500,000	2,106,838

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

今後の自立した事業運営に繋げるため、地域子育てサロンのモデル事業を実施し、子育て中の親子同士の交流と地域とふれあう環境づくりの充実に努めました。また、資格や特技を活かし、子育てを応援する「子育て応援隊」の仕組みを構築し、登録を呼びかけました。

<実施内容>

■ 地域子育てサロンのモデル事業の実施

子育て中の親子同士が交流し、楽しめる場所を作ることで、子育ての不安や孤立感を軽減できるように、モデル事業として、町内店舗などで毎月1回程度の地域子育てサロンを実施しました。



■ 「子育て応援隊」の仕組みづくり

「子育て応援隊」として資格や特技を活かし、子育ての応援やサポートができるように子育て応援サイト「みやしろで育てよう」内に「子育て応援隊」ページを開設し、登録の依頼を呼びかけました。(個人登録4人、団体登録4団体)

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域子育てサロンのモデル事業の実施	子育て支援課	▶				
サロンの開設や運営のための支援策の検討	子育て支援課	▶				
地域主体の子育てサロンの運営開始	子育て支援課			▶		
子育て情報サイトのリニューアル	子育て支援課			▶		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域主体の「子育てサロンの運営 3か所以上

地域 みんなで子どもたちの居場所づくり事業①

【みんなで子育て！こども未来事業 決算書 P106】

子育て支援課
こども笑顔担当
内線 361

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,043,000	8,201,838	2,431,000	1,164,000	0	2,500,000	2,106,838

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

子どもの居場所づくりに取り組む団体へのヒアリングや地域で活動する様々な主体と連携した居場所づくりイベント(モデル事業)の実施をとおして、各団体等との関係を構築し課題を共有するとともに、地域主体の居場所づくりの活動を生み出し、広げていくために、必要な支援のあり方や課題を整理しました。

<実施内容>

■子どもの居場所づくりの調査と活動の支援策の検討

子どもの居場所づくりに取り組む団体(8団体)とのヒアリング内容を報告書としてまとめ、現状や課題等を整理したほか、今後、地域の人々が主体となった新たな居場所づくり活動が生まれ、継続してもらうために必要な支援策について検討を行いました。

■子どもの居場所づくりイベントの開催

地域の高齢者サロン、子育て支援事業者、大学生ボランティア、社会福祉協議会等と連携し、子どもたちの学びや遊びの場、地域の人々との交流の場、安心できる居場所づくりにつながるイベント(モデル事業)を実施しました。

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外を整備し、心やすらぐ居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
子どもの居場所づくりについて調査研究	子育て支援課 教育推進課	■				
子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課	■				
子どもの居場所づくり活動の支援策の検討	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等	■	■	■		
子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等		■	■	■	
居場所づくり活動のネットワークの構築	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等				■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

子どもの居場所づくり活動 3か所以上

子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築

地域のみんで子どもたちの居場所づくり事業②

【教育支援センター設置事業 決算書 P168】

学校教育担当
教育総務担当
内線 423

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
20,442,000	20,386,725	0	0	0	0	20,386,725

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

様々な事情で学校に通いづらい又は通いにくい町内の児童生徒の居場所の一つとして、実態やニーズ等に合った施設にするために、既に教育支援センターが設置されている他市町への視察等も行いながら、「人材」「施設・備品」「体制」の3つを柱として整備を行いました。

<実施内容>

■人材の確保

- ・会計年度任用職員の募集及び採用
教育支援センター長…1名、教育相談員…1名、教育支援員Ⅰ種…2名、教育支援員Ⅱ種…1名
- ・月2回の臨床心理士の配置確定

■施設・備品の整備

- ・外壁の改修、内装のリフォーム、照明のLED化の実施
- ・空間デザインを含む備品等の整備に係るプロポーザルの実施

■体制の構築

- ・町内の実態やニーズ等の把握のための児童生徒(小5～中3)、保護者(小1～中3)、教員へのWebアンケートの実施
- ・運営内容等に係る検討会議(3回)、他市町への視察、市民団体との意見交換会の実施
- ・「宮代町教育支援センター設置及び管理条例」の制定(12月 町議会)
- ・「宮代町教育支援センター設置及び管理に関する規則」の制定(2月 定例教育委員会)

★ 前期実行計画の目標とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域・学校の実態把握及び教育支援センター(適応指導教室)の在り方の検討	教育推進課	■				
子育て支援課及び福祉課との連携体制の構築(調査研究・ネットワーク構築)	子育て支援課 教育推進課 福祉課	■				
必要な施設改修・設備・備品等の整備及び人材の確保	教育推進課	■				
包括的な支援体制の構築及び拡充の検討	教育推進課	■				
教育支援センター(適応指導教室)設置条例の制定	教育推進課	■				
教育支援センター(適応指導教室)の開設及び運用	教育推進課	■				

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

常設の教育支援センター(適応指導教室)の設置

進修館オープンカレッジ事業

【進修館管理事業 決算書 P74】

町民生活課
地域振興担当
内線 281・282

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

進修館オープンカレッジのモデル事業として、町民まつりをテーマに指定管理者と町とで開催に向けた調整会議を実施しました。

指定管理者と町の役割分担を調整し、モデル事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、開始時期が大幅に遅れたため、再度スケジュール調整を行い実施しました。

<実施内容>

■モデル事業の開催に向けて、指定管理者と町とで日程調整や開催方法などを検討するとともに、関係する実行計画事業の情報を共有しました。

指定管理者との調整会議 3回

■参加者募集方法や会場設定、定員数などを検討し、指定管理者と町の役割分担を調整してモデル事業を実施しました。

全5回の内3月に1回開催、スケジュール調整の結果、令和4年度も引き続き全5回まで実施することとなりました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定例的に集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けます。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場とします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
実施方法の検討	町民生活課 進修館					
モデル事業の実施	町民生活課 進修館					
運用の開始、随時見直しの実施	町民生活課 進修館					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たなグループ



10団体

おかえりなさい！地域デビュー事業

【介護保険特別会計 生活支援体制整備事業 決算書 P278】

健康介護課
高齢者支援担当
内線 383

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
400,000	400,000	150,000	80,000	0	170,000	0

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

令和3年12月開催の西原自然の森フェスタ期間中に縁じょいブースを設置し、縁じょい交流会、シニアはじめて講座「スマートフォン体験会」を行いました。このほか、子育てイベントや地域活動団体にも参加して登録を促し、合計45名の方が縁じょいライフ事業に登録されました。これをきっかけとして、地域活動への関心を高め、自ら活動を始める一歩としていきます。また、登録者は70代80代が約8割を占めているため、今後は若い世代(40~60代)の登録者を増やせるような取組を推進します。

<実施内容>

■縁じょい通信の発行

地域活動に関心を持っていただくきっかけとして、縁じょい通信を増刊号含め年4回(6月、10月、11月、2月)発行しました。

地域で活躍する団体紹介、ボランティア活動に励む方のインタビュー、縁じょい交流会の活動報告等を掲載しました。



■縁じょい交流会の開催

12月の西原自然の森フェスタ期間中に縁じょい交流会「手話ダンス×健康体操」「半身麻痺で踊る奇跡のダンサー ダンス講座」「作業療法士による介護予防体操」をそれぞれ開催しました。延べ約150名の方にご参加いただきました。



■シニアはじめて講座の開催

12月の西原自然の森フェスタ期間中に、日常生活に役立つ連続講座であるシニアはじめて講座「スマートフォン体験会」を開催しました。Android、iPhoneを対象に合わせて7名の方にご参加いただきました。



★ 前期実行計画の目標とその工程

定年を迎えた世代が今までつながりが希薄であった地域で生き生きと活躍するため、地域デビューのきっかけづくりとなるイベントやワークショップなどを開催します。

実施内容	実施主体	R3		R4	R5	R6	R7	
シニアはじめて講座の開催	健康介護課 社協							
縁じょい通信の発行	健康介護課 社協							
縁じょい交流会の開催	健康介護課 社協							

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

地域活動を始めた人 100人

西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編）

【社会福祉事業 決算書 P90】

福祉課
福祉支援担当
内線 328

3年度予算 (円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,610,000	1,424,213	0	646,000	0	0	778,213

◎ 令和3年度の事業実績（成果）

新たな福祉の拠点づくりとして、地域福祉における社会課題に対応したセミナーやイベントを開催し、地域の見守り体制の充実を図りました。また、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりに向けたイベント等を実施しました。

<実施内容>

■社会課題に対応したセミナーやイベントを開催

- ・福祉推進員 登録 8名
- ・見守り声掛け協力店 登録 14店舗
- ・フードドライブステーション（食品等を集める場所） 登録 6か所
- ・フードドライブボランティア 登録 15名

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ボランティアセンター立ち上げ訓練（2月）は未実施

■福祉団体同士が連携をするきっかけとなるプラットフォームづくり

- ・「西原自然の森フェスタ2021」の開催（12月） 130,473円
 総来場者 約1,000人（下記イベント参加人数を含む）
 参加団体 障がい者団体3団体、高齢者団体3団体、日本工業大学、杉戸農業高校、百間中学校、
 宮代特別支援学校
 イベント ユニバーサル野球 約150人参加
 健康吹矢講習会（体験会） 20人参加
 フードパントリー&介護・生活困窮・介護なんでも相談会 61人参加
- ・宮代町外交官 片桐仁氏の作品寄贈お披露目展示会（3月） 1,293,740円
 来場者 1,451人
 参加団体 障がい者団体3団体

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

社会福祉協議会と連携して、今日的な社会課題に対応したセミナーやイベントを開催し、ボランティアの裾野を広げます。ワークショップや交流会など、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりも支援します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
社会課題に対応したセミナーやイベントを開催	福祉課 社会福祉協議会	▶				
福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり	福祉課 社会福祉協議会	▶				

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

ボランティアの育成 50人以上 福祉推進員の確保 30人以上
福祉団体の連絡ネットワークの発足

若い世代の健康づくり促進事業

【健康教育事業 決算書 P126】

健康介護課
健康増進担当
Tel.32-1122

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
139,000	138,087	0	0	0	0	138,087

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

若い世代(20代~40代)の健康への関心を高める取組を実施するにあたり、アンケート調査を行い、実態やニーズを把握しました。

調査結果に基づき、令和4年度以降に取り組む新規事業について検討しました。また、相談事業におけるオンラインの導入や健康マイレージ事業の周知を行い、様々なライフスタイルを考慮した健康づくりに取り組みました。

<実施内容>

■ アンケート調査の実施

令和3年6月に20代~40代を対象としたアンケート調査を行い、若い世代の健康づくりに対する意識やニーズを把握し、課題解決に向けた取組の検討を行いました。また、「健康づくりに取り組んでいる人の割合」は、35.2%であることを確認しました。

■ オンライン相談事業の実施

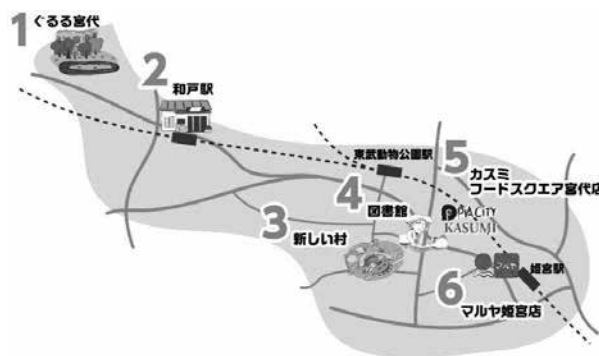
オンライン相談を導入し、利用促進に向け広報やホームページ、チラシ等で事業を周知しました。

■ 「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組

- ・10月と2月に新規アプリ登録キャンペーンを実施
- ・アプリ登録促進チラシを配布

10月に小・中学校を通じて保護者宛てに配布(約2,200枚)、2月に世帯配布(約1万枚)

- ・10月15日~31日にウォーキング啓発イベント「健康ワードラリー」を開催(キーワード応募者は422名。うち20代~40代の応募者は110名)



健康ワードラリー キーワードは「けんこうは宝」

★ 前期実行計画の趣旨とその工程

生涯を通じて健康で活気ある日々を過ごすためには、若いうちから健康に対する意識をもつことが大切です。若い世代（20代～40代）の健康への関心を高めるため、オンラインによる教室や相談などライフスタイルに合わせアプローチします。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7				
オンライン相談事業の実施	健康介護課	▶								
若い世代の健康に関する情報収集	健康介護課	▶								
新規健康づくり事業の実施方法及び「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組内容の検討	健康介護課	▶								
検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施	健康介護課		▶							
アンケート調査による評価・検証	健康介護課								▶	

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

20代～40代で健康づくりに取り組んでいる人の割合 令和3年度アンケート調査から10%増

人権・平和推進事業

【人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、人権教育推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、中学校管理運営事業】

人権推進室 内線 210
学校教育担当 内線 423
生涯学習室 内線 431

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,166,857	2,907,989	36,000	84,000	0	30	2,787,959

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業としてヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

また、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための第3次男女共同参画プランを策定しました。

<実施内容>

■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

- ①教職員人権教育研修会 8月6日 宮代町立図書館ホール
- ②人権作文発表会と人権教育研修会 12月3日 東小学校
- ③人権問題合同研修会 1月27日 宮代町立図書館ホール
講演テーマ：人権の現状と課題 同和問題の解決をめざして
講師：布施昌美氏（埼玉県東部教育事務所 社会教育主事兼指導主事）

■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を出前講座「まちしるべ」のメニューとしました。

■男女共同参画セミナーの実施（YouTubeによるオンライン動画配信）

テーマ：創作落語「職場における男女共同参画」
講師：千金亭値千金氏（創作落語口演家）
実施日：令和4年1月31日（月）～3月31日（木）
申込者数：27人
視聴数：96回

■男女共同参画情報誌「ふらふーぷ」の発行

男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画社会推進会議のメンバーが様々な視点からテーマを決め、編集発行しました。また、広報みやしろ12月号の特別付録として広報紙に折り込み各世帯へ配布しました。



■第3次男女共同参画プランの策定

平成27年に策定した「第2次男女共同参画プラン」による取組を踏まえ、これまでの施策の成果を継承しつつ、プランの進捗状況や住民意識調査の結果、男女共同参画プラン策定委員会での意見等を反映するとともに、新たな課題を解決するための施策や関連する法律、社会状況等に沿った施策を総合的かつ計画的に推進するため「第3次男女共同参画プラン」を策定しました。



■性的少数者（LGBT等）に対する取り組み

①パートナーシップ・ファミリーシップの届出に関する要綱の制定

一人ひとりが互いに人権を尊重し、真に豊かで安心して暮らせる社会の実現のため、性自認や性的指向に係る性的少数者の自由な意思を尊重するパートナーシップ・ファミリーシップの届出に関し、必要な事項を定めました。

②職員対象人権・男女共同参画研修の実施

テーマ：性の多様性／LGBTについて

講師：小泉涼氏（ダイバーシティ信州会長）

実施日：令和3年10月22日（金）14時～16時

参加者：15人

③性の多様性に関する啓発

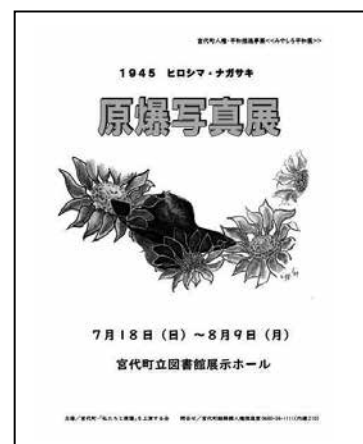
性の多様性についての理解促進のためのマークをいれた啓発品の配布や、広報3月号において特集記事を掲載するなど啓発に努めました。

■平和啓発事業の実施

平和の大切さの啓発及び平和教育の一環として行ってきた「朗読劇『私たちと原爆』」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。そのため、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

開催期間：令和3年7月18日（日）～8月9日（月）

場 所：宮代町立図書館展示ホール



★ 前期実行計画の目標とその工程

互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
人権尊重意識の啓発事業	総務課 教育推進課	■	■			
学校における人権教育	総務課 教育推進課	■	■			
生涯学習における人権教育	総務課 教育推進課	■	■			
男女共同参画プランの推進	総務課	■	■			
性的少数者(LGBT)への理解促進と支援	総務課	■	■			
平和への意識を高めるための啓発活動の推進	総務課	■	■			

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

人権平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合
70%

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
324,000	20,000	0	0	0	0	20,000

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

宮代町で暮らす人や働く人など、官民間問わず様々な人が集まり、つながるプラットフォーム(※)として検討した「この人の話が聞きたい」を運用しました。

※プラットフォーム: 共感のテーマとゆるいつながりをもった自由参加の意見交換の場

<実施内容>

■「この人の話が聞きたい」の運営

地域で活動している様々な人たちが集い、新たな活動が生まれるきっかけづくりの場として、「この人の話が聞きたい」を開催しました。(計6回・6月、7月、10月、11月、12月、1月 延べ150名参加)



■Webページの制作

チームみやしろ会議の取り組みを発信するため、Facebook や LINE を活用し、開催通知や参加者の募集、開催内容の報告等を発信しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

東武動物公園駅西口エリアを対象に、東武動物公園や日本工業大学などのキープレイヤー同士が連携する組織を設立し、地域のブランド力向上やイメージアップを図ります。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
チームみやしろ会議のコンセプトの整理と会議の設置	企画財政課	▶				
チームみやしろプラットフォームの検討と試行	チームみやしろ会議	▶				
チームみやしろプラットフォームの本運用	チームみやしろ会議			▶		
チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践	チームみやしろ会議		▶			

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生 年3件

みんなで備える防災力強化促進事業

【防災コミュニティ促進事業 決算書 P74】

町民生活課
危機管理担当
内線 279

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,090,000	3,485,800	0	69,000	0	2,000,000	1,416,800

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

防災への関心・意識向上を図るため、町内の各地区や地域で防災活動に取り組む自主防災組織に対し、宮代町安心安全まちづくり推進事業補助金交付要綱に基づき、防災資機材の購入や防災拠点の整備など、対象となる取り組みに補助金を交付し活動を支援しました。

また、防災・防犯等に関する情報をメールやツイッター、テレビ埼玉(テレ玉)データ放送等を通じて随時発信するとともに、災害時での情報収集を迅速に対応するため、移動系防災行政無線機を使用した通信訓練を消防団と定期的に行い、緊急地震速報訓練時には各小中学校と通信訓練を実施しました。

<実施内容>

■自主防災組織活動に対する支援 (組織の活動に対する補助及び研修指導) 1,432,800円

「宮代町安心安全まちづくり推進事業補助金交付要綱」により、申請のあった自主防災会延べ17団体に補助金を交付しました。今後も、各地区の自主防災組織活動の実情に合わせた支援を継続していきます。

支援内容	支援数 (団体)	補助金額 (円)
防災資機材購入	14	1,141,200
防災拠点整備	3	291,600
地区防災訓練実施	0	0
地区防災研修会実施	0	0
防災士資格取得	0	0

■防災・防犯マスター講座の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

★ 前期実行計画の目標とその工程

現実には起こりうる災害を想定し、行政、消防団はもとより、自主防災組織、学校等の関係団体とともに、実際の避難行動の一連の流れを体験する防災訓練を実施し、防災力を強化します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
合同の実働訓練の実施	町民生活課 関係団体	▶					
実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施	町民生活課 自主防災会	▶					
実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し	町民生活課	▶					
民間企業等との災害協定の拡充	町民生活課	▶					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

自主防災会訓練実施率 100%

我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成率 50%以上

高齢者困りごとサポート隊事業

【介護保険特別会計 生活支援体制整備事業 決算書 P278】

健康介護課
高齢者支援担当
内線 383

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,180,000	3,974,682	1,470,632	731,341	0	1,772,709	0

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

高齢者向けサービスを冊子にまとめるため、支え合いの地域づくりを話し合う「協議体(愛称:縁じよい支え合いチーム)」の場で、掲載内容、配布対象などのアイデア出しを行いました。

協議体では、宮代台地区の助け合い団体「宮代台みどりの会」をゲストスピーカーとして招き、インタビュー内容を縁じよい通信で紹介しました。

東京を中心に、大学生を有償ボランティアとして活用して、主に高齢者に対して生活支援(電球交換、ゴミ出し等)を行う民間企業「株式会社御用聞き」との意見交換を通して、日本工業大学学生が宮代町で生活支援を行う準備を進めました。令和4年度から連携して生活支援を実施します。

シニアはじめて講座「スマートフォン体験会」の講師を務めた「宮代町プログラミング・ラボ」の協力により、令和4年度からスマートフォン相談会を定期的に行うことになりました。

<実施内容>

■高齢者向けサービスの情報伝達

高齢者向け冊子を作っている近隣市町から情報収集を行い、また、掲載内容・配布対象などを協議体メンバーに投げかけアイデア出しを行いました。



■助け合いグループの育成

小学校でプログラミングの授業等を行っている宮代町プログラミング・ラボに依頼しシニアはじめて講座「スマートフォン体験会」を開催しました。令和4年度から定期的にスマートフォン相談会を行うことにしました。



株式会社御用聞きと意見交換をし、日本工業大学学生が宮代町で生活支援を行うための準備をしました。令和4年度に協定を締結し、連携して生活支援を実施していきます。

■助け合いグループの支援

宮代台地区限定の助け合い団体である宮代台みどりの会(自転車のパンク修理など50~500円で請け負う)を協議体にゲストスピーカーとして招き、インタビュー内容を縁じよい通信に掲載し認知度を高める支援をしました。

★ 前期実行計画の日程とその工程

買い物や電球交換など高齢者の日常生活のちょっとした困りごとをサポートする地域内の助け合い活動の組織化を支援し、広げていきます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7		
高齢者向けサービスの情報伝達	健康介護課 社協	▶						
助け合い活動グループの育成	健康介護課 社協	▶						
助け合い活動グループへの支援	健康介護課 社協	▶						

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たな助け合い活動を実施するグループ 5 団体以上

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

小・中学校の理科担当者との打ち合わせを進め、連携についての準備を進めました。令和4年度は須賀中学校で試験的に実施すること、夏季休業中に小学校の教員向け研修を実施することが決定しました。

<実施内容>

■日本工業大学に関する情報収集






令和3年7月に、日本工業大学の教員3名と打ち合わせを行い、連携内容や今後の予定の確認、大学の設備や教員についての情報収集を実施しました。

■日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施

実施に向け、令和3年11月に日本工業大学、12月に須賀中学校、令和4年1月に百間中学校との情報交換会を実施しました。

★ 前期実行計画の日程とその工程

小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを始動します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
日本工業大学の設備、先生に関する情報収集	教育推進課					
学校の教育課程の確認	教育推進課					
必要な支援方法の検討	教育推進課					
日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施	教育推進課					
日工大サイエンスプロジェクトの実施	教育推進課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

理科が好きという児童生徒 80%以上 (アンケート調査)

公共施設マネジメント計画 2.0

【公共施設マネジメント計画策定事業 決算書 P68】

企画財政課

対話のまちづくり推進担当

内線 214

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
950,000	843,782	0	0	0	0	843,782

◎ 令和3年度の事業実績 (成果)

公共施設マネジメント会議や無作為抽出による市民ワークショップの結果等を基に、第2期公共施設マネジメント計画を策定しました。

<実施内容>

■公共施設マネジメント会議の開催

学識経験者2名、有識者3名で構成する公共施設マネジメント会議を実施（全6回・7月、10月、11月、12月、2月、3月）し、策定方針に基づき、今後の公共施設のあり方、民間力の更なる活用手段、ターゲットとする施設など中期的なビジョンについて検討しました。

■無作為抽出による市民ワークショップの開催

無作為抽出による市民ワークショップを開催し、公共施設のあり方について意見交換会を行いました。（令和3年12月・13歳～77歳の町民43名）

■公共施設マネジメント計画の策定

公共施設マネジメント会議やワークショップの結果等を基に、第2期公共施設マネジメント計画を策定しました。

★ 前期実行計画の目標とその工程

平成23年11月に策定した公共施設マネジメント計画から10年経過し、この10年間の経緯や変化を反映した新たなマネジメント計画を策定し、今後の公共施設のあり方、施設の機能転換など、中期的なビジョンを定めます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
策定方針の検討	企画財政課	■				
公共施設マネジメント会議の開催	企画財政課	■				
無作為抽出市民ワークショップの開催	企画財政課		■			
公共施設マネジメント計画の策定	企画財政課		■			
計画に基づく再編へ向けた準備	企画財政課			■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

公共施設マネジメント計画の策定

宮代町立小中学校適正配置事業

【小中学校適正配置事業 決算書 P164】

教育推進課
教育総務担当
内線 425

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
473,000	72,767	0	0	0	0	72,767

◎ 令和3年度の事業実績(成果)

前年度に引き続き、宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成に関する審議会による検証作業を進め、令和3年5月31日付けで審議会から答申を受けました。その後、答申の内容を関係団体や住民の皆様にお知らせするとともに、答申の内容を踏まえ、庁内の関係課と意見交換を行いました。また、小中学校の再編についての基本的な取組方針の案を作成し、10月に庁内会議に諮り、2月に議会に対して報告を行いました。

<実施内容>

- 宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成に関する審議会の開催
 - ・ 第10回会議(5月25日)
- 宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成に関する審議会から町への答申(5月31日)
- 小中学校の再編についての基本的な取組方針の案



★前期実行計画の趣旨とその工程

社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7	
計画の再検討及び見直し	教育推進課	▶					
計画に基づく取組の実施	教育推進課		▶				

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施

議 会 事 務 局

■ 本年度の成果

本年度は、年4回の定例会のほか、1回の臨時会が開催されました。

会議の開催にあたり、マスクの着用や検温のほか、傍聴人数の制限等の予防措置を取り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めました。

議会運営委員会及び議会広報委員会による県外研修、総務文教委員会及び福祉産業委員会による県外研修は、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されることから中止となりましたが、議員全体研修として、久喜市議会において「議会ICT化に向けた視察研修」を、また町職員研修と合同で「人権・男女共同参画研修(性の多様性/LGBTについて)」を実施し、議会力の向上に努めました。

また、例年5月及び11月に開催している「町民と議員との議会懇談会」については、新型コロナウイルス感染症の拡大のリスクが高いことから中止としました。

■ 本年度の主要事業

議会運営事業	-----	70
会議録調製事業	-----	70

議会運営事業

〔議会事務局〕

決算書 P46

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
67,446,000	67,414,631	0	0	0	0	67,414,631

〔主な実施内容〕

■会議の運営

定例会：4回（6月、9月、12月、令和4年3月）

臨時会：1回（4月）

常任委員会：議会広報委員会 4回（20日間）

議会運営委員会：16回

特別委員会：決算特別委員会 1回（5日間）

予算特別委員会 1回（6日間）

■審議案件

予算30件、条例27件（内議員提出1件）、決算6件、人事案件25件、専決処分6件、意見書等7件、その他5件

〔成果〕

定例会の一般質問のほか、定例会及び臨時会の議案質疑により、町の予算や施策について積極的に疑問点を問い正しました。

また、予算・決算特別委員会では、私たちの予算書など様々な資料を活用しながら質問することで、個々の事業や取り組みについて理解を深めることができました。

会議録調製事業

〔議会事務局〕

決算書 P48

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,477,000	5,974,574	0	0	0	0	5,974,574

〔主な実施内容〕

■会議録作成

定例会 1,758,735円

臨時会 50,490円

予算特別委員会 555,390円

決算特別委員会 479,655円

■会議録検索システム委託料 264,000円

■録画配信委託料 1,032,900円

■議場用映像音響設備機器使用料 1,833,404円

〔成果〕

全ての本会議及び特別委員会について、会議録を調製し、議会の活動について広く周知を図りました。また、議場の映像音響設備機器の更新及び映像・音響制御システムを導入し、議場の環境を整えました。

総 務 課

■ 本年度の成果

広報の分野では、町広報紙「広報みやしろ」や町公式ホームページに加え、SNSとして「ツイッター」で情報発信するほか、町公式LINEアカウントではプッシュ型で情報を町民に届けています。様々な媒体を通じ、町が取り組んでいる政策をはじめ、身近な話題や出来事を町民の皆様に対して速やかに、かつ、わかりやすく情報提供するよう努めました。

第5次総合計画前期実行計画事業のみやしろズームアッププロジェクトでは、町の魅力の情報発信力を向上させるために、新たに「みんなが地域の特派員」制度を創設しました。また、公式ハッシュタグ「#みやしろまち」の周知・使い手を増やすために、ワークショップや写真展を開催しました。

人権・男女共同参画の分野では、正しい人権感覚を養うため、同和問題をはじめ、LGBTやDV（ドメスティック・バイオレンス）等の人権課題に関する研修会を開催し、町民及び職員一人ひとりの人権意識を高めることができました。

また、平和の分野では、戦争の悲惨さ、平和の尊さを見つめ直し、世界の恒久平和を願う心を次世代に伝えるため、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

職員研修の分野では、各種研修を通じて職員の意識向上を図るとともに、より高いレベルを目指した業務遂行能力の向上に努めました。

文書事務の分野では、町民及び事業者の皆様の行政手続きの効率化と将来的な電子化を見据え、申請書等への押印の見直しを実施しました。

■ 令和3年度前期実行計画

みやしろズームアッププロジェクト	35
人権・平和推進事業	57

■ 本年度の主要事業

人権・平和推進事業	72
顧問弁護士委託事業	73
男女共同参画社会推進事業	74
職員研修事業	76
広聴・広報事業	77

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,954,000	1,524,252	36,000	84,000	0	0	1,404,252

〔主な実施内容〕

■町民相談の実施

町民の身近な相談窓口として、町民相談員による町民相談を実施しました。

実 施 日 : 毎月第2月曜日 場所: 役場会議室

年間相談件数 : 7件

■平和に関する展示会の開催

平和の大切さの啓発及び平和教育の一環として行ってきた「朗読劇『私たちと原爆』」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

開催期間: 令和3年7月18日(日)～8月9日(月)

場 所: 宮代町立図書館展示ホール

■人権推進対策事業

町民一人ひとりの人権意識を高め、同和問題をはじめとするあらゆる差別や偏見の解消を図るため、研修会・啓発活動を実施しました。

特に、埼玉12市町の連携・協議のもと、10月7日に春日部市民文化会館で開催した「埼玉人権を考えるつどい」では、コロナ禍ではありましたが感染予防対策を徹底しつつ、多くの方々にご参加をいただきました。事業は、多くの団体等の協力のもと実施され、埼玉12市町の児童生徒による10万人メッセージカードをはじめ、メッセージ入り行灯やメッセージ看板を会場に設置するとともに、メッセージプラントで会場を彩りました。こうした地域間の交流を通じて、地域住民の人権意識の高揚と様々な人権問題への正しい理解を深めることができました。

人権問題合同研修会

テーマ: 「人権の現状と課題 同和問題の解決をめざして」

講 師: 布施昌美氏(埼玉県東部教育事務所 社会教育主事兼指導主事)

実施日: 令和4年1月27日(木) 場所: 宮代町立図書館ホール

参加者: 47人

〔成 果〕

町民相談では、町民相談員が町民一人ひとりに対する悩みごとや心配ごとについて、相談者の気持ちに寄り添い、解決に向けた助言等を行いました。

また、平和事業では、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催し平和の重要性を伝えるとともに、人権推進対策事業では、人権啓発活動を積極的に実施し、町民一人ひとりの人権意識の高揚と人権感覚の醸成を図りました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,848,000	1,840,090	0	0	0	0	1,840,090

[主な実施内容]

■法律相談の実施

町民の法律問題の解決を図るため、毎月第2・4火曜日に法律相談を実施しました。

・相談状況 (単位 件)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
町民の相談	84	11	73	74
町の相談	11	△8	19	8
合計	95	3	92	82

■個別事案対応

顧問弁護士と委任契約の締結をし、町の円滑な業務の遂行の確保に努めました。

[成 果]

法律相談では、町民の法に関する悩みについて、弁護士が法の解釈や解決に向けた助言を行いました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,132,000	616,078	0	0	0	30	616,048

[主な実施内容]

■男女共同参画社会推進会議の運営(5回開催)

6人の市民メンバーで男女共同参画セミナーの企画・実施及び男女共同参画情報誌の作成を行いました。

■男女共同参画セミナーの実施 (YouTubeによるオンライン動画配信)

テーマ：創作落語「職場における男女共同参画」

講師：千金亭値千金氏 (創作落語口演家)

実施日：令和4年1月31日(月)～3月31日(木)

申込者：27人

視聴数：96回

■男女共同参画情報誌「ふらふーぷ」の発行

■性的少数者(LGBT等)に対する取り組み

①パートナーシップ・ファミリーシップの届出に関する要綱の制定

一人ひとりが互いに人権を尊重し、真に豊かで安心して暮らせる社会の実現のため、性自認や性的指向に係る性的少数者の自由な意思を尊重するパートナーシップ・ファミリーシップの届出に関し、必要な事項を定めました。

②職員対象人権・男女共同参画研修の実施

テーマ：性の多様性/LGBTについて

講師：小泉涼氏 (ダイバーシティ信州会長)

実施日：令和3年10月22日(金) 14時～16時

参加者：15人

③性の多様性に関する啓発

性の多様性についての理解促進のためのマークを入れた啓発品の配布や、広報3月号において特集記事を掲載するなど啓発に努めました。

■女性相談の実施

女性が生活の中で直面している様々な悩みを打ち明けられる場として、女性相談員による女性相談を実施しました。

実施日：毎月第3月曜日、年2回休日相談

場所：役場庁舎2階相談室

年間相談件数：21件

■男女共同参画パネル展等の開催

- ・男女共同参画週間パネル展

テ ー マ：「男女共同参画と防災」

開催期間：令和3年6月23日（水）～29日（火）

- ・女性に対する暴力をなくす運動実施週間のパネル展

テ ー マ：「性犯罪・性暴力をなくそう」

開催期間：令和3年11月22日（月）～30日（火）

- ・「知っていますか？デートDV」「ドメスティック・バイオレンスと児童虐待」「パープルリボンタペストリー」パネル展

開催期間：令和4年1月18日（火）～23日（日）

■一時保育の実施

男女共同参画社会の実現のため、子育て世代の方々が審議会等に参加しやすい環境整備のため一時保育を実施しました。

7回 のべ41人

■第3次男女共同参画プランの策定

平成27年に策定した「第2次男女共同参画プラン」による取組を踏まえ、これまでの施策の成果を継承しつつ、プランの進捗状況や住民意識調査の結果、男女共同参画プラン策定委員会での意見等を反映するとともに、新たな課題を解決するための施策や関連する法律、社会状況等に沿った施策を総合的かつ計画的に推進するため「第3次男女共同参画プラン」を策定しました。

[成 果]

男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画社会推進会議のメンバーとともにセミナー実施や情報誌作成・発行等の普及・啓発活動を行い、意識の高揚を図りました。

また、男女共同参画プラン策定委員会を設置し、「第3次男女共同参画プラン」を策定しました。

性的少数者（LGBT等）に対する理解促進のために職員対象に研修会の開催や、性の多様性に関する理解促進のため、広報みやしろ3月号において特集記事を掲載し、啓発に努めました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,351,000	776,039	0	0	0	0	776,039

[主な実施内容]

■内部研修

町独自の研修として階層別研修を実施しました。

新規採用職員研修：前期11科目9人、後期11科目9人

職員接遇研修：193人

財務会計実務研修：25人

新規採用職員育成塾：8回

■共同研修

537,034円

近隣3市（久喜市・蓮田市・白岡市）と共同で階層別、科目別研修を実施しました。

階層別研修：初級職員研修・上級職員研修・係長実践研修・管理職研修

科目別研修：応対能力養成研修・法制執務研修・マネジメント研修

受講者数：38人

■派遣研修

4,502円

彩の国さいたま人づくり広域連合やその他研修機関の実施する階層別、科目別研修へ職員を派遣しました。

彩の国さいたま人づくり広域連合主催研修：21科目延べ57人

埼玉県総合技術センター主催研修：3科目延べ9人

その他派遣研修：市町村職員中央研修所 主催

「全国地域づくり人材塾」 1人

「障がい者福祉の推進」 1人

[成 果]

各種研修を通じて、宮代町職員としての意識の向上を図るとともに、各専門分野における技術向上によって、より高いレベルへの業務遂行能力向上に努めました。

また、令和3年度は、より良い公共サービスを町民の皆様に提供するために、その基礎となる接遇の重要性を再認識し、窓口・電話応対等の接遇能力の向上を図ることを目的として「職員接遇研修」を実施し、193人の職員が参加しました。

新規採用職員については、公務員としての幅広い知識の習得や全庁的に職員育成に取り組む機運を高め組織力の向上を図るため、新規採用職員育成塾を開催しました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,807,000	9,460,389	0	0	0	0	9,460,389

[主な実施内容]

■町広報紙「広報みやしろ」の編集発行 毎月発行(年間12回)

・発行部数 12,500部/月 ※町直接配布時は17,500部(8月・9月・10月号)

幅広い世代の方に手に取り読んでもらうために、タブロイド判・フルカラーで親しみやすい紙面作成を目指しました。今後も読みやすい紙面作成に努めていきます。

広報の配布にあっては、国からの緊急事態宣言の発令を受け、町民の安全安心を最優先に町が直接郵送を行いました。

■町公式ホームページ等による最新情報の発信

行政トピックスや身近な話題などの最新情報を随時発信しました。また、町公式ツイッターのほか、町公式LINEからはプッシュ型での情報発信を行いました。

■「町長への手紙」

61件の提案やご意見をいただきました。

■有料広告制度の運用

「広報みやしろ」及び「町公式ホームページ」の有料広告制度により、72万円の広告収入を得ることができました。

[成 果]

「広報みやしろ」や町公式ホームページを通し、町が取り組んでいる政策をはじめ、新型コロナウイルス関連の情報、身近な話題や出来事を町民に対して速やかに、かつ、わかりやすく情報提供しました。

町公式ホームページにおいては、令和3年度のアクセス件数が約197万件(前年度比36万件的増加)、累計約1,167万件に達し、町公式ツイッターのフォロワーは4,060人(前年度比327人の増加)、町公式LINEの友だち数は11,454人となっています。

町民の声を町政に反映させる「町長への手紙」においては、いただいた提案やご意見をもとに速やかに事務や事業の改善を図りました。

企 画 財 政 課

■ 本年度の成果

令和3年度は、宮代町公共施設マネジメント会議を開催し、第2期公共施設マネジメント計画を策定しました。政策調整事業では、第5次宮代町総合計画前期実行計画の初年度として、各事業（32事業）について、取り組み状況を検証し、町ホームページ等で公表しました。また、指定管理者候補者選定委員会を開催し、2施設（公設宮代福祉医療センター・はらっパーク宮代）について指定管理者候補者を選定し、指定管理者制度の活用を推進しました。

ふるさと納税制度では、町の事業をPRするとともに巨峰など町の特産品をお礼の品とし、1,995名の方から約2,679万円の寄付をいただき、特色あるまちづくりを進めることができました。

便利バスが走る事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度は利用者が約4万人に落ち込みましたが、令和3年度は回復の兆しを見せ、前年比38.5%増の約5万6千人の利用者数となりました。また、平成31年4月から開始した高齢者運転免許自主返納支援事業では、申請のあった84人に便利バスの回数券を交付しました。令和3年度から開始しました宮代町高齢者等タクシー助成制度については、1,423名の登録と8,762回の利用がありました。

OA管理事業では、令和2年度に引き続き、分散勤務対応のための庁内LAN回線の増設工事を行いました。また、自治体情報システムの標準化・共通化に向けた取り組みを進めるため、埼玉県町村情報システム共同化推進協議会においてシステム事業者の選定を行いました。

統計分野では、町内全事業所を対象として、5年に一度の基幹統計調査である令和3年経済センサスー活動調査を実施しました。

■ 令和3年度前期実行計画

遊休資源活用プロデュース事業	-----	37
宮代型デマンド交通事業	-----	40
チームみやしろ会議	-----	60
公共施設マネジメント計画2.0	-----	66

■ 本年度の主要事業

ふるさと納税管理事業	-----	80
政策調整事業	-----	81
みやしろ定住促進作戦	-----	82
便利バスが走る事業	-----	83
庁舎等管理事業	-----	84
OA管理事業	-----	85
統計調査事業	-----	86

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,565,000	12,546,140	0	0	0	0	12,546,140

[主な実施内容]

■宮代のまちづくりをみんなで応援する寄付制度 (ふるさと納税)

12,546,140 円

農のあるまちづくり、子育て支援、にぎわいプロジェクトなど宮代町らしいまちづくりのために、全国から26,612,070円の寄付をいただきました。いただいた寄付金は寄付者指定の各事業で活用させていただきます。

また、寄付をいただいた御礼として、町内の事業者が提供する「ふるさと特産品」延べ1,968件をお贈りしました。

寄付制度を通じ、宮代町や町の特産品を広くPRするとともに、まちづくりのための収入を確保しました。

・いただいた寄付の概要 (使途別) (単位 円)

分野	寄付金額
農のあるまちづくりに関する事業	4,589,000
子どもたちの未来に関する事業	9,692,570
市民活動支援に関する事業	191,000
宮代の桜を大きく育てていく事業	1,106,000
宮代の歴史文化を後世に伝える事業	537,000
観光や町のPRに関する事業	319,000
みやしろにぎわいプロジェクト	519,000
その他まちづくり全般	9,658,500
合計	26,612,070

・いただいた寄付の概要 (特産品別)

(単位 件、円)

特産品	件数	寄付金額	特産品	件数	寄付金額
みやしろ特産・巨峰(3kg)セット	599	7,188,000	名物 茶マンセット (10個入り)	9	54,000
梨 (5kg) セット	393	4,716,000	宮代産米使用!お米のカステラこめていら (X2個) セット	8	48,000
【令和3年産】宮代産米コシヒカリ「村そだち」20kg	247	3,742,000	みやしろまんじゅうセット (10個入り)	8	40,000
【特別栽培米100%使用】農家の玄米餅と切り餅セット	119	833,000	【数量限定】巨峰ワイン (ロゼ・白) セット	7	84,000
東武動物公園「アトラクションパスセット」(ペア)	97	3,007,000	ペア家族限定乗馬体験1回コース ◆東武乗馬クラブ&クレイン◆	6	156,000
東武動物公園「入場券+のりもの券10枚綴り」(ペア)	84	1,344,000	ホワイトタイガー (長ねぎ) 3Lサイズ 3kg	6	66,000
【令和3年産 新米】宮代産特別栽培米コシヒカリ「みやしろっ子」10kg	52	520,000	宮代産米使用!お米のカステラ こめていら (X4個) セット	5	55,000
【ドイツ国家認定・製パンマイスターが作る】シュトレン (プレーン)	52	624,000	みやしろ四季の和菓子セット	4	40,000
宝もなか (10個入り)	49	245,000	巨峰ゼリー&いちじくゼリー (各10個入り)	4	44,000
【ドイツ国家認定・製パンマイスターが作る】シュトレン (クリームチーズ)	39	468,000	【思いやり型返礼品】さをり織りありがとうセット	3	30,000
東武動物公園「入場券」(ペア)	37	333,000	宮代五百万石煎餅 (箱入)	3	24,000
【ドイツ国家認定・製パンマイスター】こだわり本格ドイツパンセット	32	544,000	乗馬体験1回コース ◆東武乗馬クラブ&クレイン◆	2	38,000
黒豆玄米茶 (3袋セット)	26	130,000	紫すい〜つセット	1	11,000
純米吟醸「宮代そだち」	25	275,000	【思いやり型返礼品】さをり織り大判ショール (シルク)	1	45,000
【ステイホーム特別企画】宮代産米コシヒカリ・村そだち20kg	19	323,000	レッサーパンダ スマホケース	1	16,000
【令和2年産】宮代産米コシヒカリ「村そだち」10kg	19	190,000	【数量限定】東武動物公園「ホワイトタイガー開運福木札1枚+入場券ペア」	1	11,000
巨峰ゼリーセット (10個入り)	10	60,000	特産品を希望しない		1,308,070
合計					1,968件 26,612,070円

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
寄 付 人 数 (人)	1,788	△830	2,618	4,305
特産品送付件数 (件)	1,968	△879	2,847	4,805
寄 付 金 額 (円)	26,612,070	△18,930,784	45,542,854	65,853,515

※1人で複数個の特産品を希望されている方がいるため、寄付人数と特産品送付件数は数値が異なります。

[成 果]

これまでお寄せいただいた寄付金を指定のあった寄付分野に基づき、令和3年度における下記事業の実施に活用いたしました。

(単位 円)

寄付金活用事業	充当額	成果書掲載ページ
新しい村を中心とした「農」のあるまちづくりへの活用	16,075,000	P171
保育所や子育て支援センターを中心とした子育て環境の整備への活用	25,500,000	P136, P140, P144, P145
町内小中学校における児童・生徒に応じたきめ細やかな指導への活用	4,500,000	P192, P193, P194
「宮代マルシェ」や特設ウェブサイトによる情報発信など、起業創業支援への活用	4,200,000	P47, P172
宮代の桜の保全などの環境整備に活用	3,206,000	
歴史文化の伝承を目的とした文化財案内板の設置	187,000	P206
市民活動拠点である「コミュニティセンター進修館」での事業への活用	1,100,000	P110
地域の資源PR情報誌等の作成	685,000	P173
その他まちづくり全般への活用	2,547,000	
合 計	58,000,000	

政策調整事業

[対話のまちづくり推進担当]

決算書 P64

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
392,000	104,964	0	0	0	0	104,964

[主な実施内容]

■第5次宮代町総合計画前期実行計画の進行管理

第5次宮代町総合計画前期実行計画に位置付けられた事業について、取り組み状況を検証し、進捗状況を町ホームページ等で公表しました。

■指定管理者制度の推進

民間企業等が持つ専門性やノウハウ、組織力等により住民サービスの向上や経費の削減を図ることが期待できる施設について、指定管理者制度を導入しています。

令和3年度は、公設宮代福祉医療センター及びはらっパーク宮代について、指定管理者候補者選定委員会を開催しました。

【成 果】

第5次宮代町総合計画前期実行計画の進行管理については、担当課へのヒアリングや自治体経営会議等により、事業進捗の確認・調整を図ることで計画的なまちづくりを推進することができました。

指定管理者制度については、学識経験者、公募による市民及び町職員により構成する指定管理者候補者選定委員会を開催し、2施設について、次のとおり指定管理者候補者を選定しました。

施設名	指定管理者候補者
公設宮代福祉医療センター	公益社団法人地域医療振興協会
はらっパーク宮代	日本環境マネジメント株式会社

みやしろ定住促進作戦

〔対話のまちづくり推進担当〕

決算書 P64

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,456,000	1,336,500	0	0	0	0	1,336,500

【主な実施内容】

■宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」の運営

移住者へのインタビュー、宮代町での住み方を提案する特集記事、町の魅力を伝える記事などを制作し、宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」で発信しました。

■みやしろ初めてツアーの実施

宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」経由で申し込みのあった町外在住の方へ、町内の公共施設や商業施設などを案内する「みやしろ初めてツアー」を実施しました。

【成 果】

移住者インタビュー等の特集記事を3本、その他自由投稿記事を3本、イベント予告記事を12本制作し、移住希望者に向けた情報を発信しました(年間総ページビュー 182,774回)。また、定住促進チラシを作成し、移住サポートセンターへ配布を依頼し、宮代町のPRにつながる情報発信を行いました。

みやしろ初めてツアーは、3世帯(大阪府2、東京都)に対しツアーを実施し、ツアーに参加できない6世帯(東京都3、北海道、新潟県、さいたま市)に対しては定住促進チラシなどを郵送し、宮代町をPRしました。また、Webによる移住セミナーを開催し、オンラインによるツアーも実施しました。(参加3世帯・東京都、吉川市、杉戸町)

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
30,280,000	27,793,311	0	0	0	48,000	27,745,311

[主な実施内容]

■便利バスの運行

高齢者をはじめとした交通弱者の方々が安心して移動できる交通手段として、住宅地と駅、公共施設、医療施設、商業施設等を結ぶ便利バスを運行しました。

運行日：年末年始を除く毎日

(単位 人)

	3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
乗車人数	56,229	15,620	40,609	59,463

■便利バス委託料

運行等の業務に要した費用として、次のとおり委託料を支払いました。

(単位 円)

	3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
契 約 額	30,250,008	0	30,250,008	29,975,004
運賃収入等	3,040,700	759,900	2,280,800	3,500,600
両替立替分	120,000	0	120,000	120,000
設備工事費	276,100 (バスロケーションシステム設置費)	△502,040	778,140 (空気清浄機設置)	407,700 (料金機移設)
バスロケーションシステム利用料金	45,056	45,056	0	0
委 託 料	27,650,464	△1,216,884	28,867,348	27,002,104

(契約額－運賃収入等＋両替立替分＋設備工事費＝委託料)

■高齢者運転免許自主返納者への支援

高齢者の交通事故防止と便利バスの利用促進を目的に、運転免許を自主返納した満 65 歳以上の方に便利バスの回数券 70 枚を交付しました。

	3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
申請者	84	△22	106	129
利用件数	1,146	508	638	731

[成 果]

令和 3 年度の利用者数は、前年度比 15,620 人 (38.5%) 増の 56,229 人となりました。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け大幅にマイナスとなりましたが、復調しています。高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保することにより、社会生活の利便性の向上を図ることができました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
69,295,000	67,687,877	274,000	0	0	965,608	66,448,269

[主な実施内容]

■ 庁舎管理

(単位 円)

主な内容	金額
役場庁舎総合管理業務委託	30,690,000
庁舎施設修繕	3,853,949

■ 光熱水費

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
電 気 料	5,918,316	155,540	5,762,776	7,285,823
上下水道使用料	1,037,341	△67,126	1,104,467	1,897,156

[成 果]

令和3年度は修繕工事として、エアコン室外機補修・基盤交換・ドレン管の漏水補修を行いました。

また、庁舎内の照明を一律LEDに交換したことにより、消費電力の削減につながりました。

庁舎の適切な管理を推進することにより、来庁者の安全かつ快適な利用、職員の効率的な業務の執行に寄与しました。

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
115,809,000	113,332,352	13,228,000	0	0	0	100,104,352

[主な実施内容]

■〇A 機器のリース等

リース等内容	主な内容	金額 (円)
基幹系システム機器	住基、税務、福祉等基幹系業務情報の一元管理	51,652,920
財務会計システム機器	歳入歳出予算及び会計事務の一元管理	3,085,128
庁内ネットワーク機器	庁内ネットワークを構成する通信機器	6,811,776
統合仮想基盤システム機器	データセンターでのシステム、機器の一元管理	8,264,575
情報系パソコン及びオフィスソフト	パソコン及び文書作成、表計算ソフト等オフィスソフト	7,054,080

■社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）関係

委託内容	主な内容	金額 (円)
特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金	世帯、税情報等の情報を連携するために必要な電子計算機の設置等関連事務の委任に対する J-LIS への交付金	4,163,000
番号制度カード関連事務委任交付金	カード発行事務等 J-LIS への交付金	10,947,800

■新型コロナウイルス感染症対策に係る分散勤務環境の整備

主な内容	金額 (円)
庁内 LAN 回線増設及びネットワーク設定	1,237,500

[成 果]

情報通信機器を適切に管理し、システムの安定稼働を図るよう運用を行いました。機器の管理については、令和 2 年度に引き続き庁内 LAN 回線の未敷設箇所への増設工事を行い、新型コロナウイルス感染症対策に係る職員の庁内分散勤務環境の整備を進めました。

基幹系システムについては、自治体 DX 推進計画の重点取組事項として「自治体情報システムの標準化・共通化」が掲げられていることから、宮代町も参加する埼玉県町村情報システム共同化推進協議会にて協議を行い、システム事業者を選定しました。令和 7 年度末の標準化対応期限に向けて、引き続き庁内外との連携を密にし、遅滞なく事務を進めていきます。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,682,000	1,465,492	0	1,439,200	0	0	26,292

【主な実施内容】

調査名	主な内容	金額 (円)
学校基本調査	在学者数や教職員などの学校に関する基本的事項の調査。 毎年実施 【調査対象】 小学校4校 中学校3校 幼稚園4園	10,000
令和3年経済センサス ー活動調査	国内の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上のための母集団情報を得るための統計調査。 5年ごとに実施 【調査対象】 56区 1,017事業所 (速報値) 【統計従事者】 指導員2人、調査員15人	1,429,200

【成 果】

例年行っている学校基本調査に加え、第3回目となる経済センサスー活動調査を実施しました。宮代町では、町内全域を56区に分け、全事業所を対象に2人の指導員と15人の調査員により調査を実施しました。これらの調査結果は、国及び地方公共団体における行政施策の立案や、民間企業における経営計画の策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として広く活用されます。

住 民 課

■ 本年度の成果

戸籍住民基本台帳管理事業では、関係法令に基づく戸籍簿及び住民基本台帳を適正に管理するとともに、正確かつ迅速に各種証明書を発行しました。戸籍の届出件数は、ほぼ令和2年度と同程度となりました。

マイナンバーカードの交付件数は、12%以上の伸び率となり、令和4年3月末現在で交付率45.7%に達し、概ね町民の2人に1人は交付されたこととなります。

後期高齢者医療制度では、被保険者の健康増進及び疾病の早期発見を促進するため、後期高齢者健康診査や人間ドック受診費用の助成を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は前年度と比較した増加数が低調でしたが、令和3年度は大幅に増加しました。

■ 本年度の主要事業

戸籍住民基本台帳管理事業	88
旅券事務事業	90
後期高齢者健康診査事業	90
後期高齢者疾病予防事業	91

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
17,917,000	13,047,712	0	2,638,123	0	10,409,589	0

※令和3年度予算のうち、4,400,000円を令和4年度に繰り越しています。

【主な実施内容】

■戸籍・住民基本台帳等の取扱件数

(1) 戸籍届出件数

(単位 件)

種 類	届 出		他市町村 から送付	計
	本籍人届出	非本籍人届出		
出 生	106	108	78	292
養 子 縁 組	5	2	8	15
養 子 離 縁	0	0	0	0
婚 姻	75	38	169	282
離 婚	39	10	21	70
死 亡	264	99	54	417
入 籍	29	0	19	48
転 籍	99	1	53	153
そ の 他	61	5	21	87
不 受 理 申 出	3	1	5	9
合 計	681	264	428	1,373

(2) 住民異動状況

(単位 人)

年 度	増 加 人 口				減 少 人 口			
	種 類	男	女	計	種 類	男	女	計
3 年 度	転 入	684	541	1,225	転 出	617	556	1,173
	出 生	115	102	217	死 亡	219	175	394
	そ の 他	9	7	16	そ の 他	18	9	27
	計	808	650	1,458	計	854	740	1,594
比 較	転 入	△23	△36	△59	転 出	△64	△16	△80
	出 生	10	7	17	死 亡	△15	11	△4
	そ の 他	△4	4	0	そ の 他	2	△1	1
	計	△17	△25	△42	計	△77	△6	△83
2 年 度	転 入	707	577	1,284	転 出	681	572	1,253
	出 生	105	95	200	死 亡	234	164	398
	そ の 他	13	3	16	そ の 他	16	10	26
	計	825	675	1,500	計	931	746	1,677

■戸籍・住民基本台帳等の証明発行件数

(1) 証明種類別発行件数

(単位 件)

内 訳	有 料	無 料	計
戸 籍 謄 抄 本	5,892	1,325	7,217
戸 籍 証 明	115	182	297
戸 籍 の 附 票	529	668	1,197
住 民 票 の 写 し	14,263	961	15,224
住 民 票 記 載 事 項 証 明	408	0	408
住 民 台 帳 の 閲 覧	2	12	14
印 鑑 登 録 証 明 書	8,742	20	8,762
諸 証 明	326	49	375
臨 時 運 行 許 可 証	212	0	212
合 計	30,489	3,217	33,706

※住民票の写し、印鑑登録証明書の発行件数には、コンビニエンスストアにおける交付件数も含まれています。

(2) コンビニエンスストアにおける交付件数

(単位 件)

内 訳	宮代町内	宮代町外	計
住 民 票 の 写 し	973	610	1,583
印 鑑 登 録 証 明 書	977	483	1,460
合 計	1,950	1,093	3,043

■マイナンバーカード交付件数

(各年度末現在)

	3 年度	比 較 (2→3)	2 年度	比 較 (元→2)	元年度
交付数(件)	15,458	+4,150	11,308	+4,336	6,972
交付率(%)	45.7	+12.2	33.5	+13.0	20.5

[成 果]

戸籍法、住民基本台帳法、その他関係法令に基づき、戸籍簿及び住民基本台帳を適正に管理するとともに、印鑑登録、住居表示、臨時運行許可、諸証明の発行などの各種業務を適正に行いました。

また、マイナンバーカード交付管理システムを導入して、マイナンバーカードの管理をより一層推進するとともに、多くの町民がマイナンバーカードによる住民票の写し及び印鑑登録証明書のコンビニエンスストア交付を利用できるよう、申請時来庁方式による窓口での申請受付を実施しました。

旅券事務事業

〔戸籍住民担当〕

決算書 P82

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
51,000	42,504	0	42,504	0	0	0

〔主な実施内容〕

■旅券の取扱件数 (単位 件)

	3年度	2年度	元年度
10年用	44	45	300
5年用	13	17	227

〔成 果〕

旅券法に基づくパスポートの申請受付、交付などの業務を適正に行いました。

新型コロナウイルス感染拡大による海外渡航の禁止や自粛により、前年度に引き続き取扱件数が大幅に減少しました。

後期高齢者健康診査事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P128

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
23,357,000	20,699,025	0	0	0	17,247,781	3,451,244

〔主な実施内容〕

後期高齢者医療制度加入者を対象として、無料で受診できる健康診査を個別健診及び集団健診により実施しました。

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
健康診査受診者	1,878	102	1,776	1,765

〔成 果〕

健康診査を実施することで、後期高齢者医療制度加入者の健康保持及び増進、疾病の早期発見を図りました。令和2年度の受診者数は、前年度と比較して微増となりましたが、令和3年度は大幅に増加しました。

後期高齢者疾病予防事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P128

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,656,000	3,654,788	0	0	0	1,713,528	1,941,260

【主な実施内容】

総合健診（人間ドック等）を受診した後期高齢者医療制度加入者を対象に1件あたり27,000円を助成しました。

（単位 人）

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
総合健診受診者	129	35	94	106

【成 果】

被保険者の人間ドック等の受診費用を助成し、受診者の経済的な負担の軽減を図りました。
令和2年度の受診者数は、前年度と比較して減少しましたが、令和3年度は、増加しました。

税 務 課

■ 本年度の成果

町税は、まちづくりの根幹を担う重要な財源であることから、事務処理にあたり地方税法及び税制改正等を踏まえ、公平かつ適正な賦課徴収に努めました。

町民税事業では、eLTAX（エルタックス）による電子申告や給与支払報告書の提出、国税との情報連携をはじめ、国税 e-Tax の周知、給与所得者の特別徴収への取り組み等により、課税対象者の的確な把握と事務処理の効率化に努めると共に、住民税・確定申告の町受付会場においては引き続き新型コロナウイルス感染防止及び混雑緩和の対策を行いました。

固定資産税事業では、令和3年度評価替えを実施し、3年ごとに土地・家屋の価格の見直しを実施すると共に、宅地等に係る負担調整措置によるしくみを継続しました。また、現地確認や航空写真等を活用して法務局からの登記済通知書に基づく異動処理、新增築家屋等の調査及び償却資産申告に基づく正確な課税客体の把握を行い、公平かつ適正な賦課に努めました。

徴収対策事業では、引き続き現下の情勢に応じたきめ細かな納税相談を実施するとともに、新規滞納の発生を防止するため、SNS等を利用した納期内納付の広報や効果的な文書催告を行うことに努めました。また、納税誠意に欠ける滞納者に対しては、財産や納付能力の各種調査を実施して給与や預金等の債権差押を実施すると共に要件に該当する場合は滞納処分の執行停止に取り組みました。

納税推進事業では、eLTAX(エルタックス)による「地方税共通納税システム(電子納税)」を推進し、安全で確実な「口座振替」の利用推奨を行うとともに、身近で便利な「コンビニエンスストア収納」やいつでも・どこでもスマホで決済ができる「PayB(ペイビー)」の利用促進に努めました。

また、町ホームページや窓口サービスにおける税務手続きの案内については押印廃止への対応やわかりやすい表示の充実を図ると共に、窓口や電話での各種の問合せにおいては丁寧かつ的確な対応を心がけることにより住民サービスの向上に努めました。

税務行政の使命は、納税者の皆様の自発的な納税の履行を適正かつ円滑に実現することであり、納税者の皆様から理解と信頼を得ることが何よりも重要です。そのため、税務行政に対して信頼を損なうことのないよう、引き続き関係法令に基づき適正かつ公平な税務行政を推進してまいります。

■ 本年度の主要事業

町民税事業	-----	94
固定資産税事業	-----	96
徴収対策事業	-----	97
納税推進事業	-----	98

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,038,000	7,993,688	0	0	0	1,000	7,992,688

【主な実施内容】

■個人町民税の賦課の状況

町内に居住している個人に対して、個人町民税の賦課を行いました。(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
納税義務者数	17,759	△171	17,930	17,520
所得割(特別徴収)	11,025	36	10,989	10,190
(普通徴収)	5,082	△204	5,286	5,663
(退職所得)	78	21	57	73
均等割のみ	1,574	△24	1,598	1,594

■法人町民税の賦課の状況

町内に事業所等がある法人に対して、法人町民税の賦課を行いました。(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
納税義務者数	537	22	515	502

■軽自動車税の賦課の状況

軽自動車等の所有者に対して、軽自動車税の賦課を行いました。(単位 台)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
軽自動車登録数	10,176	140	10,036	9,957
第一種(50cc以下)	878	△54	932	953
第二種(90cc以下)	67	△7	74	75
第二種(125cc以下)	273	19	254	245
ミニカー	18	△1	19	17
軽二輪	333	1	332	339
軽四輪乗用(営業用)	0	0	0	0
軽四輪乗用(自家用)	6,000	144	5,856	5,769
軽四輪貨物(営業用)	82	12	70	62
軽四輪貨物(自家用)	1,273	8	1,265	1,257
小型特殊(農耕用)	820	△9	829	837
小型特殊(その他)	24	△1	25	25
二輪の小型自動車	396	27	369	367
ポータトレラー	12	1	11	11
新規登録	1,556	△67	1,623	1,569
廃車	1,426	△35	1,461	1,405
移転変更	261	△48	309	283

■町たばこ税の賦課の状況

町内で売り渡された紙巻たばこ等に対して、町たばこ税の賦課を行いました。(単位 本)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
売 渡 し 本 数	28,190,611	58,837	28,131,774	30,565,098
日本たばこ産業(株)	13,228,090	△562,065	13,790,155	15,668,295
TSネットワーク(株)	14,959,201	637,726	14,321,475	14,890,707
太豊通商(株)	3,320	△16,824	20,144	6,096

■町県民税申告受付等の実施

適正な課税を行うために町県民税申告や所得税確定申告等の受付を実施しました。

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
町県民税・確定申告受付数	3,019	△266	3,285	2,976
うち休日申告受付数	55	6	49	158
農業所得事前相談受付数	136	△9	145	157

■電子申告等による受付状況

町税手続きについてeLTAX(エルタックス)を利用した電子申告・納税の受付を行いました。

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
電子申告等件数	31,035	775	30,260	28,161
給与支払報告	13,068	600	12,468	10,219
公的年金等支払報告	17,171	100	17,071	17,251
法人町民税申告	521	64	457	449
償却資産申告	275	11	264	242
電子納税件数	3,935	2,358	1,577	203
地方税共通納税システム	3,935	2,358	1,577	203

[成 果]

eLTAX(エルタックス)を利用した地方税電子申告・納税や国税とのデータ連携により、安全かつ効率的な賦課事務を推進し、適正かつ公平な賦課徴収を行うことで、町の主要財源を確保することができました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,564,000	3,476,806	0	0	0	0	3,476,806

[主な実施内容]

■固定資産税の賦課の状況

町内に固定資産を所有する者に対して固定資産税の賦課を行いました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
納税義務者数(人)	14,816	25	14,791	14,709
土地評価総筆数(筆)	37,319	125	37,194	37,010
土地評価総地積(千㎡)	11,867	△1	11,868	11,871
家屋評価総棟数(棟)	17,332	18	17,314	17,223
家屋評価総床面積(千㎡)	1,754	6	1,748	1,735

■都市計画税の賦課の状況

都市計画事業等に要する費用にあてるため都市計画税の賦課を行いました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
納税義務者数(人)	10,614	22	10,592	10,527
土地評価総筆数(筆)	15,238	40	15,198	14,841
土地評価総地積(千㎡)	2,679	0	2,679	2,504
家屋評価総棟数(棟)	9,533	28	9,505	9,416
家屋評価総床面積(千㎡)	1,165	0	1,165	1,156

■縦覧制度等

納税義務者の求めに対して固定資産課税台帳の閲覧等を行いました。(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧件数	2	2	0	1
固定資産課税台帳の閲覧件数	70	4	66	59
審査申出の件数	0	0	0	0
不服申立の件数	0	0	0	0

縦覧期間：令和3年4月1日から令和3年6月1日まで

[成 果]

土地、家屋及び償却資産について現況調査や航空写真等を活用し、課税客体の正確な把握に努め、電算システムに基づく効率的な評価を行うとともに、適正かつ公平な賦課を行うことができました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,686,000	1,079,442	0	0	0	0	1,079,442

〔主な実施内容〕

事案に即した納税相談、文書や電話による催告等を早期に実施するとともに、納税誠意に欠ける滞納者に対しては給与・預金等の債権の差押を中心に滞納処分を行いました。

■ 収納率の状況

(単位 %))

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
現 年 分	個人町民税	99.2	0.0	99.2	99.1
	特別徴収分	100.0	0.1	99.9	99.9
	普通徴収分	97.1	△0.1	97.2	96.8
	法人町民税	99.7	0.3	99.4	98.3
	固定資産税	99.6	0.1	99.5	99.4
	都市計画税	99.5	0.2	99.3	99.3
	軽自動車税	99.1	0.0	99.1	98.5
	町たばこ税	100.0	0.0	100.0	100.0
	町税計	99.4	0.0	99.4	99.3
	国民健康保険税	96.2	0.7	95.5	95.2
	現年計	98.9	0.1	98.8	98.6
滞 納 繰 越 分	個人町民税	35.6	△1.9	37.5	42.3
	特別徴収分	66.4	29.7	36.7	29.9
	普通徴収分	32.3	△5.3	37.6	43.4
	法人町民税	41.2	13.2	28.0	68.0
	固定資産税	42.9	1.8	41.1	40.2
	都市計画税	43.9	△9.1	53.0	52.3
	軽自動車税	27.8	△5.0	32.8	39.1
	町税計	38.5	△0.4	38.9	42.0
国民健康保険税	27.1	△5.8	32.9	32.3	
滞繰計	31.7	△3.6	35.3	36.4	
総計	96.6	0.0	96.6	96.2	

〔成 果〕

効果的な催告や財産調査等を早期に実施するとともに、納税誠意に欠ける滞納者に対しては債権の差押を中心に実効的な徴収対策に取り組んだ結果、前年度と同じく収納率は96.6%となりました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,778,000	2,482,014	0	0	0	0	2,482,014

【主な実施内容】

■口座振替

納税者の利便性向上を図り安全で確実な口座振替を推奨しました。

【利用状況】

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
町 県 民 税 (普通徴収)	3,194	△140	3,334	3,385
固定資産税 都市計画税	22,740	△102	22,842	22,789
軽自動車税	1,121	△27	1,148	1,145
国民健康保険税	11,020	△399	11,419	11,992
合 計	38,075	△668	38,743	39,311

■コンビニエンスストア収納

24時間、いつでも便利に納税できるコンビニエンスストア収納により納税者の利便性向上を図りました。

【利用状況】

(単位 件)

	区分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
町 県 民 税 (普通徴収)	現年	5,577	110	5,467	5,225
	滞繰	911	△262	1,173	1,253
固定資産税 都市計画税	現年	14,762	1,821	12,941	11,988
	滞繰	370	△601	971	987
軽自動車税	現年	4,982	216	4,766	4,443
	滞繰	34	△14	48	44
国民健康保険税	現年	9,177	1,156	8,021	7,867
	滞繰	1,299	△853	2,152	2,100
合 計		37,112	1,573	35,539	33,907

■Pay B (ペイビー) 収納

スマホのアプリで口座を登録し、納付書のバーコードを読み取ることでいつでもどこでも簡単に納税が可能な Pay B (ペイビー) 収納の利用促進により、納税者の利便性向上を図りました。

【利用状況】

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
町 県 民 税 (普通徴収)	346	△86	432	218
固定資産税 都市計画税	820	136	684	244
軽自動車税	149	75	74	21
国民健康保険税	399	66	333	171
合 計	1,714	191	1,523	654

■地方税共通納税システム(電子納税)

eLTAX (エルタックス)による電子納税の円滑な運用を行い、複数の地方団体への一括納付を推進して事業者負担を軽減するとともに、収納事務の効率化を図りました。

【利用状況】

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
町 県 民 税 (特別徴収)	3,874	2,326	1,548	198
法人町民税	61	32	29	5
合 計	3,935	2,358	1,577	203

※令和元年10月1日導入

[成 果]

eLTAX (エルタックス)による地方税共通納税システム(電子納税)の運用を円滑に行うとともに、口座振替、コンビニエンスストア収納、Pay B (ペイビー)によるスマホ決済といった収納手段の多様化を図り、納税しやすい環境整備により納税者の利便性や安全性の向上に努めました。

町 民 生 活 課

■ 本年度の成果

町民生活課では、町民の皆様の安心安全の確保と快適な生活環境の保全・向上及び地域コミュニティ・市民活動の推進を目標に、以下の事業に取り組みました。

交通安全対策事業では、交通安全関係団体の皆様と各季に啓発活動を行い交通事故防止と交通安全意識の向上に努めるとともに、通学路を中心に道路の危険な箇所への路面標示や注意喚起看板を設置し、また危険な交差点に道路反射鏡を設置することで安全の確保に努めました。

自転車対策事業では、駐輪場利用者が安心して利用できるよう適切に管理するとともに、姫宮西口駐輪場内において、鳩害対策工事を実施し、利用者の衛生状況の向上を図りました。また、場内表示の修繕を行い、利用者の利便性の向上を図りました。また、職員によるパトロールや町民の皆様からの情報提供により発見された放置自転車を適宜撤去することにより、公共空間の美観と安全を確保しました。

防犯活動事業では、地区の要望をもとに防犯灯を設置するとともに、老朽化したLED防犯灯の交換修繕を実施しました。また、警察との連携により、特殊詐欺被害防止のため、防災行政無線などを通じ防犯情報を町民の皆様へお届けしました。さらに職員による防犯パトロールについても継続して実施しました。

防災活動事業では、備蓄品などの適正な管理を実施するとともに、備蓄食料の更新に合わせて、自主防災組織、小中学校、保育園、社会福祉協議会などに配布し、有効活用を図りました。また、民間事業者と協定を締結し、災害発生時に避難所を開設する際のリアルタイム混雑情報配信を行うインターネットサービスの提供を受けました。

みんなで備える防災力強化促進事業（防災コミュニティ促進事業）では、自主防災組織が行う防災資機材及び自主防災組織の拠点の整備について補助金を交付し、自主防災組織の育成に努めました。

消防総務事業では、埼玉東部消防組合を円滑に共同運営するための必要経費を負担しました。また、消防団員の確保に努め、令和2年度89名（女性6名）に対し、令和3年度は90名（女性8名）となりました。

地域の力となる地区コミュニティセンター事業（地域コミュニティ活性化事業）では、第5次総合計画で前期実行計画に位置付けられた事業として、地域コミュニティや地区・自治会のサポートを行うため、空き店舗などの既存施設を活用した地区コミュニティセンターに担当者を配置します。令和5年度からの活動開始に向け、令和3年度は、1か所目となるモデル地区の選定と開設までの工程を含む実施計画を作成しました。

進修館オープンカレッジ事業（進修館管理事業）では、第5次総合計画の前期実行計画に位置付けられた事業として、地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定期的集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けます。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場となるよう、3年ぶりの開催を目指す「宮代町民まつり」をテーマとした第1回目のカレッジを開催しました。

■ 令和3年度後期実行計画

地域の力となる地区コミュニティセンター事業	46
進修館オープンカレッジ	51
みんなで備える防災力強化促進事業	61

■ 本年度の主要事業

地域コミュニティ活性化事業	103
市民活動推進事業	104
交通安全対策事業	105
自転車対策事業	107
防犯活動事業	108
防災活動事業	109
災害に強いまちづくり啓発事業	110
進修館管理事業	110
消防総務事業	112

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
26,662,000	22,856,226	0	0	0	2,500,000	20,356,226

[主な実施内容]

■豊かな地域づくり推進事業費補助金の交付

地域コミュニティの活性化を図り、住みよい豊かなまちづくりを推進するために地区・自治会に対して補助金を交付しました。

(単位 円)

事業名	内容	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
コミュニティ活動支援事業	各地区、自治会のコミュニティ活動	5,890,000	△6,300	5,896,300	5,916,200
	地域敬老会開催活動	1,826,205	1,826,205	0	0
	コミュニティ掲示板の維持管理運営	303,479	243,479	60,000	210,000
地域カステッパップ事業	地域の問題解決につながる活動	0	0	0	0
	花いっぱい活動	30,000	△15,000	45,000	45,000
	地区連絡会活動	0	0	0	15,000
合計		8,049,684	2,048,384	6,001,300	6,186,200

■集会所の修繕・維持管理経費の補助

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
修繕補助金	2,953,000 15 集会所	640,000 4 集会所	2,313,000 11 集会所	1,904,000 10 集会所
集会所借地料 固定資産税部分等の補助金	760,387 14 集会所	△37,054 △1 集会所	797,441 15 集会所	907,484 16 集会所

■自治会長等報償金の交付

76 地区の区長・自治会長に自治会長等報償金を交付しました。

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
交付地区数	76	0	76	77
交付額	8,578,400	△16,000	8,594,400	8,634,800

■地区連絡会の開催中止

区長・自治会長同士で情報の共有や意見交換を行うため、町内4ヵ所で地区連絡会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。連絡事項及び配布資料については各課対応としました。

[成 果]

地域コミュニティの活性化のため、令和3年度は76の地区・自治会に対してさまざまな補助金を交付しました。

豊かな地域づくり推進事業費補助金については、地域コミュニティの活性化を図る目的や地域敬老会の開催運営費、地区・自治会活動の連絡手段であるコミュニティ掲示板の維持管理に関する補助金の交付など、補助金の活用により各地区自治会へのコミュニティ活動支援が図られました。

集会所の修繕・維持管理経費については、集会所のエアコン改修や室内照明のLED化をすることで、集会所の快適性を向上させ、光熱費コスト削減など環境面の負荷軽減に貢献することができました。

市民活動推進事業

[地域振興担当]

決算書 P68

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
388,000	290,187	0	0	0	0	290,187

[主な実施内容]

■町民まつりの開催中止

事業名	期日	場所
第38回宮代町民まつり	8月21日(土) 8月22日(日)	進修館周辺

■クリーン宮代の開催中止

事業名	期日
クリーン宮代	5月30日(日)

[成 果]

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者及び関係者の健康・安全面を考慮し、中止となりました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,868,000	14,477,266	0	0	0	0	14,477,266

[主な実施内容]

■交通指導員による交通指導等

218,084円

通学時における児童等への交通指導を実施しました。

◇児童等への通学時における交差点での交通安全指導

◇交通安全運動(年4回)期間中の広報車両による広報活動 2人×44日 計88人

◇各小学校における交通安全教室 10人

◇登校指導連絡会議(笠原小学校) 3人

■交通安全母の会による啓発活動

84,000円

◇高齢者世帯に対するお達者訪問を行い地域における交通安全の啓発活動を実施しました。

実施日	訪問地区	訪問軒数	参加者数	備考
6月1日	百間1丁目・2丁目	110	7人	啓発チラシ等ポスティング
6月15日	百間1丁目・2丁目	105	9人	啓発チラシ等ポスティング
10月5日	百間3丁目・5丁目	98	8人	啓発チラシ等ポスティング
11月16日	百間4丁目	100	7人	啓発チラシ等ポスティング
計		413	31人	

◇小学校交通安全教室 4月26日 東小学校 5人参加

◇街頭キャンペーン

春の全国交通安全運動 4月6日 2人参加

夏の全国交通事故防止運動 7月15日 2人参加

冬の交通事故防止運動 12月2日 2人参加

■交通安全運動の実施

36,504円

春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中において、広報車巡回による広報活動を実施しました。

春の全国交通安全運動	夏の交通事故防止運動	秋の全国交通安全運動	冬の交通事故防止運動
4月6日～15日	7月15日～24日	9月21日～30日	12月1日～14日

・街頭キャンペーン

開催日	開催場所	内容	備考
4月6日	役場正面玄関	春の全国交通安全運動	新型コロナウイルス感染防止のため規模縮小
7月15日	役場正面玄関	夏の交通事故防止運動	新型コロナウイルス感染防止のため規模縮小
9月		秋の全国交通安全運動	新型コロナウイルス感染防止のため中止
12月2日	進修館前交差点	冬の交通事故防止運動	

■交通安全施設の新設・修繕

12,211,350 円

路面標示、道路照明灯、道路反射鏡等交通安全施設の新設、又は修繕を行いました。

また、姫宮駅西口交差点に押しボタン式信号機設置に伴い周辺道路の路面標示塗直しを行いました。

項目	工事数		金額 (円)
	新設	修繕	
道路標示等工事	6カ所	11カ所	6,622,000
道路照明灯整備工事	1基	12基	1,818,300
道路反射鏡設置及び修理工事	9基	14基	3,023,050
姫宮駅西口交差点改修工事		1箇所	748,000

■道路標示等工事の実施

	実施箇所 (交差点名称等)	対策内容
新設	桃山台・和戸1丁目・西原	路面標示「止まれ」「飛び出し注意」「カーブ注意」
	道佛1丁目・西条原	路面標示「止まれ」「交差点注意」「カーブ注意」 外側線、破線
	西原	路面標示「止まれ」「学童注意」
修繕	和戸・宮代3丁目・中	路面標示「止まれ」「交差点注意」グリーンベルト、外側線
	和戸・和戸2丁目	路面標示「通学路」「T字」グリーンベルト、外側線
	東姫宮1丁目	路面標示「止まれ」「矢印」・実線・ゼブラ
	本田4丁目・百間4丁目・ 道佛3丁目・中島・和戸	路面標示「学童注意」「速度落せ」、外側線、破線

[成 果]

交通指導員による児童等への交通指導や交通安全母の会による広報活動により、交通ルールの遵守と交通マナーに関する意識の向上を図ることができました。

また、道路反射鏡や路面標示といった交通安全施設の設置や修繕を進めたことで、道路の安全が確保され、交通事故を起こしにくい環境を整備することができました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,294,000	8,202,938	0	0	0	7,603,070	599,868

[主な実施内容]

■**放置自転車の撤去**

安全な道路環境を確保するため、通行に支障となる放置自転車の撤去を行いました。

放置自転車撤去台数 (単位 台)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
放置自転車撤去台数	92	△8	100	151

放置自転車の場所別の撤去台数 (単位 台)

	放置禁止区域			放置禁止 区域以外	合計
	和戸駅周辺	東武動物公園駅周辺	姫宮駅周辺		
放置自転車撤去台数	3	11	5	73	92

■**放置自転車の有効活用(リユース)**

引き取り手のない放置自転車を宮代町自転車再利用促進会へリユース販売しました。

販売台数 10台 (収入 8,500円)

■**町営駐輪場の維持管理**

4,922,652円

町営駐輪場の業務をシルバー人材センターへ管理委託しました。

使用料収入 (単位 円)

施設名	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
和戸駅第1駐輪場	2,650,550	510,400	2,140,150	2,861,250
和戸駅第2駐輪場	1,212,400	181,550	1,030,850	1,366,100
姫宮駅西口駐輪場	2,426,500	323,150	2,103,350	2,505,700
計	6,289,450	1,015,100	5,274,350	6,733,050

■**駐輪場整備工事**

2,354,000円

工事名	金額
和戸駅第三駐輪場整備工事	341,000円
姫宮西口駐輪場鳩害対策工事	1,287,000円
姫宮西口駐輪場修繕工事	726,000円

[成 果]

町内パトロールや住民からの連絡により、放置された自転車を撤去・保管するとともに町営駐輪場に盗難防止ポスターを掲示する等利用者が必要となる情報の提供に努めました。また、姫宮駅西口駐輪場では鳩害対策工事を行い利用者が快適に利用できる環境を整えました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出 金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,897,000	8,565,692	0	0	0	0	8,565,692

〔主な実施内容〕

■防犯パトロールの実施

職員による青色回転灯を使用した防犯パトロールを実施しました。

- ・パトロール99回(週2回、但し、12月・1月は週3回実施)

令和3年4月13日～令和4年3月31日

■防犯灯の新設

592,900円

- ・防犯灯設置工事 21カ所 592,900円

■防犯灯維持管理の実施

6,081,982円

(単位 円)

維持管理内容	金額
防犯灯電気料	5,204,732
器具交換(一体型LEDの修繕)	68,200
器具交換(LED改造型→一体型LED)	585,200
その他(器具の撤去、移設、点検等)	223,850

■防災・防犯マスター講座の実施

防災・防犯力の向上を目指し、密接な関係にある防災と防犯を総合的に学べるよう、防災・防犯マスター講座を実施する予定でしたが、「新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止」となりました。

〔成 果〕

防犯灯を新設または修繕することにより、危険な道路も安心して通行できるようになりました。今年度は老朽化したLED型防犯灯を少ない電力量でも十分な光量で道路を明るく照らせる最新型のものに交換しました。

また、防犯パトロールにおいては、犯罪の抑止力や事件の早期解決に活躍するドライブレコーダーをパトロール車両に設置して、動く防犯カメラとして町内の警戒にあたりました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
32,743,000	16,866,652	0	0	0	0	16,866,652

[主な実施内容]

■防災行政無線の維持管理

2,787,185円

(単位 円)

維持管理内容	金額
防災行政無線電波使用料	72,650
防災行政無線固定局電気料	326,259
防災行政無線テレホンサービス5回線(利用件数2,489件)	347,629
防災行政無線遠隔制御器電話料	1,837,044
埼玉県防災行政無線専用回線使用料	203,603

■防災情報システムの維持管理

2,055,222円

(単位 円)

維持管理内容	金額
防災情報システム電話回線使用料	1,341,872
防災情報システム管理委託料(登録制メール)	53,350
テレビ埼玉(テレ玉)市町村データ放送サービス利用料	660,000

■防災通信機器の維持管理

107,443円

(単位 円)

維持管理内容	金額
災害時優先電話・災害用携帯電話 電話料	107,443

■防災施設維持管理

564,520円

(単位 円)

維持管理内容	金額
浄水機(2台)、発電機(6台)保守点検料	99,000
防災倉庫、防災用施設修繕料	465,520

■防災施設保守委託

6,882,700円

(宮代町防災行政無線施設保守業務委託)

[成 果]

防災無線フリーダイヤル（ミヤシロオーター）や防災・防犯情報を配信する登録制の町民メール、テレビ埼玉（テレ玉）のデータ放送などの防災行政無線と連携したサービスを維持し、住民に対する多角的な防災情報の発信を行いました。

災害に強いまちづくり啓発事業

〔危機管理担当〕

決算書 P74

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
218,000	25,839	0	0	0	0	25,839

[主な実施内容]

■避難所開設実働訓練の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の地域防災訓練の実施を取り止め、感染症が蔓延している中で災害が発生した場合、いかにして避難所を開設運営していくのか、課題を抽出するために職員を対象とした避難所開設実働訓練を実施しました。

訓練は、大型の台風による水害を想定し、役場庁舎を災害対策本部、百間中学校と須賀小学校、百間小学校の3箇所を避難所としました。参加者は、本部と避難所運営班の職員のほか、自主防災組織の方にも避難者役として協力を頂きました。

また、消防団と自主防災組織間で無線機を使用して行う「情報伝達訓練」を実施しました。

そして、昨年の訓練後、受付が混雑していたという意見が多く見受けられたため、本年は受付混雑改善のため、検温でのサーマルカメラの活用、記載台での避難者名簿記入等対策を行い、避難をスムーズに行えるよう改善しました。また、避難所内での女性の着替えや授乳等に活用できる女性専用スペースを確保しました。

- ① 実施日 令和3年10月17日(日)
- ② 場所 百間中学校・百間小学校・須賀小学校
- ③ 参加人数 125人

[成 果]

災害対策本部と各避難所をタブレットで結び、本部でも避難所の様子を映像で確認しながら、適確に指示ができるようにしました。河川の氾濫を想定した訓練では、各避難所において高所避難を行いました。昨年度課題として挙げられた受付の混雑緩和の対策がされており、受付で混み合うこともありませんでした。今後ともより良い対応をしていきます。

進修館管理事業

〔地域振興担当〕

決算書 P74

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
35,357,000	35,216,688	499,000	0	0	1,128,120	33,589,568

[主な実施内容]

進修館の管理運営を行いました。

■進修館の利用状況

令和3年度は359日開館しました。

・進修館

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
大ホール	利用件数	326	△78	404	614
	利用人数	43,498	32,985	10,513	27,115
小ホール	利用件数	363	130	233	405
	利用人数	6,295	2,572	3,723	9,937
集会室	利用件数	347	1	346	593
	利用人数	1,277	△1,185	2,462	6,073
研修室	利用件数	314	△36	350	595
	利用人数	3,135	461	2,674	11,948
食堂	利用件数	260	30	230	432
	利用人数	3,627	226	3,401	6,471
和室	利用件数	415	215	200	563
	利用人数	2,533	1,275	1,258	4,991
茶室	利用件数	176	49	127	296
	利用人数	648	150	498	1,581
談話室	利用件数	447	151	296	501
	利用人数	2,426	859	1,567	3,632
2階ロビー	利用件数	99	99	-	-
	利用人数	1,454	1,454	-	-
芝生広場	利用件数	29	6	23	39
	利用人数	604	△461	1,065	2,665
合計	利用件数	2,776	567	2,209	4,038
	利用人数	65,497	38,336	27,161	74,413

・スキップ広場

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
スキップ広場	利用件数	71	60	11	71

[成 果]

施設の貸出では、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限等の影響を受けながらも、地域住民や町内外の市民活動団体等の活動拠点として、集会、各種学習、市民活動等に利用されることで、地域住民の交流や各種団体による市民活動の推進を図りました。

また、進修館を活用した多種多様な市民活動の場「進修館百貨店」では、新たな施設の有効活用の掘り起こしを図りました。

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
496,892,000	488,935,250	156,000			4,265,022	484,514,228

[主な実施内容]

■ 埼玉東部消防組合負担金

461,327,000 円

常備消防を受け持つ埼玉東部消防組合に負担金を支出しました。

(町内における火災・救急の状況)

火災発生状況 (令和 3 年 1 月 1 日～令和 3 年 12 月 31 日) 5 件

救急出場件数 (令和 3 年 1 月 1 日～令和 3 年 12 月 31 日) 1,494 件

■ 消防団の事業運営

2,175,500 円

消防設備の各種点検を実施するとともに、消防団員の知識・技術の向上を図るため各種研修及び訓練活動等については、感染防止対策をしながら実施しました。

・ 消防団員総数及び入退団状況

	団員総数	入団者数	退団者数
令和 元 年度	93 (6)	2	3
令和 2 年度	89 (6)	1	5
令和 3 年度	90 (8)	4	3

※ () 内は、女性団員数

・ 団員出動状況

出動種別	回数	延べ人数	備 考
火災	3 回	119 人	※うち応援出動 1 回・14 人
訓練等	70 回	763 人	
広報・指導	5 回	11 人	救命講習指導 (女性団員)
警戒	21 回	171 人	

・ 団員研修状況

研修名	開催日	場所	参加人数
県消防協会久喜支部(新任団員基礎教育研修)	令和 3 年 6 月 13 日	久喜消防署	4 人
新入団員現地研修	令和 4 年 2 月 13 日	宮代消防署	3 人
県消防協会(女性消防団員研修)	中止	埼玉県消防学校	—
県消防協会(新任団員基礎教育研修)	中止	埼玉県消防学校	—
県消防協会(消防団員初級幹部教育研修)	中止	埼玉県消防学校	—

- ・特別点検の実施

特別点検は、消防団員の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施しました。

- ・正副団長会議の実施

令和3年6月11日、8月12日、令和4年1月6日

- ・役員（副分団長以上）会議の実施

令和3年4月4日、7月18日、9月29日、令和4年1月9日 4回実施

■消火栓の管理

4,906,381 円

- ・消火栓交換及び修繕

28カ所

[成 果]

コロナ禍の状況下でありましたが、消防組合や消防団の円滑な活動が推進され、災害発生時や救急要請に対する迅速な対応が図れました。また、消防組合職員や消防団員の指導の下で実施している救急救命講習会や自主防災組織の防災訓練、リーダー養成講座等につきましては、感染防止対策として希望する団体への活動となりました。

環境資源課

■ 本年度の成果

環境資源課では、町民の皆様の快適な生活環境の保全・向上を図るために、以下の事業に取り組みました。

西原自然の森活用事業（里山体験事業編）では、第5次総合計画の前期実行計画事業として、福祉課、教育推進課など複数課・担当の連携による、福祉、文化及び自然という3つのテーマが融合したイベント「西原自然の森フェスタ2021」を開催しました。環境資源課は、竹灯ろうアート制作と展示を行いました。

公害防止対策事業では、不法投棄対策として、警告看板の設置と投棄物の迅速な処理を行いました。

狂犬病予防事業では、飼い犬に対する狂犬病予防注射の実施促進や、飼い犬の登録事務、飼い主のマナー向上と飼い犬の正しいしつけのための、犬のしつけ方教室などを行いました。

合併処理浄化槽設置推進事業では、汲取り便槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進のための補助金交付や、浄化槽の適正管理の啓発として、一般社団法人埼玉県浄化槽協会と連携し、浄化槽利用各世帯に法定検査の受検促進など適正管理を促すダイレクトメールの送付を行いました。

環境衛生事業では、地区・自治会による側溝等の清掃活動の支援や、空き地の適正管理促進のための現地確認と是正指導文書の送付、野良猫の繁殖抑制（TNR）やえさ・トイレの適正管理支援などを行いました。

空き家対策事業では、空き家の適正管理促進のため、町が把握している空き家や、町民から相談を受けた空き家の現地確認と管理不全空き家への是正指導文書の送付を行いました。

清掃総務事業では、宮代町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の見直しのため、宮代町廃棄物処理検討委員会を開催しました。

■ 令和3年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（里山体験事業編） ----- 25

■ 本年度の主要事業

公害防止対策事業	-----	116
狂犬病予防事業	-----	116
合併処理浄化槽設置推進事業	-----	117
環境衛生事業	-----	118
広域利根斎場組合負担金事業	-----	119
清掃総務事業	-----	119

公害防止対策事業

[環境推進担当]

決算書 P70

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
131,000	55,800	0	55,800	0	0	0

[主な実施内容]

野外焼却や不法投棄などによる環境汚染を防止するため、通報等への迅速な対応及びパトロールを定期的実施し、環境美化に努めました。

不法投棄処理状況			家電4品目の不法投棄状況(宮代町対応分)			
家庭ごみ	粗大ごみ	その他	テレビ	洗濯機・乾燥機	冷蔵庫	エアコン
34件	6件	1件	0台	0台	0台	0台
合計	41件		合計	0台		

[成果]

不法投棄について関係機関と調整を行い迅速に対応したことにより、不法投棄増加の抑制ができました。

狂犬病予防事業

[環境推進担当]

決算書 P126

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
298,000	246,393	0	0	0	246,393	0

[主な実施内容]

■犬の登録事務

(単位 頭数)

内 容	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
犬の新規登録	142	△5	147	129
狂犬病予防注射済票の交付	1,246	55	1,191	1,250
犬の鑑札の再交付	0	△3	3	5
狂犬病予防注射済票の再交付	0	△2	2	1
登録総頭数(年度末)	1,644	△28	1,672	1,746

■狂犬病予防集合注射の実施

(単位 頭数)

会 場	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
宮代町保健センター	89	—	中 止	84
(旧)ふれ愛センター駐車場	35	—		78
川端公民館	71	—		90
和戸公民館	63	—		79
ぐるる宮代第一駐車場	41	—		43
東条原集会所	19	—		31
計	318			405

■犬のしつけ方教室

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
参加人数	19	△1	20	13

[成 果]

今年度の狂犬病予防集合注射は 6 会場で実施し、狂犬病発生の防止と公衆衛生の向上に努めました。また、狂犬病予防注射未実施者に対し再通知を行い、接種率の向上に努めました。このほか、犬のしつけ方教室を開催し、飼い主のマナー向上を図りました。

合併処理浄化槽設置推進事業

[環境推進担当]

決算書 P136

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,568,000	4,320,000	2,160,000	1,600,000	0	0	560,000

[主な実施内容]

■合併処理浄化槽設置整備補助金の交付

- 合併処理浄化槽設置者に対し、設置費用の一部を補助しました。

		3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
転換補助	件数 (件)	8	△2	10	10
	補助金額 (円)	4,320,000	△2,066,000	6,386,000	6,528,000

[成 果]

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対し 8 件の補助金を交付しました。これにより、公共用水域における水質汚濁防止を推進することができました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
17,685,000	4,130,047	0	400,000	0	1,089,842	2,640,205

[主な実施内容]

■側溝等清掃たい積物の適正処分

- ・地域の方々のご協力による春季及び秋季地区清掃活動に伴い、カマス袋を配布し汚泥の回収処分を実施しました。

カマス袋の配布	約2,000枚
側溝等清掃汚泥運搬業務委託	21.68 t × 40,000 円 × 1.10 = 953,920 円

■あき地環境保全

- ・快適な生活環境の保全及び火災予防・防犯のため、雑草等が繁茂している土地所有者に対し必要な指導又は助言を行いました。

		件数	筆数	うち市街地
対象面積	207,860 m ²	249	480	25,410 m ²
処理面積	70,837 m ²	108	175	746 m ²
自己処理	68,009 m ²	95	160	0 m ²
委託処理	2,829 m ²	13	15	746 m ²
処理率	34.1%	—	—	2.9%

■犬猫等の死骸処理状況

- ・町道上の犬猫等の死骸を処理し、環境衛生の向上に努めました。

	犬	猫	たぬき	その他	計
処理件数	0件	18件	16件	29件	63件

※その他⇒カラス・ハト等

■野良猫の繁殖抑制等の実施

- ・猫対策（地域猫活動）の一環である野良猫の繁殖抑制（TNR）を進めるため、埼玉県地域猫活動推進事業費補助金を活用してボランティア団体への支援等を行い、144匹の野良猫の不妊手術を行いました。

■環境問題処理状況

- ・住民からの苦情により現地調査等を行い、対応可能な範囲で環境問題解決に努めました。

雑草・樹木	不法投棄	猫相談	野外焼却	水質	騒音・振動	その他	計
91件	41件	24件	39件	5件	21件	78件	299件

※その他⇒空き家・空き地、害虫対応等

[成 果]

側溝等清掃たい積物の処分や土地所有者等に対するあき地の適正な管理についての指導を行った結果、側溝からの害虫の発生を未然に防ぐとともに繁茂した雑草等の処分を行うことで火災・犯罪等を予防することができ、快適な生活環境を保全することができました。また、野良猫の繁殖抑制（TNR）や、えさ・トイレの適正な管理のための活動支援を行うことによって、猫を起因とする地域の環境問題の解決につなげることができました。

広域利根斎場組合負担金事業

[環境推進担当]

決算書 P136

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,120,000	10,120,000	0	0	0	0	10,120,000

[主な実施内容]

■広域利根斎場組合負担金 10,120,000円

火葬場及び葬祭場の管理運営を受け持つ広域利根斎場組合に負担金を支出しました。

■メモリアルトネの使用状況

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
人	死亡件数	376	△21	397	341
	利用件数	229	△14	243	198
小動物	利用件数	133	0	133	113

[成 果]

火葬場及び葬祭場を管理運営することにより、229件の利用がありました。

清掃総務事業

[資源循環担当]

決算書 P138

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
532,665,000	532,583,200	0	0	0	0	532,583,200

[主な実施内容]

■久喜宮代衛生組合負担金 521,115,000円

塵芥及びし尿の収集・処理を受け持つ久喜宮代衛生組合に負担金を支出しました。

・資源回収状況(宮代町分)

(単位 t)

種 別	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
可燃系	1,483	△82	1,565	1,312
不燃系	620	△10	630	556
プラスチック系	1,008	△47	1,055	1,044
計	3,111	△139	3,250	2,912

・ごみ搬入量（宮代町分）

（単位 t）

種 別	3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
燃やせるごみ	6,146	△293	6,439	6,956
燃やせないごみ	338	△51	389	317
粗 大 ご み	166	△40	206	161
有 害 ご み	37	8	29	27
計	6,687	△376	7,063	7,461

・し尿収集量（宮代町分）

（単位 kℓ）

種 別	3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
し 尿	579	155	424	426

■宮代町廃棄物処理検討委員会による宮代町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画改訂案の作成

437,400 円

宮代町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和5年4月の改訂に向け、廃棄物行政に識見を有する人及び公募市民等13人で構成する宮代町廃棄物処理検討委員会において、改訂内容について検討を行いました。また、現在建設準備中の久喜市新ごみ処理施設の稼働時における、宮代町の一般廃棄物のうちプラスチック類（ペットボトルを除く）の処理について、町長に部分答申を行い、それを受け町の方針を決定しました。

■姫宮北団地・姫宮南団地内ごみ集積所修繕工事

11,030,800 円

地区衛生及び安全のため、姫宮北団地内10箇所、姫宮南団地内11箇所のごみ集積所の屋根材（アスベスト含有）の撤去・交換、鉄柱、コンクリートブロックの補修、塗装、床面等の老朽箇所の修繕を行いました。

[成 果]

ごみ6,687t及びし尿579kℓを適正に処理することにより、町内の清潔な環境を維持し、また、腐敗物等による悪臭等の防止を図ることで地域の環境衛生が向上しました。

また、宮代町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和5年4月改訂に向けた1年目として、ごみの減量化、資源化推進のための取組内容について検討を行いました。

町所有の姫宮北団地・姫宮南団地ごみ集積所のアスベスト含有屋根材の交換、老朽箇所の修繕を実施し、引き続き安全に地域の環境衛生の向上が図れるようにしました。また、令和4年度からは各自治会の所有・管理となるよう、各自治会との調整を行いました。

福 祉 課

■ 本年度の成果

令和3年度におきましては、引き続き町民の皆様が住みなれた地域で、生涯にわたって安心して自立した生活が送れるよう、社会福祉関係団体への支援や各種制度の効果的な運用に努めたところであり、次のような成果をあげることができました。

社会福祉担当では、社会福祉協議会及び民生委員・児童委員協議会へ補助金を交付するとともに、様々な活動への支援や連携を行うことにより地域福祉の充実に向けた取り組みや、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与しました。また、令和2年度中に旧ふれ愛センターの改修工事を実施し、5月に社会福祉協議会の業務をすてつぷ宮代に集約を行いました。

障がい者福祉担当では、障がい（児）者や難病患者等の高齢化及び重度化並びに親亡き後の生活の安心を見据え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするために、蓮田市、幸手市、白岡市及び杉戸町と共同設置した埼葛北地区障害者地域生活支援拠点（愛称：オリーブ）で、宮代ひまわりの家と勉強会やグループホーム体験の実施など様々な取り組みを行いました。

また、障がいのある方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、第5期障がい者基本計画、第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画に基づき、各種障がい福祉事業を実施することにより、障がいのある方の身体的・経済的負担及びその介護者の負担の軽減を図りました。

■ 令和3年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編） ----- 54

■ 本年度の主要事業

社会福祉事業 -----	122
重度心身障害者医療費支給事業 -----	123
重度心身障害者手当支給事業 -----	123
障害者総合支援事業 -----	124
福祉交流センター運営事業 -----	125
宮代町生活サポート事業 -----	126
介護給付費等支給審査会運営事業 -----	126
障害者地域生活支援事業 -----	127
障害者更生援護事業 -----	128
福祉タクシー等利用料金助成事業 -----	129
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 -----	130

社会福祉事業

[福祉支援担当]

決算書 P90

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
36,513,000	35,252,582	2,585,000	3,762,790	0	0	28,904,792

[主な実施内容]

- 食事食材提供事業業務委託 2,585,000円 (提供食数 1,645個)
- 新たな福祉の拠点づくり推進事業 1,424,213円
- すだちの家撤去工事 2,475,000円
- 社会福祉関連補助金の交付
社会福祉の向上を図るため、各団体の活動等を支援しました。

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
社会福祉推進事業補助金	24,236,000	7,750	24,228,250	24,228,750
民生委員・児童委員活動費等補助金	4,169,540	△25,110	4,194,650	4,398,830

[成 果]

食事食材提供事業では、コロナ禍で生活に困窮した町民に対し、食事や食材の提供を行いました。また、西原自然の森活用事業（新たな福祉の拠点づくり編）として、西原自然の森フェスタ2021の開催や、すてっぷ宮代において宮代町外交官である片桐仁氏の作品の寄贈お披露目展示会を実施しました。

社会福祉推進事業においては、社会福祉協議会等へ補助金を交付しました。

社会福祉協議会では、地域福祉の充実を図るため、福祉ボランティアとの連携やひとり暮らし高齢者宅への歳末訪問活動などの事業を展開しました。また、コロナ禍の影響による生活困窮者の生活資金の貸付に対応するため緊急小口資金及び総合支援金の受付業務を実施しました。これらの活動を継続的に実施することで安心・安全な地域福祉の実現に寄与しました。

民生委員・児童委員の活動については、コロナ禍により直接面談時には感染症対策を講じながら、主にひとり暮らしの高齢世帯を対象とした訪問活動により、生活状況の把握をすることや介護保険制度等の情報提供など、安心して暮らせる地域社会づくりに寄与しました。

重度心身障害者医療費支給事業

[福祉支援担当]

決算書 P90

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
58,339,000	54,241,496	0	26,713,823	0	0	27,527,673

[主な実施内容]

■重度心身障害者医療費の支給

重度の心身障がいのある方の医療費の自己負担分に対して助成しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
登録者数 (人)	632	△21	653	688
支給件数 (件)	14,699	53	14,646	16,676
支給総額 (円)	53,738,591	△3,251,975	56,990,566	62,606,863
登録者一人あたりの支給額 (円)	85,029	△2,245	87,274	90,998
一件あたりの支給額 (円)	3,656	△235	3,891	3,754

※小数点以下、切り捨て

[成 果]

重度の心身障がいのある方632人に対して、14,699件の医療費助成を行い、受給者の経済的負担軽減を図ることができました。

重度心身障害者手当支給事業

[福祉支援担当]

決算書 P90

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
27,698,000	27,481,300	0	7,215,000	0	0	20,266,300

[主な実施内容]

在宅の重度の障がいのある方の経済的な負担を軽減するため、重度心身障害者手当の支給を実施しました。

■重度心身障害者手当の支給

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
身体1・2級 療育(A)・A 精神1級	延べ支給人数(人)	4,005	△47	4,052	4,201
	支給額(円)	20,025,000	△235,000	20,260,000	21,005,000
身体3級	延べ支給人数(人)	1,210	△6	1,216	1,313
	支給額(円)	2,420,000	△12,000	2,432,000	2,626,000
療育 B	延べ支給人数(人)	828	56	772	746
	支給額(円)	2,070,000	140,000	1,930,000	1,865,000
合計	延べ支給人数(人)	6,043	3	6,040	6,260
	支給額(円)	24,515,000	△107,000	24,622,000	25,496,000

[成 果]

在宅の重度の障がいのある方延べ、6,043人に対して、重度心身障害者手当を支給したことにより、受給者の経済的支援を図ることができました。

障害者総合支援事業

[福祉支援担当]

決算書 P90

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
770,808,000	761,970,465	364,475,742	182,237,871	0	0	215,256,852

[主な実施内容]

障がいのある方に対し、地域で自立した日常生活・社会活動を営むための各種福祉サービスに係る費用(介護給付費・訓練等給付費)、自立支援医療費(更生医療・育成医療)、補装具費を給付し、障がいのある方の生活の支援を実施しました。

■介護給付費・訓練等給付費・療養介護医療費

事業名称		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
介護給付費・ 訓練等給付費	利用者数(人)	322	8	314	278
	支出総額(円)	699,298,688	49,923,173	649,375,515	610,256,619
療養介護医療費	利用者数(人)	5	0	5	5
	支出総額(円)	3,775,660	△294,941	4,070,601	3,856,172

■自立支援医療費

事業名称		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
更生医療	利用者数(人)	55	4	51	48
	支出総額(円)	17,109,426	△3,306,690	20,416,116	28,449,776
育成医療	利用者数(人)	10	2	8	17
	支出総額(円)	591,568	91,238	500,330	1,158,604

■補装具費

事業名称		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
補装具費	延べ交付者(人)	31	△18	49	28
	延べ修理者数(人)	27	5	22	28
	支出総額(円)	4,739,803	△5,270,772	10,010,575	5,627,151

■補装具の種類及び交付・修理延べ件数（児童含む）

種類	延べ件数	種類	延べ件数	種類	延べ件数
装具	18件	車いす	10件	補聴器	11件
義肢	4件	電動車いす	6件	眼鏡	5件
視覚障害者安全つえ	1件	座位保持装置	3件		
合計					58件

[成果]

障害福祉サービスの利用者322人に対し、介護給付費等を給付し、障がいのある方の日常生活や社会生活に必要な支援や訓練の提供に寄与しました。

また、病院等の医療施設で障害福祉サービスを利用している方の医療費を給付する療養介護医療の実施や、身体の機能障がいを軽減・改善するための自立支援医療（更生医療・育成医療）の実施、身体機能を補完するための補装具の購入・修理の費用の給付を行い、利用者の経済的負担および介護者の負担軽減を図ることができました。

福祉交流センター運営事業

[福祉支援担当]

決算書 P92

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,983,000	3,913,335	320,000	0	0	3,060	3,590,275

[主な実施内容]

高齢者や障がいのある方、児童などが気軽に集える交流事業を福祉交流センター陽だまりサロンで実施しました。

■利用状況

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
一般	552	227	325	731
障がい者	38	△3	41	130
高齢者	3,048	1,413	1,635	5,115
小中高生	73	△14	87	2,396
乳幼児	11	3	8	46
合計	3,722	1,626	2,096	8,418

[成 果]

福祉交流センターにおいて、定期事業（健康体操、さをり織り体験等）のほか、イベントを54回実施し、高齢者や児童等の交流の輪が広まりました。また、施設関係者による利用調整会議を毎月1回開催し、コロナ禍への対応を協議したほか、イベントの検証や見直しなど適正な事業運営を行いました。

宮代町生活サポート事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P92

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,500,000	661,230	0	330,000	0	0	331,230

[主な実施内容]

登録された民間の事業者が実施する、障がいのある方の一時預かりなどの福祉サービスに対して、補助金を交付し、支援しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
登録事業所数(数)	12	0	12	13
利用数(人)	10	1	9	15
利用時間数(時間)	346.0	△5.0	351.0	521.0
支給総額(円)	661,230	△25,925	687,155	1,006,965

[成 果]

一時預かりや送迎等のサービスを10人に対して提供し、介護者の負担軽減を図ることができました。

介護給付費等支給審査会運営事業

〔福祉支援担当〕

決算書 P94

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,223,000	1,029,980	0	0	0	0	1,029,980

[主な実施内容]

障害福祉サービスを受けようとする障がいのある方に対して、障害支援区分の審査・判定を実施し、介護給付費・訓練等給付費の支給決定を行いました。

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給対象者	93	67	26	53
介護給付費のみ	54	39	15	39
介護給付費+訓練等給付費	20	15	5	9
訓練等給付費のみ	19	13	6	5

[成 果]

障害福祉サービスを受けようとする障がいのある方93人に対して、障害支援区分の審査・判定を実施し、介護給付費等の支給決定を行い、生活するために必要なサービス提供をしました。

障害者地域生活支援事業

[福祉支援担当]

決算書 P94

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
34,554,030	30,658,038	8,022,000	4,011,000	0	21,000	18,604,038

※令和2年度からの繰越分を含みます。

※令和3年度予算のうち、843,920円を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

障がいのある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、各種事業を実施しました。

■相談支援事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ利用者数(人)	1,052	175	877	766
支給総額(円)	6,897,565	71,242	6,826,323	6,751,396

■基幹相談支援センター

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給総額(円)	2,519,025	△472,473	2,991,498	2,958,676

■日常生活用具給付等事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ利用者数(人)	764	50	714	576
支給総額(円)	8,271,186	459,059	7,812,127	6,419,231

■日常生活用具の種類及び支給人数(身体障がい者・重度障がい児(者))

種 類	延べ人数	種 類	延べ人数
ストマ用装具	598人	特殊ベッド	1人
紙おむつ等	144人	電気式たん吸引器	2人
住宅改修費	1人	人工喉頭(人工鼻)	12人
入浴補助用具	1人	透析液加温器	1人
聴覚障害者用通信装置	1人	視覚障害者用ポータブルレコーダー	1人
特殊マット	1人	視覚障害者用活字文書読上げ装置	1人
		合 計	764人

■意思疎通支援事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ利用者数(人)	8	△2	10	3
支給総額(円)	687,000	3,000	684,000	624,000

※支給総額687,000円のうち、540,000円は手話通訳者・要約筆記者の派遣を委託している埼玉聴覚障害者情報センターの事務管理費となっています。

■地域活動支援センター事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ利用者数(人)	1,157	48	1,109	1,330
支給総額(円)	1,873,963	△443,208	2,317,171	2,258,144

■移動支援事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ利用者数(人)	548	△156	704	881
支給総額(円)	3,073,574	△973,163	4,046,737	4,372,212

■紙おむつ購入費支給事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
登録者数(人)	39	△14	53	46
延べ支給件数(件)	282	19	263	357
支給総額(円)	1,102,964	△8,173	1,111,137	1,627,418

[成 果]

障がいのある方への相談支援、日常生活用具費用の助成、病院等での受診の際の手話通訳者等の派遣、日中の活動の場の提供、外出介助、紙おむつ購入費の支給等、障がいのある方のニーズに応じた利便性の高いサービスを提供したことで、利用者の経済的負担および介護者の負担軽減を図ることができました。

障害者更生援護事業

[福祉支援担当]

決算書 P96

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,145,000	590,320	0	315,000	0	0	275,320

[主な実施内容]

障がいのある方が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、各種事業を実施しました。

■在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用日数(日)	30	4	26	66
支給総額(円)	300,000	△10,000	310,000	910,000

■重度障害者居宅改善整備費補助金

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給件数(件)	0	0	0	2
支給総額(円)	0	0	0	397,500

■小児慢性特定疾患児日常生活用具給付金

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給件数(件)	2	2	0	0
支給総額(円)	90,320	90,320	0	0

■難聴児補聴器購入費補助金

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給件数(件)	1	1	0	0
支給総額(円)	200,000	200,000	0	0

[成 果]

医療的ケアが必要な在宅の重症心身障がい児等を介助する家族の精神的、身体的負担の軽減を図るため、ショートステイ促進事業やデイサービス促進事業を実施する事業者に対し、在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金を交付しました。

また、小児慢性特定疾患児日常生活用具費用の助成金、難聴児補聴器購入費補助金の交付により、利用者の負担軽減を図ることができました。

福祉タクシー等利用料金助成事業

[福祉支援担当]

決算書 P96

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,070,000	6,780,028	0	0	0	0	6,780,028

[主な実施内容]

障がいのある方の日常生活の利便性の向上と経済的負担を軽減し、地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、福祉タクシーを利用した場合の利用料金の一部又は自動車燃料費の一部を助成しました。

■福祉タクシー券・自動車燃料費助成券の利用状況

	タクシー券	自動車燃料費助成券	合計
利用人数(人)	470	609	1,079
交付枚数(枚)	14,552	6,597	21,149
利用枚数(枚)	6,024	5,489	11,513
支給額(円)	2,942,400	2,744,500	5,686,900
手数料(円)	602,400	—	602,400

タクシー券と自動車燃料助成券の併用を選択している場合、両方に利用人数をカウントしています。

[成 果]

障がいのある方1,079人に対して、福祉タクシー券・自動車燃料費助成券を交付し、障がいのある方の外出を容易にするとともに、経済的負担軽減を図ることができました。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

[福祉支援担当]

決算書 P96

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
440,000,000	261,237,397	261,237,397	0	0	0	0

※令和3年度予算のうち、172,100,000円を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々に対し、生活・暮らしの支援を行う取り組みとして、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」の給付を実施しました。

[成 果]

住民税非課税世帯等に対して、一世帯当たり10万円の臨時特別給付金を2,537件給付し、経済的支援を図ることができました。

子 育 て 支 援 課

■本年度の成果

令和3年度におきましては、地域に子育ての輪を広げ、子どもたちの夢と笑顔をはぐくめるよう、次のような事業に取り組みました。

子育て推進担当では、次代の社会を担う子どもたちの健やかな成長に資するために児童手当の支給を行うとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、「こども医療費」、「ひとり親家庭等の医療費」、「未熟児養育医療費」の助成等を実施しました。

また、地域の保育ニーズ等に基づく質の高い教育・保育を確保するため、第2期子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行いました。

新型コロナウイルス感染症にかかる国による緊急経済対策として、「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業」及び「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業」を実施し、「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業」においては、町独自の取組として、国による所得制限の対象者に対しても同様の給付金の給付を行いました。

保育担当では、子育て家庭が必要とする教育・保育サービスの相談、申請窓口として、各々の家庭に寄り添った対応を行うとともに、「幼児教育・保育の無償化」に基づく給付の支給認定等を適切に実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響等により所得が減少した家庭の負担軽減を図るため、所得の増減がより細かく反映できるよう保育料階層区分の細分化（部分引き下げ）を行いました。

学童保育所については、すべての施設において指定管理者制度を導入し、民間事業者や団体のノウハウなどを活かすことで、保育の質の向上、機能の充実を図りました。また、新型コロナウイルス感染症対策として必要な備品購入等の支援を行いました。かえで第二児童クラブにおいては、入所児童の増加に対応するため、須賀小学校の協力を得て新たな保育室を確保しました。

その他、国事業として保育士や学童保育所職員を対象とした処遇改善（賃上げ）事業を実施しました。

こども笑顔担当では、「子育てひろば」及び「子育て支援センター」においては、感染症対策のため利用人数の制限等を行っての開館、イベント等の実施となりましたが、長期の臨時休館があった令和2年度と比べると、利用者数等は大幅に持ち直してきました。

子育て援助事業として、「ファミリーサポートセンター運営事業」及び「緊急サポート運営事業」に加え、保護者が疾病・出産等の理由により子どもの養育が一時的に困難となったときに、町と契約した施設で養育を受けられる「子どものショートステイ事業」を新たに導入し、支援体制の拡充を図りました。

第5次宮代町総合計画前期実行計画事業については、「身近な地域で子育てサロン事業」、「地域のみんなで子どもたちの居場所づくり事業」において、地域ぐるみで子育てを応援し、子どもたちの健やかな成長を見守っていくための体制、仕組みづくりに着手しました。

年々増加する児童虐待への対応については、定期的なお弁当や食材等の提供を通じて子どもや家

庭の状況を把握し必要な支援につなげていくための「子どもの見守り強化事業」を新たに開始するとともに、令和4年4月からの「子ども家庭総合支援拠点」の設置・運営に向けた準備を行いました。

町立保育園では、家庭との緊密な連携・協力体制のもと、コロナ禍における新しい生活様式に対応した安心、安全な保育環境を確保するとともに、一人ひとりの個性や発達過程を踏まえながら、子どもたちの主体性や豊かな感性、表現力を育むことを目標に掲げ、保育を実施しました。

また、みやしろ保育園においては、「障害児デイサービス事業」による子どもの発達状況に応じた療育支援を行うとともに、「病児保育・病後児保育事業」を実施し、看護にあたる保護者の保育需要に対応しました。

■ 令和3年度前期実行計画

身近な地域で子育てサロン事業	48
地域のみんなで子どもたちの居場所づくり事業①	49

■ 本年度の主要事業

学童保育所運営事業	133
ひとり親家庭等の医療費支給事業	134
児童福祉対策事業	134
こども医療費支給事業	135
みんなで子育て！こども未来事業	136
障害児デイサービス事業	138
未熟児養育医療費給付事業	138
私立幼稚園運営支援事業	139
緊急サポート運営事業	139
ファミリーサポートセンター運営事業	140
子育てのための施設等利用給付事業	141
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	142
子どもの見守り強化事業	142
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	143
児童手当支給事業	143
みやしろ保育所運営事業	144
国納保育所運営事業	145
保育所管理事業	145

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
140,846,000	127,981,852	41,328,500	36,889,000	0	23,224,350	26,540,002

[主な実施内容]

小学校に在学する児童のうち、保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者に代わり保育を行いました。

令和2年度からすべての児童クラブにおいて、指定管理者による管理運営を導入しています。

■各学童入所状況

(年間平均・単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
かえで第一児童クラブ	37	△ 5	42	36
かえで第二児童クラブ	53	17	36	35
かしの木児童クラブ	78	△ 6	84	92
いちょうの木児童クラブ	63	△ 2	65	71
いちょうの木児童クラブ分室	14	△ 1	15	11
ふじ児童クラブ	151	13	138	119
合計	396	16	380	364

※ いちょうの木児童クラブ分室については、平成31年4月から東小学校敷地外の民間施設にて実施

※ ふじ児童クラブについては、令和2年4月から新施設に移転

※ かえで第二児童クラブについては、令和3年6月から2クラスでの運営を実施

■指定管理者

	指定管理者	指定期間
かえで第一児童クラブ かえで第二児童クラブ	特定非営利活動法人 宮代町かえで児童クラブ	H31. 4. 1~R6. 3. 31
かしの木児童クラブ いちょうの木児童クラブ いちょうの木児童クラブ分室 ふじ児童クラブ	株式会社 アンフィニ	R2. 4. 1~R7. 3. 31

[成 果]

保護者の就労を支援するために、学童保育所において放課後や学校の長期休暇時に児童の余暇指導等を行いました。さらに、指定管理者による安心・安全、適正な管理運営により、児童の自主性、社会性、創造性を養いながら、健全育成を図ることができました。

ひとり親家庭等の医療費支給事業

[こども笑顔担当]

決算書 P104

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
10,263,000	7,827,930	0	3,356,816	0	0	4,471,114

[主な実施内容]

■ひとり親家庭等の医療費の一部を支給しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
平均対象者数(人)	230	△39	269	269
延べ件数(件)	2,665	△421	3,086	3,198
支給総額(円)	7,685,915	△1,981,642	9,667,557	9,524,779
一件あたりの支給額(円)	2,884	△249	3,133	2,978

[成 果]

ひとり親家庭等に医療費の一部及び臨時特別給付金を支給することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることができました。

児童福祉対策事業

[子育て推進担当・保育担当]

決算書 P104

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
60,773,000	50,574,097	10,852,000	11,596,000	0	0	28,126,097

[主な実施内容]

子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の推進を図り、あわせて事業の実施状況等を検証するため、計画の進行管理を行いました。また、民間保育所等に入所中の児童の健全育成を図るため、各種特別保育事業に対し補助を行いました。

■民間保育所等補助金（特別保育事業） 25,952,800円

延長保育事業や低年齢児保育事業など、児童福祉の向上を図る事業について補助金を交付しました。

■民間保育所等補助金（感染症対策事業・保育士等処遇改善臨時特例事業） 5,563,020円

民間保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止を図る事業の経費の一部又は全部、及び施設に従事する保育士等の処遇改善に係る経費の一部について補助金を交付しました。

■民間保育所等給食費補助金 5,760,000円

児童の発育段階、健康状態及びアレルギー等の体質に配慮した給食を提供する取組みについて補助金を交付しました。

■副食費の補足給付費補助金 2,520,540円

幼稚園利用者の給食費（副食費）の一部について補助を行いました。

■PCR検査キット等の購入

904,200円

保育所及び学童保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、保育従事者用の簡易抗原検査キットを購入し、町内の各施設に配布しました。

[成 果]

子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行い、安心して子育てできる環境整備等を進めることができました。

また、民間保育所等に対して補助を行い、入所児童の受入拡大を図るとともに、延長保育や子育て支援センター、一時預かり事業等の多様な保育を提供することにより、児童の健全育成、仕事と家庭の両立支援を図ることができました。

こども医療費支給事業

[こども笑顔担当]

決算書 P106

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
102,317,000	82,714,863	0	11,849,617	0	0	70,865,246

[主な実施内容]

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費を助成しました。

■入院分

中学校卒業年度末までの入院分に係るこども医療費の一部負担金に対して全額助成しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
平均対象者数(人)	3,776	△53	3,829	3,840
延べ件数(件)	273	0	273	376
支給総額(円)	11,640,242	1,622,461	10,017,781	14,712,540
一件あたりの支給額(円)	42,638	5,943	36,695	39,129

■通院分

中学校卒業年度末までの通院分に係るこども医療費の一部負担金に対して全額助成しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
平均対象者数(人)	3,776	△53	3,829	3,840
延べ件数(件)	40,698	561	40,137	51,355
支給総額(円)	69,428,373	2,998,544	66,429,829	83,392,048
一件あたりの支給額(円)	1,706	51	1,655	1,624

[成 果]

医療費の一部負担金を助成することによって子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることができました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,043,000	8,201,838	2,431,000	1,164,000	0	2,500,000	2,106,838

[主な実施内容]

子育てに関する情報提供や各種相談、乳幼児・児童の健全な育成に必要な親子及び保護者間の交流の場の提供、乳幼児等と他世代や地域との交流を図る事業を実施しました。

昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として利用人数の制限等を実施しましたが、子育て支援センターの利用人数及び各種教室イベント等の参加人数は、持ち直しつつあります。

■子育て支援センターの利用状況

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
子育てひろば	10,030	4,877	5,153	27,196
こども	5,836	2,876	2,960	16,023
保護者	4,194	2,001	2,193	11,173
げんきっ子	2,068	634	1,434	4,745
こども	1,198	389	809	2,755
保護者	870	245	625	1,990

■主な実施事業（子育てひろば）

①幼児、児童に健全な遊びの機会を設け、情緒を豊かにすることや親子間での交流を図ることを目的とした事業

事業名	内 容	参加人数
年齢別教室	1～3歳児を対象とした親子での遊びや友だちづくり	565人
工作親子教室	幼児、児童、親子向けの工作教室等	467人
乳児向け教室	親子での遊びや友だちづくり	148人
幼児向け教室他	親子での遊びや友だちづくり	264人
絵本の日	あおむしの皆さんによる乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせ	75人

②子育て中の親等を対象にしたリフレッシュ事業

事業名	内 容	参加人数
産後ボディケア講座	産後ボディケアによる子育て世代ママのリフレッシュ	15人

③屋外等広い場所で体を動かしてあそぶ事業

イベント名	内 容	参加人数
はじめてのあそび他	ピクニックにいこうよ、フレスコボール体験等	210人

④三世代交流事業

事業名	内 容	参加人数
ミニ門松づくり	宮代町さわやかクラブ連合会の協力によるミニ門松づくり	49人

■主な実施事業（げんきっ子）

①幼児、児童に健全な遊びの機会を設け、情緒を豊かにすることや親子間での交流を図ることを目的とした事業

事業名	内 容	参加延べ人数
げんきっ子の日	簡単な製作等	579人
園庭開放	国納保育園の園庭で遊ぶ	104人
幼児向け教室他	親子スキンシップ講座、はみがき教室等	47人
運動会他	ミニ縁日・ミニ運動会・ハロウィンパーティ・クリスマス会	135人

②子育て中の親等を対象にしたリフレッシュ事業

事業名	内 容	参加人数
親子ヨガ教室	親子ヨガを通じて子育て世代ママのリフレッシュ	9人

■子育て相談の実施

役場内「子育てひろば」にて毎週月・水・木曜日に、また国納保育園内「げんきっ子」にて毎週火・金曜日に、専門の相談員による子育て相談を実施しました。

・相談件数

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
育 児 相 談	93	29	64	92
子育てひろば	18	0	18	26
げんきっ子	75	29	46	66
乳幼児健全育成相談	120	77	43	97
こども家庭相談	28	13	15	53
オンライン子育て相談	0	0	0	—

[成 果]

■乳幼児、児童向け事業

乳幼児、児童に健全な遊びの機会を設けたことにより、子どもの情緒を豊かにし、親子間での交流を図ることができました。

■屋外等広い場所で体を動かしてあそぶ事業

新型コロナウイルス感染症の影響により遊ぶ機会が失われている親子に、屋外等広い場所で体を動かし遊ぶ事業を実施し、親子や家族間の交流を図ることができました。

■三世代交流事業

子どもや高齢者との交流の場として、ミニ門松づくりを開催し、子どもたちの豊かな情操と社

会性、協調性を育むとともに、文化と伝統を継承する機会を作りました。

■子育て相談

子育てについての不安や悩みなどを持っている保護者に対する相談、援助を実施し、子育て中の孤独感や不安感などの解消を図り、負担軽減につなげました。

障害児デイサービス事業

[みやしろ保育園]

決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
367,000	296,558	0	0	0	0	296,558

[主な実施内容]

町内に居住する2歳児から小学校就学の始期に達するまでの児童を対象とし、心身に発達の遅れが見られ、医療機関または保健センターにおいて療育が必要と認められた児童を受入れ、基本的動作の指導、訓練及び給食保健衛生並びに集団生活への適応訓練等の療育を行い、児童の健やかな発育を支援するとともに、家族への支援も実施しました。(令和3年度受入児童 5人)

[成 果]

児童の成長・発達状況や個性に配慮した保育を行うとともに、保護者への助言・相談を実施し、あわせて言語聴覚士による言葉の発達相談を行いました。児童それぞれに合った療育的な取り組みにより、集団生活に必要な友だちとのかかわりや習慣を身につけることへの支援ができました。

未熟児養育医療費給付事業

[子ども笑顔担当]

決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	2年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,416,000	2,413,464	1,129,305	280,000	0	444,390	559,769

[主な実施内容]

身体の発育が未熟な状態で生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に必要な医療費を町が負担しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
対 象 者 数 (人)	14	6	8	11
延 べ 件 数 (件)	24	11	13	22
支 給 総 額 (円)	2,412,572	1,101,612	1,310,960	2,050,394
一件あたりの支給額 (円)	100,524	△319	100,843	93,200

[成 果]

養育のため入院を必要とする未熟児の入院費を助成し、安心して必要な医療を受けられるよう支援することにより、乳児の健康の保持・増進を図ることができました。

私立幼稚園運営支援事業

[保育担当]

決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,285,000	1,700,000	0	0	0	0	1,700,000

[主な実施内容]

■私立幼稚園振興助成金の交付

幼児教育の向上及び障がい児教育の充実を促進するとともに、保護者の負担軽減を図ることを目的として私立幼稚園に振興助成金を交付しました。

(単位 円)

幼稚園名	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
宮代幼稚園	150,000	0	150,000	150,000
宮代須賀幼稚園	150,000	0	150,000	150,000
宝光寺幼稚園	150,000	0	150,000	150,000
姫宮成就院幼稚園	1,250,000	140,000	1,110,000	1,110,000
合計	1,700,000	140,000	1,560,000	1,560,000

[成果]

町内私立幼稚園に対し助成を行うことにより、保護者の負担を増やすことなく、各幼稚園の学習環境等の改善や、幼児教育プログラムの向上及び心身障がい児教育の充実に寄与することができました。

緊急サポート運営事業

[こども安心担当]

決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
528,000	528,000	176,000	176,000	0	0	176,000

[主な実施内容]

地域で安心して子育てができるように、子育てのお手伝いをしてほしい方(利用会員)と、子育てのお手伝いができる方(提供会員)が会員となり、地域で子育てを助け合う有償の援助活動です。

■事業概要

援助内容 子どもの風邪等で保育施設が利用できない時の預かり、保護者の体調不良等で保育が困難な時の預かり、宿泊を伴う子どもの預かりなど

利用時間 24時間(宿泊可) ※申込:利用希望日の当日まで

■緊急サポート会員数

(単位 人)

会員名	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用会員	56	19	37	24
提供会員	12	0	12	12
両方会員	0	0	0	0
合計	68	19	49	36

■緊急サポート活動状況

(単位 人)

活動内容	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
病児	0	0	0	0
預かり	0	△1	1	4
送迎	0	0	0	8
宿泊	0	0	0	0
合計	0	△1	1	12

[成 果]

令和3年度については、利用に関する相談を受けましたが、最終的な活動実績はありませんでした。しかしながら、緊急時に対応可能な支援の仕組みがあることで子育て世帯の安心につなげることができました。

ファミリーサポートセンター運営事業

[こども安心担当]

決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,552,000	4,284,480	1,519,000	1,310,000	0	1,200,000	255,480

[主な実施内容]

地域で安心して子育てができるように、子育てのお手伝いをしてほしい方(利用会員)と、子育てのお手伝いができる方(提供会員)が会員となり、地域で子育てを助け合う有償の援助活動です。

■事業概要

援助内容 保育園、幼稚園、学童保育所、習い事への送迎(その前後の預かり)、親のリフレッシュのための預かり、学校行事への参加時の預かりなど

利用時間 午前6時～午後8時 ※申込：利用希望日の2か月前から2週間前まで

■ファミリー・サポート・センター会員数

(単位 人)

会員名	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用会員	93	16	77	56
提供会員	56	1	55	50
両方会員	3	1	2	0
合計	152	18	134	106

■ファミリー・サポート・センター活動状況

(単位 人)

活 動 内 容		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
保育園	開始前・終了後の送迎	85	19	66	159
幼稚園	開始前・終了後の託児	3	△7	10	19
学 童	開始前・終了後の送迎	248	52	196	470

	開始前・終了後の託児	186	95	91	122
小学校	開始前・終了後の送迎	15	5	10	7
	開始前・終了後の託児	1	△3	4	7
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の預かり		19	19	0	1
保護者等の外出の場合の送迎・預かり		2	2	0	0
保護者等の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の預かり		0	△4	4	1
保護者等の病気、急用等の場合の預かり		0	0	0	0
学習塾や習い事等の送迎		25	0	25	8
保育所施設等入所前の援助		0	0	0	0
保護者等のリフレッシュ・習い事等の場合の送迎・預かり		33	33	0	0
子どもの病気時の預かり		0	0	0	0
その他		85	△125	210	0
合 計		702	86	616	794

[成 果]

保育園や学童保育、習い事への送迎、保護者の就労や外出時の預かり保育等の援助活動が行われ、子育て世帯を支援することができました。

子育てのための施設等利用給付事業

[保育担当]

決算書 P108

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
184,701,000	154,416,025	81,082,226	40,684,436	0	0	32,649,363

[主な実施内容]

幼児教育・保育無償化により、子ども・子育て支援新制度未移行の私立幼稚園等に就園する満3歳児・3歳児・4歳児・5歳児のいる世帯の保護者に対して、特定子ども・子育て支援施設等（幼稚園、預かり保育、認可外保育、一時保育等）の利用に要した費用について施設等利用費を支給しました。

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
幼稚園	138,620,640	△ 9,819,490	148,440,130	73,764,530
預かり保育事業	5,085,540	538,250	4,547,290	2,126,450
認可外保育施設	3,340,000	711,210	2,628,790	84,000
一時預かり事業	304,400	197,850	106,550	25,000
合 計	147,350,580	△8,372,180	155,722,760	75,999,980

※令和元年度は、10月から事業開始のため6か月分。

[成 果]

私立幼稚園等の保護者の負担を軽減することにより、幼児教育が受けやすい環境を整えました。また、預かり保育や認可外保育施設等の利用料を支給することにより、保護者の就労等を支援しました。

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

[こども笑顔担当]

決算書 P110

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
490,649,000	466,134,318	465,300,948	0	0	0	833,370

※令和3年度予算のうち、12,200,000円を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための経済対策として、18歳以下の児童を養育する世帯に対し、対象児童一人あたり10万円の給付金を支給しました。町独自の取組として国による所得制限の対象者（特例給付受給世帯）に対しても同様の給付金を支給しました。

	児童手当受給世帯	児童手当受給世帯 (公務員・16～18歳養育世帯)	合 計
支給対象者数 (人)	1,878	727	2,605
支給対象児童数 (人)	3,354	1,030	4,384
支 給 額 (円)	335,400,000	103,000,000	438,400,000
	特例給付受給世帯	特例給付受給世帯 (公務員・16～18歳養育世帯)	合 計 【繰越明許分含む】
支給対象者数 (人)	137	58 【※繰越明許】	195
支給対象児童数 (人)	258	67 【※繰越明許】	325
支 給 額 (円)	25,800,000	6,700,000 【※繰越明許】	32,500,000

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援することができました。

子どもの見守り強化事業

[こども安心担当]

決算書 P110

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,720,000	3,737,807	3,737,000	0	0	0	807

[主な実施内容]

子どもの養育等に関して悩みや不安があるなど、見守りが必要な世帯を定期的に訪問し、食材やお弁当の提供を通じて子どもや家庭の状況把握を行いました。

■生活支援 (令和3年7月から開始)

- ・3世帯14人に対し、家庭訪問、電話相談、同行支援など延べ83回行いました。

■お弁当配布 (令和3年7月から開始)

- ・12世帯45人に対し、合計35回配布し、延べ1,480食配布しました。

[成 果]

定期的な家庭訪問により、子どもや家庭の状況を把握するとともに、必要な生活支援等を行うことができました。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

[こども笑顔担当]

決算書 P110

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
18,470,000	11,870,934	11,870,934	0	0	0	0

[主な実施内容]

新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための経済対策として、18歳以下の児童を養育する低所得の子育て世帯に対し、対象児童一人あたり5万円の給付金を支給しました。

支給対象者数 (人)	120
支給対象児童数 (人)	219
支 給 額 (円)	10,950,000

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活の支援に寄与することができました。

児童手当支給事業

[こども笑顔担当]

決算書 P110

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
445,838,000	432,568,424	299,692,665	65,221,165	0	0	67,654,594

[主な実施内容]

次代の社会を担う児童の健やかな成長を社会全体で応援する観点から、中学校卒業までの児童を養育している方に児童手当を支給しました。

■支給額 (一人あたり月額)

3歳未満：15,000円、3歳以上小学校修了前：10,000円 (第3子以降は15,000円)

中学生：10,000円 ※所得制限限度額以上の場合は、一律5,000円 (特例給付)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ児童数 (人)	39,955	△883	40,838	41,180
被用者	34,111	△397	34,508	34,272
非被用者	5,844	△486	6,330	6,908
延べ受給者数 (人)	24,369	△928	25,297	25,699
被用者	20,773	△516	21,289	21,344
非被用者	3,596	△412	4,008	4,355
支給総額 (円)	430,135,000	△13,010,000	443,145,000	450,250,000

被 用 者	366,995,000	△6,910,000	373,905,000	373,315,000
非 被 用 者	63,140,000	△6,100,000	69,240,000	76,935,000

※ 6月（2～5月分）、10月（6～9月分）、2月（10～1月分）支給。

[成 果]

児童を養育している方に児童手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与することができました。

みやしろ保育所運営事業

[みやしろ保育園]

決算書 P114

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
56,780,000	49,725,955	11,427,000	2,784,000	12,100,000	12,811,660	10,603,295

[主な実施内容]

保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者の協力のもとに家庭と連携を図り、家庭養育の補完を行いました。

保育園においては、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、健全な心身の発達を図るとともに、保育目標「あかるいこ つよいこ すなおなこ」に基づき、子どもひとりひとりの特性に応じ、発達状況に配慮した保育を実施しました。

また、令和3年度も新型コロナウイルス感染症予防対策を継続し、新しい生活様式に則した保育を実施しました。

■一時預かりの実施

就労形態の多様化に伴う一時的な保育需要、保護者の傷病等による緊急時の保育需要及び保護者の育児に伴う心理的、身体的負担を解消するための保育需要に対応するため、一時預かりを実施しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
みやしろ保育園(人)	1,344	491	853	1,119

■病児保育・病後児保育の実施

病気又はその回復期にある生後6か月から小学校3年生までの子どもを対象とするもので、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中は、感染拡大予防として利用対象を外傷のみに制限して実施しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
みやしろ保育園(人)	33	26	7	74

■空調設備の更新工事等の実施

22,551,100円

安全で快適な保育環境を維持するため、空調設備の更新やデッキの改修工事等を実施しました。

[成 果]

通常保育をはじめ、一時保育、病児保育・病後児保育等、様々な状況にあわせた保育の実施により、子どもの健全な育成や就労している保護者等の負担軽減に寄与することができました。また、新しい生活様式を行いつつ保育内容や体験活動を工夫することにより、保育園児の感受性を豊かに育み、思いやりの気持ちが生まれるような保育を実施することができました。

国納保育所運営事業

[国納保育園]

決算書 P116

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
31,029,000	28,534,108	4,074,000	0	0	7,590,830	16,869,278

[主な実施内容]

保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、保護者の協力のもとに家庭と連携を図り、家庭養育の補完を行いました。

保育園においては、新しい生活様式の実践が求められる中、子ども達が健康、安全で情緒の安定した生活が送れるよう、感染対策を講じた環境を整備し、健全な心身の発達を図るとともに、保育目標「あかるいこ つよいこ すなおなこ」に基づき、一人ひとりの個性を尊重した保育を実施しました。

■ エントランスホール空調設備工事等の実施

3,414,100円

安全で快適な保育環境を維持するため、エントランスホールへの空調設備の設置、保育室内のトイレ床の貼替工事等を実施しました。

[成 果]

様々な催し物や体験の実施に制限のある中、主体的な活動を通して、子ども一人ひとりの想像力、創造力を引き出し、また、ともだちへの思いやりが育まれるような保育を実施することができました。

保育所管理事業

[保育担当]

決算書 P116

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
510,878,000	447,957,494	223,473,734	95,512,319	0	34,904,330	94,067,111

[主な実施内容]

保護者の就労等により保育を必要とする児童について、保護者に代わり保育施設等で保育を行うため、公立保育園の運営管理及び私立保育所への保育の委託を行いました。

■ 管内入所延児童数

(延人数 人)

	公 立		私 立						合 計
	国納	みやしろ	姫宮	百間	本田	カント・ナラー 5丁目園	カント・ナラー 2丁目園	カント・ナラー ピアティ園	

3歳未満児	396	362	324	355	270	214	209	228	2,358
3歳以上児	770	992	516	575	708	0	0	0	3,561
合計	1,166	1,354	840	930	978	214	209	228	5,919

■委託延児童数

(延人数 人)

	公 立		私 立		合 計
	市町村名	人 数	市町村名	人 数	
3歳未満児	久喜市	10	春日部市	59	130
			白岡市	12	
			伊奈町	12	
			さいたま市	8	
			久喜市	18	
			越谷市	1	
			杉戸町	10	
3歳以上児	幸手市	36	春日部市	45	159
	白岡市	12	白岡市	12	
	川口市	11	伊奈町	12	
	春日部市	7	久喜市	12	
	鴻巣市	1	越谷市	1	
			杉戸町	10	
合計		77		212	289

■受託延児童数

(延人数 人)

	公 立		私 立		合 計
	市町村名	人 数	市町村名	人 数	
3歳未満児	杉戸町	10	杉戸町	7	34
			羽生市	6	
			幸手市	5	
			久喜市	6	
3歳以上児	杉戸町	6	久喜市	6	25
			上尾市	12	
			杉戸町	1	
合計		16		43	59

[成 果]

保護者の就労や病気などにより保育を必要とする場合において、児童を保育施設等で保育することにより、家庭等の負担を軽減し、児童の心身の健全な発達を図ることができました。

健康介護課

■ 本年度の成果

健康介護課では、「みやしろ健康福祉プラン」並びに「宮代町健康増進計画及び食育推進計画」に基づき、町民の皆様が住み慣れた宮代町で健康で自立した生活を送ることができるよう、そして安心して老後が迎えられるよう、各種事業に取り組みました。

柱のひとつ、「高齢者支援」では、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、様々な立場の方々に応じた環境づくりを行いました。

まず、地域の中で、人と人がつながりながら互いを思いやる社会を築くために、「地域交流サロン」や自治会単位での「地域敬老会」、「さわやかクラブ」などの地域活動への支援、そして災害時に自力での避難が困難な方が無事に避難できるよう、地域の自主防災組織への名簿提供など、地域コミュニティの醸成を図りながら、高齢者の方を介して互いに支え合う地域づくりに努めました。

また、加齢による体力の衰えを防ぎ、自立した生活を送っていただけるよう、それぞれのニーズに応じた介護予防の講座・教室を充実してご用意しました。

その上で、介護が必要となった方やそのご家族の方のご負担を軽減できるよう、介護保険制度を適切に運営いたしました。

いまひとつの柱は、「町民の皆様の健康の維持・増進」です。

感染症や疾病の予防対策として、乳幼児の定期予防接種をはじめとした定期の予防接種を着実に実施したほか、令和3年度は、世界中に感染が広がった新型コロナウイルス感染症対策の要となるワクチン接種に取り組み、円滑かつ早くに町民の皆様にご接種いただくことができました。併せて、疾病の早期発見・早期治療につながるよう各種がん検診等を実施、受診勧奨にも努めました。

母子保健では、妊娠から出産、そして育児までの子育てを総合的に支えるために設置した「子育て世代包括支援センター」を拠点として、母子健康手帳の交付から妊婦への面接、出産後の赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査、健康相談など、継続した育児支援を行いました。とりわけ、産後ケア事業として、令和3年度から宿泊型事業を開始しました。

これらの取組を掲げた、町の健康増進計画では、「健康は宝 ずっと健康 ずっと笑顔のまち ～ほどよく、コツコツ健康づくり～」を基本理念としています。この理念に基づき、町民の皆様が普段の生活から健康を意識され、ご自身で健康づくりに取り組めるよう、「みやしろ健康マイレージ事業」を始めとした啓発にも努めています。

引き続き、すべての町民の皆様お一人お一人に寄り添った、きめ細やかなサービスが提供できるよう、取り組んでまいります。

■ 令和3年度前期実行計画

おかえりなさい地域デビュー事業	-----	52
若い世代の健康づくり促進事業	-----	55
高齢者困りごとサポート隊事業	-----	63

■ 本年度の主要事業

高齢者健康づくり支援事業	-----	149
地域敬老会支援事業	-----	149
みやしろ健康福祉プラン策定事業	-----	150
低所得者利用者負担対策事業	-----	150
避難行動要支援者支援事業	-----	151
高齢者施設等感染症対策事業	-----	152
保健衛生総務事業	-----	152
保健予防事業	-----	153
母子保健事業	-----	156
健康診査事業	-----	160
健康教育事業	-----	161
健康相談事業	-----	162
不妊治療費助成事業	-----	162
新型コロナウイルスワクチン接種事業	-----	163
福祉医療センター運営事業	-----	164

高齢者健康づくり支援事業

[高齢者支援担当]

決算書 P-

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
147,000	0	0	0	0	0	0

[主な実施内容]

■町民グラウンドゴルフ大会及び町民親睦輪投げ大会の開催

中止

- ・町民グラウンドゴルフ大会 (中止)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
参加者数 (人)	—	0	—	163
総事業費 (円)	—	0	—	71,890

- ・町民親睦輪投げ大会 (中止)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
参加者数 (人)	—	0	—	152
総事業費 (円)	—	0	—	64,110

[成 果]

例年、町民グラウンドゴルフ大会及び町民親睦輪投げ大会等により、高齢者向けのスポーツ振興と参加者の健康増進と親睦を図っていますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止ため、中止しました。

地域敬老会支援事業

[高齢者支援担当]

決算書 P98

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,886,000	5,227,658	0	0	0	0	5,227,658

[主な実施内容]

■敬老祝品 (商品券) の贈呈

敬老の日を記念して高齢者の長寿を祝い、年度内に節目の年齢を迎える方に宮代町ご当地商品券「ありがとう」を贈呈しました。100歳の方については国からの祝い品とともに町長が訪問して手渡ししました。

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
77歳 (5千円分)	513	△32	545	546
88歳 (1万円分)	158	△16	174	163
99歳 (1万円分)	13	3	10	13
100歳 (5万円分)	8	3	5	6
101歳以上 (1万円分)	9	△1	10	9

[成 果]

対象者への敬老祝品（商品券）を贈呈し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福し、高齢者福祉の増進を図りました。

みやしろ健康福祉プラン策定事業

〔高齢者支援担当・介護保険担当〕

決算書 P100

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
490,000	115,900	0	0	0	0	115,900

[主な実施内容]

■みやしろ健康福祉事業運営委員会高齢者福祉部会の運営 115,900円

みやしろ健康福祉事業運営委員会高齢者福祉部会を開催し、「みやしろ健康福祉プランー高齢者編」の第7期及び第8期介護保険事業計画の進行管理を行いました。

会議の名称	回数	開催月
みやしろ健康福祉事業運営委員会高齢者福祉部会	2回	7, 12月

[成 果]

高齢者福祉部会を開催し、第7期計画の令和2年度最終評価及び第8期計画の令和3年度目標設定・中間評価において、委員から様々なご意見をうかがいながら検証を行いました。

低所得者利用者負担対策事業

〔介護保険担当〕

決算書 P100

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,192,000	4,823,420	0	0	0	0	4,823,420

[主な実施内容]

■介護サービス利用者負担の助成

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給者数(人)	273	△40	313	297
支給総額(円)	4,823,420	△781,580	5,605,000	5,176,250
支給者一人あたりの支給額(円)	17,668	△239	17,907	17,428

[成 果]

低所得の介護サービス利用者の負担軽減を図りました。

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
194,000	90,534	0	0	0	0	90,534

[主な実施内容]

■ 自主防災組織に対し避難行動要支援者対策への取組の推進

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、自主防災組織連絡協議会が書面開催となったため、自主防災組織の代表者に避難行動要支援者支援制度を説明する資料を送付しました。

(単位 人)

		3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
対象者数		928	△171	1,099	1,099
情報提供同意者数		656	△22	678	644
同意者内訳	要介護度3以上の認定を受けている方	202	△13	215	192
	身体障害者手帳の交付を受けている方	239	△8	247	241
	精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方	10	1	9	6
	療育手帳(A)又はAの交付を受けている方	65	△1	66	61
	その他	265	△20	285	289

※身体障害者手帳：視覚障害1級・2級、聴覚障害2級、上肢機能障害1級・2級、下肢機能障害1級・2級、体幹機能障害1級～3級の身体障害者手帳の交付を受けている方

※同意者内訳：1人で複数該当する場合があります、情報提供同意者数と一致しない

■ あんしんカード設置事業

高齢者や障がい者等が、自宅や外出先において急病又は事故等が発生した場合に、本人の身元情報等を救急隊員や関係機関に伝達する手段の一つとして、あんしんカード及びあんしんカード(携帯用)を利用いただきました。

あんしんカード設置状況

(単位 人、各年3月31日現在)

区 分	3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
あんしんカードのみ	29	4	25	22
あんしんカード(携帯用)のみ	29	2	27	26
あんしんカード及び あんしんカード(携帯用)	749	23	726	730
計	807	29	778	778

[成 果]

避難行動要支援者名簿の更新、自主防災組織への名簿提供に併せ、個別避難支援計画の作成を促進し、援護を必要とする方が安心して暮らせるよう努めました。

あんしんカードは、高齢者や障がい者等が自宅や外出先で設置、携帯することで、緊急事態に備えることができました。

高齢者施設等感染症対策事業

[介護保険担当] 決算書 P100

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,395,000	1,119,900	1,119,900	0	0	0	0

[主な実施内容]

■PCR検査の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、重症化リスクの高い高齢者と接する介護事業所等の従事者を対象に、PCR検査を実施しました。

実施件数 297件

[成 果]

介護事業所従業員のPCR検査受検を促進し、新型コロナウイルス感染症の感染抑止に努めました。

保健衛生総務事業

[健康増進室] 決算書 P120

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,499,000	13,398,029	1,375,000	32,000	0	30,707	11,960,322

[主な実施内容]

■保健センター改修等

保健センター内の改修工事等を行いました。

件 名	金 額
館内電話機等入替	1,375,000円
電灯幹漏電工事	1,018,600円

■献血推進事業

町内の各会場において、埼玉県赤十字血液センターとともに献血を実施しました。

(単位 人)

会 場	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
宮代町役場(春)	35	3	32	34
日本工業大学(春)	132	132	—	76
宮代町役場(秋) ※NPO法人宮代クラブと共催	65	3	62	57
日本工業大学(秋)	129	129	—	60
県立宮代高校	23	1	22	20
宮代町役場(冬)	28	△3	31	27
合 計	412	265	147	274

[成 果]

より多くの方に献血していただけるよう、町内のNPO法人や赤十字奉仕団、宮代高校の教職員・生徒の皆さんと連携して取り組みました。献血された血液は、輸血を必要とする医療機関へ供給されました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により日本工業大学での献血は中止されましたが、令和3年度は全会場で実施することができました。

保健予防事業

[健康増進室] 決算書 P122

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
103,588,000	95,694,139	4,549,000	0	0	0	91,145,139

※令和2年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■結核予防事業(65歳以上の胸部レントゲン撮影の人数) (単位 人)

区 分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
検診受診数	1,255	△274	1,529	1,794

■定期予防接種

1) 乳幼児の接種者数、接種状況

①接種者数

(単位 人)

区 分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
B C G	198	△28	226	227
四種混合	877	△27	904	915
ポリオ (不活化ワクチン)	0	0	0	0
日本脳炎	788	△408	1,196	1,271
麻疹風疹	460	△37	497	476
ヒブ	851	△67	918	883
小児肺炎球菌	850	△55	905	905
水痘	428	△52	480	427
B型肝炎	625	△29	654	676
子宮頸がん予防	79	74	5	0
ロタリックス	311	197	114	
ロタテック	190	128	62	

※令和2年10月から、ロタウイルスワクチンが定期接種開始。

※子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日以降、積極的な勧奨の差し控えが続いていたが、ワクチンの接種による有効性が副反応リスクを明らかに上回ることが認められたため、令和3年11月に積極的勧奨を再開。

※日本脳炎ワクチンの製造の一時停止があり、接種体制の確保が難しかったため日本脳炎第2期の個別通知は未実施。

②乳幼児健診における予防接種状況

(単位 人)

健康診査	来所者数	予 防 接 種 の 種 類	接 種 者 数	接 種 完 了 率
10か月児 健康診査	213	B C G	210	98.6%
		四種混合(初回)	209	98.1%
		ヒブ(初回)	209	98.1%
		肺炎球菌(初回)	209	98.1%
1歳6か月児 健康診査	225	B C G	223	99.1%
		麻しん・風しん(1期)	221	98.2%
3歳児 健康診査	208	四種混合(追加)	198	95.2%
		麻しん・風しん(1期)	205	98.6%

2) 児童の接種者数

(単位 人)

区 分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
二種混合	206	17	189	213

■高齢者インフルエンザ予防接種

(単位 人)

区 分	3年度 A			増減 A-B (実施者数)	2年度 B			元年度		
	対象者数	実施者数	接種率		対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率
65歳以上	11,034	6,296	57.1%	△1,192	10,763	7,488	69.6%	11,235	5,558	49.5%

※対象者数：10月1日現在、65歳以上人口

■成人用肺炎球菌予防接種

(単位 人)

区 分	3年度 A			増減 A-B (実施者数)	2年度 B			元年度		
	対象者数	実施者数	接種率		対象者数	実施者数	接種率	対象者数	実施者数	接種率
65・70・ 75・80・ 85・90・ 95・100歳	1,450	383	26.4%	28	1,471	355	24.1%	1,440	320	22.2%

※対象年齢は生年月日の指定があります。

■大人の風しん予防接種費用の一部助成

区分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
申請者数(人)	2	△7	9	1
助成者数(人)	2	△7	9	1
助成額合計(円)	6,000	△21,000	27,000	3,000

■風しん追加的対策事業

(単位 人)

対象者	3年度 A			増減 A-B 抗体検査 実施者	2年度 B		
	クーポン 交付者数	抗体検査 実施者	予防接種 実施者		クーポン 交付者数	抗体検査 実施者	予防接種 実施者
昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれ男性（無料クーポン券再発行希望者）	4	22	12	△15	4	37	11
昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれ男性（無料クーポン券送付者）	6	53	10	△137	2,240	190	45

■新型コロナウイルス感染症検査費用の一部助成(令和3年度開始)

区 分	3年度
助成件数(件)	322
助成額合計(円)	551,180

[成 果]

成人用肺炎球菌予防接種は、国指定の対象年齢の方へ個別通知を行いました。小児定期予防接種は、対象者への個別通知や就学児健診時のチラシの配布、さらに、年度末には第2期MRワクチンの未接種者に対し接種勧奨ハガキの送付を行い、適切な時期でのワクチン接種につなげました。

また、風しんの流行を受け、妊娠を希望する方やその配偶者等を対象に、県が実施する風しん抗体検査を受け、抗体価が十分でなく予防接種を行った方に対し、申請に基づき予防接種費用の一部を助成したほか、令和3年度から新型コロナウイルス感染症のまん延防止と治療を目的にPCR検査や抗原検査を受けた方への費用を助成し負担軽減を図りました。

母子保健事業

〔健康増進室〕

決算書 P124

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
29,089,000	26,677,584	308,000	0	0	0	26,369,584

〔主な実施内容〕

■子育て世代包括支援センター

(単位 人)

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
来所人数		322	△42	364	383
内訳	母子健康手帳の交付	196	△19	215	244
	妊婦健診助成券差し替え	26	12	14	22
	予 防 接 種	81	△11	92	106
	不 妊 治 療 関 係	15	△6	21	24
	そ の 他	19	△3	22	15

■産後ケア事業

訪問型

(単位 人)

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用者	実人数	7	2	5	4
	延人数	11	1	10	12

宿泊型(令和3年度開始) (単位 人)

	3年度
利用者(実人数)	2

■母子健康手帳交付

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
19歳以下	1	0	1	0
20歳～29歳	84	4	80	109
30歳～39歳	98	△24	122	124
40歳～45歳	13	1	12	11
合 計	196	△19	215	244

■妊婦健康診査

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
一人当たり助成額(受診券回数)(円)	102,190(14)	580	101,610(14)	101,610(14)
助 成 額 合 計(円)	19,280,480	△434,100	19,714,580	21,501,830
受 診 延 人 数(人)	2,593	△73	2,666	2,877

■新生児聴覚スクリーニング検査(令和3年度開始)

	3年度
助成額合計(円)	923,700
検査人数(人)	194

[成 果]

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をするために、子育て世代包括支援センターで担当者が面接をして様々な悩みや相談に対応しながら、母子健康手帳を交付しました。妊娠中から個別相談や育児支援の情報提供を行い、妊娠や出産の不安を軽減し、出産後の育児支援につなげました。

■ママ・パパ教室(母親学級 両親学級)

(延人数(実人数)、単位 人)

参加者	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
妊婦	48 (27)	15 (8)	33 (19)	103 (48)
夫等	0 (0)	△1 (△1)	1 (1)	42 (33)
合計	48 (27)	14 (7)	34 (20)	145 (81)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため妊婦のみのコースとして実施。

■はじめての孫育て教室

(単位 人)

	3年度
参加者	4

[成 果]

妊婦に対し、妊娠や出産についての正しい知識と情報を伝えました。また、実習を実施することにより参加者同士の交流と感情の共有ができ、妊娠・出産等に対する不安の軽減と育児の孤立化を予防しました。また、はじめての孫育て教室を新規に実施し、育児知識を提供することで子育て世代への支援強化を図りました。

■すくすく広場(ママ・パパ教室同窓会)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
開催回数(回)	0	0	0	8
参加延べ組数(組)	0	0	0	57

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度から開催を見合わせている。

■乳幼児健康診査(各12回/年 実施)

(単位 人)

健康診査	3年度 A			増減 A-B (受診児)	2年度 B			元年度		
	該当児	受診児	受診率		該当児	受診児	受診率	該当児	受診児	受診率
4 か 月 児	215	214	99.5	△3	219	217	99.0	233	233	100
10 か 月 児	213	213	100.0	△10	226	223	98.6	224	224	100
1 歳 6 か 月 児	229	225	98.2	△13	241	238	98.7	229	225	98.3
3 歳 児	210	208	99.0	△43	254	251	98.8	271	270	99.6
合 計	867	860	99.1	△69	940	929	98.8	957	952	99.5

[成 果]

受診者全員に個別指導を行い、コロナ禍における育児の悩みや困りごと等、個々に応じた助言や指導等で不安の軽減や育児の孤立防止に努めました。未来所者には地区担当保健師が訪問し、子育ての状況を把握しました。

■2歳の親子教室(月1回実施)※子の実人数

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
参加者	57	22	35	115

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年9月より、毎月予約制で実施。

[成 果]

2歳3か月児を対象に、歯科衛生士、保健師による親子教室を実施しました。歯の健康の話や、歯の染め出し、ブラッシング指導に加え全員に個別相談を行い、発育・発達や子育ての悩みや相談に対応しました。

■母と子の幼児学級(かるがもクラブ)

(単位 組)

3年度 A			増減 A-B (延組数)	2年度 B		元年度	
実施回数	実組数	延組数		実組数	延組数	実組数	延組数
年12回	15	72	14	10	58	18	118

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月～令和2年8月まで中止し、9月から再開。

[成 果]

1歳6か月児健診、3歳児健診等でことばや発達に遅れのみられる幼児に対し、言語聴覚士、臨床心理士、保健師による集団遊びと個別面接を行い、それぞれの職種の視点から適切な支援により、育児不安の軽減と適切な療育につなげました。

■ことばの相談・心理相談

(単位 組)

		3年度 A		増減 A-B (延組数)	2年度 B		元年度	
		実施回数	実組数		延組数	実組数	延組数	実組数
ことばの相談	59回	87	219	48	77	171	87	267
心理相談	41回	70	96	1	56	95	64	98

[成 果]

言語聴覚士のことばの相談、臨床心理士による心理相談により、専門的な相談や助言が親の不安を和らげ、家族が子どもと適切な関わりができるようになり、子どもの健やかな成長を促しました。

■健康相談・栄養相談

(単位 人)

		3年度 A			増減 A-B (延人数)	2年度 B			元年度		
		回数	実人数	延人数		回数	実人数	延人数	回数	実人数	延人数
定	健康相談	42回	256	724	264	31回	184	460	42回	287	800
例	栄養相談	42回	32	37	△1	31回	33	38	42回	22	28

■離乳食教室

(単位 人)

3年度 A		増減 A-B (延人数)	2年度 B		元年度	
実人数	延人数		実人数	延人数	実人数	延人数
44	46	24	21	22	57	73

■訪問支援

(単位 人)

種 別	3年度 A		増減 A-B (延人数)	2年度 B		元年度	
	実人数	延人数		実人数	延人数	実人数	延人数
新生児	19	19	11	7	8	7	8
乳児	198	215	2	193	213	230	245
幼児	19	21	7	14	14	15	20
小学生	0	0	△1	1	1	0	0
妊産婦	216	225	4	198	221	232	241
合計	452	480	23	413	457	484	514

(再掲) 赤ちゃん訪問 (生後4か月までの全戸訪問事業)

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
訪問 (実人数)	217	22	195	236
面接	3	2	1	2

[成 果]

健康・栄養相談、離乳食教室、訪問支援、面接等を行い、適切な育児情報の提供と育児不安の軽減を図りました。また、毎月ケース対応会議を開き、個々の支援を見直しながら適切な支援に努めました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
31,589,000	25,642,839	2,218,000	564,000	0	578,800	22,282,039

〔主な実施内容〕

(単位 人)

検診	実施方法		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度		
健康診査	集団	受診者	7	3	4	10		
		要経過観察者	3	2	1	2		
		要医療者	0	0	0	0		
胃がん検診	集団	受診者	1,151	83	1,068	1,279		
		要精検者	93	20	73	49		
肺がん検診	集団	胸部レントゲン	1,652	123	1,529	1,794		
		喀痰検査	54	△1	55	51		
		要精検者	19	△37	56	65		
子宮頸がん	集団	受診者	469	871	70	408	491	924
	個別		402			393	433	
		要精検者	3	△5	8	10		
乳がん検診	集団	受診者	521	744	106	435	554	803
	個別		223			203	249	
		要精検者	47	21	26	48		
大腸がん検診	個別	受診者	2,639	△189	2,828	3,146		
		要精検者	150	△3	153	185		
骨粗しょう症検診	集団	受診者	220	16	204	271		
		要精検者	78	10	68	115		
肝炎ウイルス検診	集団	受診者	28	10	18	44		
		要精検者	0	0	0	0		

〔成 果〕

各種検診を実施することで、がんや疾病の早期発見につなげました。

健康教育事業

[健康増進室]

決算書 P126

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,860,000	4,358,407	0	469,000	0	150,000	3,739,407

[主な実施内容]

■健康教室等

(延人数、単位 人)

区 分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
骨粗しょう症検診集団栄養指導	223	87	136	241
貯骨とエクサ!	113	46	67	143
貯骨とクッキング!	13	6	7	19
知っ得!けんこう講習	52	27	25	73
健康長寿サポーター養成講習	21	0	21	36
食生活改善普及事業	12	12		27
ウォーキングイベント	53	2	51	71
40歳の健活講座	7	1	6	57
ゲートキーパー養成講習	58	27	31	141
スッキリ運動教室	25	25		
そ の 他	50	22	28	57
合 計	627	255	372	865

■みやしろ健康マイレージ事業

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
健康マイレージ登録者	3,516	692	2,824	2,385
健脚チャレンジ参加延人数	82	50	32	108

[成 果]

食生活、運動、歯科、こころの健康づくりをテーマとした各種健康教室について、感染防止策を講じて開催し、町民の疾病予防及び健康増進の普及啓発に努めました。また、ウォーキングによる健康づくりをすすめる「みやしろ健康マイレージ事業」では、事業参加者に向けたプログラム「健脚チャレンジ」を実施し、運動と食生活の改善から日々のウォーキング効果の向上に努めました。

健康相談事業

[健康増進室]

決算書 P128

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
26,000	24,992	0	0	0	0	24,992

[主な実施内容]

(延人数、単位 人)

区 分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度	
精神保健 相 談	訪問・面接相談	19	14	5	7
	電話・メール相談	81	△30	111	71
その他の健康相談(面接・電話)	5	2	3	15	
定例栄養相談	16	△9	25	15	
合 計	121	△23	144	108	

[成 果]

町民の個々の健康相談を実施することで、それぞれの健康問題の解決を図りました。

不妊治療費助成事業

[健康増進室]

決算書 P128

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,580,000	1,580,000	0	580,000	0	0	1,000,000

[主な実施内容]

■不妊治療費助成事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
助成者数(人)	24	9	15	12
助成額合計(円)	1,200,000	481,510	718,490	600,000
妊娠数(人)	9	2	7	3

※埼玉県不妊治療費助成事業の支給決定を受けた夫婦1組につき1年間5万円を限度に通算で5年間支給

■早期不妊検査費助成事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
申請者数(人)	13	1	12	8
助成者数(人)	13	1	12	8
助成額合計(円)	260,000	20,000	240,000	155,000

■不育症検査費助成事業

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
申請者数(人)	3	2	1	1
助成者数(人)	3	2	1	1
助成額合計(円)	60,000	45,000	15,000	20,000

[成 果]

埼玉県補助金に上乗せして治療費を助成し、経済的負担の軽減を図りました。その結果、9人の方の妊娠を確認しました。また、男性不妊治療費の助成が1件ありました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

[健康増進室] 決算書 P128

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
685,929,616	351,354,029	351,354,029	0	0	0	0

※令和2年度からの繰越分を含みます。

※令和3年度予算のうち、131,571,959円を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■新型コロナウイルスワクチンの接種推進

令和3年5月からワクチン接種(1,2回目)を進め、令和4年2月以降、3回目の追加接種を行いました。

■ワクチン接種の状況(12歳以上、令和4年3月31日時点)

(単位 人)

	1回目 (対象 31,644人)	2回目 (対象 31,644人)	3回目 (対象 30,155人)
町の集団接種	20,824	20,758	14,883
個別接種など	6,908	6,788	3,085
合計 (接種率※速報値)	27,732 (87.6%)	27,546 (87.0%)	17,968 (59.6%)

※5歳～11歳の小児ワクチンは322人が1回以上接種

[成 果]

対象拡大などの国の方針に適切に対応し、町民に向けた感染症対策を円滑にすすめました。令和4年度は引き続き3回目の追加接種とともに、新たに決まった4回目の追加接種を進めていきます。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
27,926,000	27,701,213	0	0	0	3,700,000	24,001,213

[主な実施内容]

- 1) 指定管理者：公益社団法人 地域医療振興協会
- 2) 利用状況

■診療所

(単位 人)

種 別 / 年 度		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
外 来	初 診	2,817	△261	3,078	8,026
	再 診	16,741	656	16,085	16,164
	そ の 他	11,678	△1,425	13,103	12,999
	合 計	31,236	△1,030	32,266	37,189
	総合診療科	15,618	27	15,591	17,316
	整形外科	376	1	375	523
	小児科	3,564	367	3,197	6,351
	予防接種	9,525	△1,217	10,742	10,473
	健 診	2,121	△202	2,323	2,488
	ド ッ ク	32	△6	38	38
別 掲	新 患	820	1	819	991
	時 間 外	5	1	4	206
	救 急 車	1	0	1	0
入 院	入 院	85	2	83	66
	退 院	83	△1	84	66
	延べ入院者数	2,229	44	2,185	2,245
医 療	訪問リハビリ	170	25	145	71
	往 診	0	0	0	0
	訪 問 診 療	11	△8	19	10
	訪 問 看 護	0	0	0	0

■介護老人保健施設

①入所サービス

(単位 人)

種 別 / 年 度		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
施 設	入 所	32	△11	43	132
	退 所	35	△4	39	131
	延べ入所者数	24,530	△1,097	25,627	26,075

②通所リハビリテーション（デイケア）・訪問リハビリテーション（単位 人）

種別 / 年度	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
通所リハビリテーション	9,953	△115	10,068	10,484
通所利用者数	5,936	△437	6,373	6,735
短期通所利用者数	4,017	322	3,695	3,749
訪問リハビリテーション	1,476	△184	1,660	1,475

③短期入所療養介護（ショートステイ）（単位 人）

種別 / 年度	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用者数	0	△2	2	249

④居宅介護支援事業（ケアプラン作成）（単位 人）

種別 / 年度	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用者数	998	32	966	891

3) 公設宮代福祉医療センター運営健全化交付金

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
金額(円)	11,229,000	121,000	11,108,000	11,389,000

※地方交付税法に基づき、普通交付税の基準財政需要額に算入される診療所の数及び病床数により算出される額

4) 運営懇話会・管理運営協議会の開催

会議	期日	参加人数	内容
第1回運営懇話会	令和3年6月（書面）	18人	利用状況・経営状況（2年度、元年度比較）改善点
第2回運営懇話会	令和3年11月1日	15人	利用状況・経営状況（3年度上半期）、改善点、意見・要望
第1回管理運営協議会	令和3年11月30日	14人	利用状況・経営状況（3年度上半期）、改善点、意見・要望

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、地域の福祉や介護、通常医療を支え、町民の皆さまの健康増進に寄与しました。

産 業 観 光 課

■ 本年度の成果

農地調整担当及び農業振興担当では、農業従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加等の農業に関する課題に対応し、農地の有効利用及び担い手の育成・確保を図るため、次に掲げる対策を行いました。

第一に、農地の利用を促進し遊休農地の解消を図るため、農業委員及び農地利用最適化推進委員、宮代町地域農業再生協議会等と連携し、農地の利用状況調査の実施や規模拡大のための農地の斡旋、耕作放棄地の是正指導等を行いました。

また、宮東・中島地区においては、埼玉型ほ場整備事業の実現に向けて、地元農家の代表者による準備委員会と調整し、圃場整備構想図（案）と農地集積計画（案）を作成しました。さらに、事業主体となる埼玉県に対して農業基盤整備調査の採択申請をしました。

第二に、担い手対策として、「農業担い手塾」において、町内農業者や関係機関の協力のもと新たな就農希望者の受入れを行いました。また、町内へ農業参入した民間企業によって、野菜苗等の育苗生産施設の整備が行われ、野菜苗の生産が開始されました。さらに、町内稲作農家の後継者の栽培技術向上を図るため、「稲作講座」を実施しました。

第三に、農業の6次産業化の推進として、宮代産農産物等を積極的に取り扱う飲食店や食品加工所等をPRし、農商連携を拡大する「宮代町地産地消推進の店」制度において、新たに1店舗を認定し、地産地消の取組みを町内外に広く発信しました。

第四に、新しい村管理運営事業では、令和2年4月1日からの指定管理者制度による株式会社新しい村との指定管理の2年度目として、直売所の運営や水稻苗の育苗、野菜等の収穫体験などの各種農体験プログラム等を実施しました。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、農の家及び村の集会所の網戸取付工事を実施し、施設の換気対策に努めました。さらに、森の市場結の定休日にトイレを開放するため、防犯対策の工事を行いました。

商工観光担当では、地域産業の活性化のため次の事業を展開しました。

第一に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者への支援として、新型コロナウイルス感染症対策個別相談会や商工業者アンケート実施のほか、対面接客の全業種へ対象を拡大した新型コロナウイルス感染症予防対策事業費補助金の交付、事業者・お店支援金の支給、P a y P a y キャンペーンの実施など、様々な支援を実施しました。

第二に、創業支援として、自分の得意なことや経験を活かして月 3 万円の純利益を目標とするスモールビジネス講座「わたしたちの月 3 万円ビジネス講座」を開催しました。また、起業創業支援ウェブサイト「宮代で働こっ」で、働く人の特集、創業に関する講座やセミナー、補助金などの情報を発信するとともに創業に係る費用についても補助しました。

第三に、町内商工業の振興を図るために、店舗・住宅リフォーム事業補助金、商工業活性化事業補助金を交付したほか、商工業者による特産品づくりを支援するため「メイドインみやしろ」推奨品の認定を行いました。

第四に、観光事業として、稲刈り体験やブルーベリーの摘み取り体験などの新しい村グリーンツーリズム事業の実施や観光情報紙「宮代 i l i n e（いーね）」の発行などを行いました。

■ 令和3年度前期実行計画

新しい村魅力アップ事業	-----	28
集落で支えあう営農事業	-----	29
宮代農業人材育成事業	-----	31
小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	-----	47

■ 令和3年度の主要事業

水田農業構造改革対策事業	-----	169
農業経営基盤強化対策事業	-----	170
新しい村管理運営事業	-----	171
商工業振興事業	-----	172
宮代ブランド創造事業	-----	173
消費者対策事業	-----	174

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,921,000	12,163,730	9,736,000	490,000	0	0	1,937,730

【主な実施内容】**■新生児誕生お祝い宮代産米贈呈事業の実施**

宮代産米の消費拡大・地産地消の推進や子育て世帯への応援のため、新たにお子さんが誕生した世帯に対し、新生児1人につき「宮代産特別栽培米コシヒカリ」を20kg贈呈しました。

贈呈決定件数	213件
お米引換券交付枚数(引換券5kg×4枚)	852枚
引き換えられた米の数量(1袋5kg)	751袋

■次期主食用米作付応援事業の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大やまん延防止のための措置による影響で、主食用米の消費が大きく落ち込み、令和3年産米の価格(買取価格)が大きく下落していることから、主食用米の生産を行う生産者に対し、種苗費用の一部を助成しました。

交付件数	303件
交付額	9,736,600円

【成 果】

宮代産米のおいしさを知っていただくことにより、宮代産米の消費拡大に寄与しました。生産者の営農負担の軽減により生産意欲を喚起し、次年産の経営継続につなげました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,473,000	1,404,570	0	0	0	210,000	1,194,570

[主な実施内容]

■ 利用権設定による農地の集積

利用権設定件数	新規	57件	更新	66件
利用権設定面積	新規	115,049.71㎡	更新	109,681.82㎡

■ 農地流動化奨励補助金制度による支援の実施

● 農地集積に対する補助金

・農地の有効活用を図り、利用権設定による農地の利用集積により経営規模の拡大を図った農家に対し補助金を交付しました。

新規交付決定件数	5件
交付対象面積	23,465㎡
交付決定額(基本助成のみ)	592,000円

■ 耕作放棄地再生利用対策

耕作放棄地の再生を促進し、再生した農地を担い手農業者への集積につなげるため、宮代町地域農業再生協議会が実施する再生事業に対する支援を行いました。

令和3年度実績(再生作業の実施面積合計)	4,439㎡		
・字山崎地内	686㎡	・字西原地内	585㎡
・大字和戸字芝原地内	3,168㎡		

■ 農業近代化資金利子補助制度による支援の実施

農業機械及び栽培施設設備等の導入にあたり、融資機関から農業近代化資金の融資を受けた農家に対し利子補助金を交付しました。

・利子補助金の額	29,437円
・補助対象件数	10件

[成 果]

担い手農業者による農地の利用集積が拡大されるとともに、耕作放棄地を再生して担い手農家による営農再開につなげました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
39,516,000	39,360,924	867,000	0	0	16,075,800	22,418,124

[主な実施内容]

■新しい村指定管理料	32,149,700円
■網戸取付工事	322,520円
■森の市場結トイレ改修工事	576,730円
■新型コロナウイルス感染症対策用備品	545,600円

[成 果]

指定管理業務として、各施設の管理及び各種事業の展開を図りました。

■地産地消モデル事業

- ・地場農産物の確保と販売強化に努めました。販売農産物（野菜、果物）の地場産割合 54.00%。
- ・年間営業日数：316日、年間来客者数（レジ通過者数）：185,221人
- ・高齢化や労働力不足により出荷困難となった生産者への集荷及び買い物が困難な方への配達事業を実施しました。

■農家支援・農業サービス事業

- ・水稻苗の生産販売 自社利用分を含めて 32,496枚の苗を生産販売しました。
- ・コシヒカリ（特別栽培米含む）、彩のきずな、満月もち、飼料用米の4銘柄を栽培し、合計 3,014袋（約 90,420kg）の収穫となりました。

■農体験・農園交流事業

- ・ほっつけ等での稲刈り体験を合計 18回実施しました（参加者延べ 831人）。
- ・野菜（じゃがいも・さつまいも）の収穫体験、ブルーベリーやラベンダー等の摘み取り体験を実施しました（参加者延べ 1,266人）
- ・農のあるまちづくり講座（ほっつけ農遊塾、酵素シロップ作り、ハーブの寄せ植え、料理教室等）を合計 25回実施しました（参加者延べ 548人）。
- ・畑で婚カツを1回開催しました（参加者延べ 32人）。

■網戸取付工事

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、農の家及び村の集会所の換気対策のため、網戸取付工事を実施しました。

■森の市場結トイレ改修工事

- ・直売所の定休日に芝生広場や散策などで訪れる方にトイレを開放するため、必要な防犯対策を講じる工事を実施しました。

■新型コロナウイルス感染症対策用備品の購入

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、空気清浄機及びサーマルカメラを購入しました。

商工業振興事業

〔商工観光担当〕

決算書 P148

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
128,464,870	89,031,585	73,530,000	0	0	3,600,000	11,901,585

※令和2年度からの繰越分を含みます。

※令和3年度予算のうち、33,500,000円を第2期事業者・お店支援金の予算として令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■新型コロナウイルス感染症対策事業個別相談会	1,269,400円
■宮代町商工会補助金(商工業振興事業補助金)	11,000,000円
■小規模事業者経営改善資金利子補給金	467,100円
■商店会等街路灯電気料補助金	144,000円
■店舗・住宅リフォーム事業補助金	2,000,000円
■商工業活性化事業補助金	1,258,147円
■新型コロナウイルス感染症予防対策事業費補助金	11,458,332円
■事業者・お店支援金	22,315,014円
■キャッシュレス決済事業負担金	9,524,577円

[成 果]

宮代町商工会と連携して各種事業を展開することにより、地域商工業の活性化、地域の賑わいの創出に寄与しました。また、新型コロナウイルス感染拡大により、収入減となった事業者への事業継続の支援、町内経済活性化のため、各種事業による消費喚起を図りました。

■新型コロナウイルス感染症対策個別相談会

- ・相談件数 193件

■小規模事業者経営改善資金利子補給金

- ・利用件数 18件

■商店会等街路灯電気料補助金

- ・利用件数 2団体

■店舗・住宅リフォーム事業補助金

- ・利用件数 29件

■商工業活性化事業補助金

- ・経営・設備拡張事業 5件
- ・販路拡大促進事業 2件
- ・創業促進事業 3件

■新型コロナウイルス感染症緊急経済対策プレミアム付商品券

- ・参加店舗 156店
- ・商品券販売期間及び使用期間 令和2年12月10日～令和3年4月30日
- ・商品券換金金額 298,664,000円

■新型コロナウイルス感染症予防対策事業費補助金

- ・利用件数 143件

■事業者・お店支援金

- ・利用件数 223件

■キャッシュレス決済導入促進キャンペーン

- ・最大30%のPayPayポイントを付与（参加店舗 133店舗）
- ・利用総額 38,000,000円 付与ポイント 9,524,577円相当

宮代ブランド創造事業

〔商工観光担当〕

決算書 P150

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,415,000	1,238,206	0	0	0	739,570	498,636

【主な実施内容】

■「メイドインみやしろ」推奨品の認定

- ・申請件数：54品目（うち新規申請8品目） ※令和2年度：47品目
- ・認定件数：54品目（うち新規認定8品目） ※令和2年度：47品目

※新規申請・認定品

レッサーパンダスマホケース	nekineki
フルヒテ ブロート	ドイツパンのお店アムフルス
ハナマンテン ブロート	ドイツパンのお店アムフルス
キュービスケルン	ドイツパンのお店アムフルス
ヴァイツェンミッシュ	ドイツパンのお店アムフルス
クルミブロート	ドイツパンのお店アムフルス
ドイツパンロッゲン（有機ライ麦100%）	ドイツパンのお店アムフルス
カツサンド	あき

■「宮代 iLine（いーね）」の発行 858,944円

- ・第20号（3月発行）
特集「みやしろに息づく アートな建築さんぽ」
- ・発行部数：各2万9千部
（うち2万4千部は東武線沿線自治体にポスティング）

■宮代トウブコフェスティバル

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



[成 果]

町内商工業者による特産品づくりを支援するとともに、これらの特産品や町の観光イベントのPR活動を行うことで、地域産業の活性化、交流人口の増加、町の知名度の向上に寄与しました。

また、ふるさと納税を活用し、メイドインみやしろ推奨品を全国的に周知し、販路拡大に努めました。

宮代 iLine (いーね) を発行し、町外の方に町の魅力をPRしました。

消費者対策事業

[商工観光担当] 決算書 P150

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
117,000	82,707	0	0	0	0	82,707

[主な実施内容]

■消費生活相談員による相談窓口の開設

- ・開設日：年間93日（毎週月・水曜日）
- ・相談件数：99件（前年度比9件減）

■多重債務相談窓口の開設

■宮代町消費生活センター啓発用品の配布

- ・町内の中学校の新3年生対象に啓発冊子配布

■消費者被害防止活動

- ・消費者被害防止サポーターへの定期的な情報発信
- ・成年年齢引き下げに対応するため、影響のある対象者（平成14年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方）に注意喚起を促すパンフレットを個別送付

[成 果]

専門の消費生活相談員による相談窓口を週2回開設し、杉戸町との相談窓口相互利用をすることで、週4回の相談体制を実現しています。また、消費者被害防止サポーターによる啓発活動に取り組みました。

まちづくり建設課

■ 本年度の成果

令和3年度は、東武動物公園駅周辺の賑わいの創出と住民の皆様方の暮らしやすさの向上を目指して、まちづくりに関する各種事業を積極的に進めました。

具体的には、東武動物公園駅西口では、県道春日部久喜線と西口駅前広場へのアクセス道路となる都市計画道路中央通り線の交差点改良に支障となる箇所用地買収を行いました。また、東武動物公園駅東口では、関係地権者等の用地交渉及び用地買収を実施しました。

広域道路ネットワークの整備として、(都)春日部久喜線(町道第12号線)の用地買収や歩道等の整備工事等を実施しました。

また、都市計画の分野におきましては、字東地内から春日部市の北春日部駅西口にアクセスする都市計画道路春日部久喜線の延伸の都市計画決定等について、埼玉県及び春日部市との協議を進めました。

まちづくり建設課では、引き続き、国や県の補助金を最大限に活用するとともに、計画的かつ効率的に事業を実施し、賑わいの創出や暮らしやすさの向上に努めてまいります。

■ 令和3年度前期実行計画

東武動物公園駅西口わくわくロード事業	33
岸辺遊歩道整備事業	38
地域のオリジナルパークをつくろう!	39
広域道路ネットワークの整備	42
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	43
和戸駅周辺活性化事業	44
姫宮駅西側周辺活性化事業	45

■ 本年度の主要事業

道路維持管理事業	176
都市計画道路整備事業	177
地区生活道路整備事業	178
主要町道整備事業	179
橋りょう維持管理事業	180
橋りょう整備事業	180
一般住宅耐震対策事業	181
湛水防除対策事業	182
公園等環境管理事業	182

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
91,958,600	91,626,097	4,735,000	0	4,200,000	0	82,691,097

※令和2年度からの事故繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■測量設計委託

- ・道路修繕工事に伴う測量設計業務委託 1,038,400円

■清掃委託

- ・道路清掃等業務委託 1,373,090円

■除草・樹木管理委託

- ・街路樹管理・除草業務委託 6,530,147円

■道路修繕工事実績

工事の種類	工事箇所	件数	金額
道路修繕工事	字金原地内 他	5件	54,907,800円
応急修繕工事	町内	57件	15,071,649円
道路維持管理工事(単価契約)	町内	21件	11,063,151円
合計		83件	81,042,600円

■その他

- ・原材料費等 1,641,860円

[成 果]

道路の舗装修繕の実施や適切な維持管理により、道路機能の低下を抑制し、通学路の安全確保や地域住民の皆様の利便性向上を図りました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
132,664,000	55,455,126	7,000,000	0	6,400,000		42,055,126

※令和3年度予算のうち、51,000,000円を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■分筆登記

- ・(都) 春日部久喜線(町道第12号線) 1件 105,415円

■業務委託

- ・(都) 春日部久喜線(町道第12号線)測量設計・除草等 3,301,763円

■道路改良工事(歩車道、地盤改良等)

- ・(都) 春日部久喜線(町道第12号線) 歩車道・地盤改良 47,649,500円

■道路用地の購入

- ・(都) 春日部久喜線(町道第12号線) 179.0㎡ 2,102,607円

■支障物件移設補償

- ・(都) 春日部久喜線 支障電柱の移設 7本 2,242,974円

■その他

- ・負担金等 52,867円

[成 果]

(都) 春日部久喜線(町道第12号線)に係る用地買収に加え、買収済みの用地については歩道、地盤改良工事等を実施するなど、事業推進を図りました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,689,000	11,314,644	0	0	0	0	11,314,644

※令和2年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■測量調査等業務委託

- ・用地測量業務委託等 558,822円

■道路整備工事

- ・町道第275号線 (字東) 1,152,800円
 - ・町道第375号線 (字山崎) 他 1,342,000円
 - ・町道第1487号線 (東姫宮1丁目) 後払金 6,978,600円
- 計 9,473,400円

■道路用地の購入

- ・町道第1030号線(大字西条原) 他 627,422円

■負担金、補助金及び交付金

- ・建築後退用地補助金4件 655,000円

[成 果]

字東地内 (町道第275号線) 他において道路整備を実施するとともに、昨年度から整備を進めていた東姫宮1丁目地内 (町道第1487号線) の道路整備を完了するなど、地域住民の皆様の利便性向上を図りました。

主要町道整備事業

[道路担当]

決算書 P154

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
19,681,000	18,271,920	0	0	6,000,000	0	12,271,920

※令和2年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■測量設計委託

・町道第26号線（川端4丁目） 634,700円

■主要町道整備工事

・町道第26号線（川端4丁目） 13,705,000円

■道路用地の購入

・町道第26号線（川端4丁目） 65.99m² 3,932,220円

[成 果]

川端4丁目地内（町道第26号線）において歩道整備を進め、地域住民の皆様の利便性向上を図りました。

橋りょう維持管理事業

[道路担当]

決算書 P154

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
47,477,100	47,003,200	20,239,900	0	10,900,000	0	15,863,300

※令和2年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■設計委託

・番先橋 (大字西条原)	107,800円
・天沼橋・北橋 (字中)	5,500,000円
・橋梁点検 38橋	10,120,000円
	計 15,727,800円

■橋梁補修工事

・番先橋 (大字西条原)	24,003,100円
・宮代大橋 (字道仏)	7,272,300円
	計 31,275,400円

[成 果]

宮代町橋梁長寿命化修繕計画に従って、橋梁の修繕を実施し、道路橋の適切な維持管理を図りました。

橋りょう整備事業

[道路担当]

決算書 P156

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
17,100,000	15,351,600		0	8,100,000	0	7,251,600

※令和2年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■設計委託

・町道第1598号線 (字姫宮外)	7,208,300円
-------------------	------------

■負担金

・橋梁架換工事道路管理者負担金	8,143,300円
-----------------	------------

[成 果]

埼玉県が施工する寺の前橋架換工事が滞りなく進むよう、取付町道 (町道第1598号線) の設計業務を実施しました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
789,000	239,000	112,000	0	0	0	127,000

※令和3年度予算のうち、300,000円（建替え工事補助：1件）を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■ 既存建築物耐震診断・耐震改修工事等補助金及び既存ブロック塀等撤去補助金の交付

地元建築士や工務店と連携・協力し、耐震診断・耐震改修工事等の補助制度の利用促進に努めました。また、広報紙を活用してブロック塀等撤去補助制度の周知を図りました。

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
耐震診断補助	件数 (件)	3	3	0	2
	補助金額 (円)	207,000	207,000	0	100,000
耐震改修工事補助	件数 (件)	0	△1	1	0
	補助金額 (円)	0	△500,000	500,000	0
建替え工事補助	件数 (件)	0	0	0	0
	補助金額 (円)	0	0	0	0
ブロック塀等撤去補助	件数 (件)	1	△1	2	—
	補助金額 (円)	31,000	△111,000	142,000	—
合計	件数 (件)	4	1	3	2
	補助金額 (円)	238,000	△404,000	642,000	100,000

補助金 238,000円

その他負担金 1,000円

■ 既存建築物耐震診断・耐震改修工事・既存ブロック塀等撤去に関する相談環境の整備

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、対面での相談がしにくい環境となったことから、既存建築物耐震診断・耐震改修工事・既存ブロック塀等撤去に関する相談について、電話で対応できる体制づくりに努めました。また、地元建築士や工務店に対して、補助制度の情報を提供し、制度の周知を図りました。

[成 果]

町の広報紙やホームページにより、住宅の耐震化や補助制度の活用について周知を図るとともに、地元建築士や工務店と連携して制度の利用を促進することができました。

湛水防除対策事業

[上下水道室] 決算書 P160

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,747,600	4,747,600	0	0	0	0	4,747,600

※令和2年度からの繰越です。

[主な実施内容]

■湛水防除対策事業

事業の内容	金額 (円)
笠原排水機場道路新設工事	4,747,600円

[成 果]

笠原排水機場へのアクセス道路を整備しました。

公園等環境管理事業

[都市計画担当] 決算書 P160

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
30,030,000	29,842,307	0	0	0	151,000	29,691,307

[主な実施内容]

■はらっパーク宮代の利用状況

はらっパーク宮代は、広い芝生スペースを活かして、家族連れやグループでのびのびと自由を楽しまれているほか、グラウンドゴルフやランニングバイク等の大会が開催されるなど、多くの方々に利用いただきました。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施した上で運営を行いました。

(多目的広場の利用人数)

種 別	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
グラウンドゴルフ	17,046	1,796	15,250	19,857
アーチェリー	3,522	1,996	1,526	5,100
サッカー	3,786	△2,947	6,733	7,017
ラグビー	1,103	530	573	530
運動会など	435	△163	598	394

はらっパーク宮代指定管理料

11,848,610円

■公園管理協定に基づく住民主体の維持管理

地区(自治会)の皆さんにご協力いただき、町内32公園等を対象として公園管理協定を締結し、住民主体による公園の維持管理に努めました。

公園管理協定に基づく地区（自治会）と町の役割分担は、下記のとおりです。

地 区 （ 自 治 会 ）	町
<ul style="list-style-type: none"> ・危険行為者等に対する注意・通報 ・遊具の破損、害虫発生等の通報 ・空き缶、ゴミ等の収集・廃棄 ・雑草等の除草・廃棄 ・樹木等の軽微な剪定 ・その他簡易な施設修繕等 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期パトロールの実施 ・遊具等の点検・修繕 ・樹木等の剪定 ・病虫害の駆除・消毒 ・電気、水道料金の支払い ・苦情等への対応 ・その他公園全般の維持管理等

公園管理報奨金

181,000円

■街区公園等の維持管理

町内54箇所の街区公園等については、園内の草刈や樹木の剪定等に加え、公園遊具等の点検や職員による公園パトロールの実施等で、誰もが安心して安全に利用できる公園環境の整備に努めました。

街区公園等維持管理に関する費用

17,806,697円

■その他 負担金

6,000円

[成 果]

定期的な樹木の剪定や遊具の点検・修繕により、園内を見渡せる空間の確保や利用者が安心して安全に利用できる公園環境の整備を図りました。

教 育 推 進 課

■ 本年度の成果

本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の影響による小中学校の分散登校、公共施設の臨時休館等、昨年度に引き続く状況下での学校教育活動、生涯学習活動となりました。

そのような状況下にあっても、必要な感染対策を講じ創意工夫を図ることで、次世代を担う子供たちがいきいきと学び健やかに成長するための学校教育の充実、町民の皆さんが健康で活力に満ちた生活を送るための生涯学習施策の推進を図るとともに、教育支援センターの開設に向けた準備や小中学校のトイレの洋式化を進めるなど、教育環境の向上に努めることで心豊かでたくましい児童生徒の育成と町民の創意を生かした学びの場づくりの取組を行い、次のような成果をあげることが出来ました。

1. 教育総務・学校教育

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いながら、例年同様の教育活動が実施できるように努めてまいりました。

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人一人を大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、18年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、小中9年間を見通した計画を作成し、指導の一貫性を持って、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、オンラインによる交流会を通して、島村盛助氏の功績を改めて確認するとともに、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育て、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを行うことができました。

環境教育においても、兄弟姉妹関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童生徒だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室は2教室で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、コロナ禍の中、学校評議員会及び須賀中学校と東小学校に新設された学校運営協議会を開催し、地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、また、教育支援センターの令和4年4月開設に向けて、施設・備品の整備や人材の確保など準備を進めました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、東小学校の児童数増加に伴い、校舎を増築し、また、各学校においてGIGAスクール構想の実現に向け、ICT機器の整備を行い、学校のICT環境の充実に努めました。老朽化が進む学校施設において、小学校の低学年トイレを大規模改修しました。さらに、児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画を策定しました。

学校給食では、新しい生活様式に基づく給食のルールを徹底し、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、引き続き、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和3年度には米類約24.4トン、野菜等約14.5トン、合わせて40品目、約39トンを使用しました。

宮代町立小中学校適正配置事業では、昨年度に引き続き宮代町立小中学校の適正配置及び通学区の編成等に関する審議会を開催し、審議会より答申を受け、それを踏まえて、今後の方向性を検討しました。

2. 生涯学習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、町民文化祭をはじめとする多くの事業が中止となりました。その中でも、昨年度に続き成人式は会場を東武動物公園の屋外施設で開催しました。

また、公民館では、開館日が前年度よりも増えたため、利用者が9,815人の増加となりました。

3. 町立図書館

施設では日本工業大学の建築学部と連携し、南側テラスに学生たちの手作りによる素敵な木製家具（椅子・ベンチ）が並び安らぎの空間デザインを施していただきました。

また、図書等の蔵書数においては、前年度より視聴覚資料、図書共に増加しました。

4. スポーツ振興

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、町民体育祭をはじめとする多くの事業が中止となりました。

体育施設では、新型コロナウイルスの影響が残るものの、総合運動公園、町内グラウンド、各小・中学校の学校開放など、年間の利用者数が大幅に回復しました。また、あそびと運動「トライ」など、一部事業については、感染対策を実施した上で、プログラムなどを見直し、実施することができました。

東京2020オリンピック聖火リレー事業では、埼玉県2日目の7月7日(水)に第6区間にて、杉戸町と合同で聖火リレーを実施し、杉戸町役場から当町の東武動物公園駅東口ロータリーまでの約1.3キロメートルのルートを通り、6人の聖火ランナーが走りました。

5. 文化財保護

郷土資料館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止になった講座はありましたが、受講人数を減じて開催した「夏休み体験講座 郷土資料館へ行こう」や「歴史講座」など、工夫により開催することのできた講座もありました。また、西原自然の森敷地内の活用促進を図るため、敷地内に案内看板を設置し、外灯7灯のLED化を図りました。

文化財保護においては、まちづくり基金を活用して、字中にある宝生院に文化財案内板を設置しました。また、同じく基金を活用し、百間2丁目にあった「桜花碑」を資料館の敷地内に設置しました。

埋蔵文化財発掘事業では、個人住宅等の建設に伴う試掘調査を実施しました。また、分譲住宅開発に伴う発掘調査を1件実施しました。過去の発掘調査で令和元年度地蔵院遺跡第2次調査、平成29年度道仏遺跡調査、平成29年度・令和元年度姫宮神社遺跡調査、平成26年度地蔵院遺跡調査などで出土した遺物の整理作業や図面等の作成を行い、報告書刊行に向けての準備を進めました。

■ 令和3年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）	27
まちなかどこでもミュージアム事業	34
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	50
人権・平和推進事業	57
日工大サイエンスプロジェクト	65
宮代町立小中学校適正配置事業	67

■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	189
不登校対策事業	190
小中一貫教育推進事業	190
町民みんなが先生推進事業	192
英語教育推進事業	192
小学校施設管理事業	193
小学校要準特別支援教育就学援助事業	193
小学校環境教育推進事業	194
中学校施設管理事業	194
中学校要準特別支援教育就学援助事業	195
学校給食運営管理事業	195
社会教育活動事業	196
人権教育推進事業	197
青少年健全育成事業	198
公民館管理運営事業	199
図書館管理運営事業	200
総合運動公園管理事業	201
社会体育施設維持管理事業	203
生涯スポーツ振興事業	204
東京2020オリンピック聖火リレー事業	206
文化財保護事業	206
埋蔵文化財発掘調査事業	207
埋蔵文化財発掘調査受託事業	208
資料館管理運営事業	209

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
307,000	96,140	0	0	0	0	96,140

[主な実施内容]

■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

■通学路点検

小学校、中学校の通学路を点検し、通学路の把握とともに、危険箇所を確認し、地域、警察、関係課と連携して改善に向けて努めてきました。

■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在121軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校179人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

[成 果]

登下校指導及び通学路の点検等の活動もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生しておりません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まってきています。

不登校対策事業

[学校教育担当] 決算書 P166

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,076,000	783,920	0	0	0	0	783,920

[主な実施内容]

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1人ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、委員会事務局内に教育相談員を引き続き配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

いじめ防止対策推進法第28条第1項の規定による「重大事態」が発生したことを受け、法及び文部科学省のガイドラインに基づき、「宮代町いじめ問題調査委員会」を設置しました。委員は弁護士2名、臨床心理士1名、大学教授1名の計4名とし、令和3年度中に調査委員会が5回開催されました。

[成 果]

令和3年度の不登校の児童生徒は22人でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員(さわやか相談員)、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から派遣されたスクールカウンセラー4人の協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.26%、中学校においては2.67%です。

小中一貫教育推進事業

[学校教育担当] 決算書 P168

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
260,000	226,592	0	0	0	0	226,592

[主な実施内容]

■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

第1回目は委員が集まり今年度の各中学校区での取組について話し合いを行いました。それぞれの中学校区での取組を参考にしながら、中学校区ごとに小中一貫の取組が進められるよう実施しました。第2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため紙上開催となりましたが、1年間の成果や課題を挙げ、令和4年度の教育活動につなげられるよう、まとめを行いました。

各中学校区では、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、交流等が難しいこともありました。工夫をしながら取組を行いました。

須賀小・中学校では、Sプランをもとに「力いっぱい!」「全力」を合言葉にして取り組みま

した。今年度は、「指導をつなぐ」視点、「児童生徒の心をつなぐ」視点、「教職員の意識をつなぐ」視点で実践を重ね、何事にも前向きに一生懸命取り組む児童生徒の育成に取り組むことができました。

東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、ゆずり葉プランを継続し、今年度は、「教科における緩やかな連携」「学習内容の関連の明確化」「英語科授業の連携」「挨拶運動での交流」「生活面・学びにおける共通事項の確認及び実践」を重点に取り組みました。それにより、中1ギャップをなくし、学習意欲を向上させながら学びを深めること、小中の交流を通して豊かな心の育成を図ることを目指し指導を進めることができました。

百間小学校・前原中学校では、Mプランを継続し、「気持ちよく挨拶できる児童生徒」「人の話を目を見てしっかり聞ける児童生徒」「学習（家庭学習）に進んで取り組む児童生徒」「研修を通しての教職員の資質向上」を重点に取り組みました。学力の向上と豊かな心の育成を目指し、1年間取り組むことができました。

■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動・英語科の一層の推進を図りました。また、小学校では、英語の専科教員が担任、外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、外国語教育の充実に向け取り組みました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインや動画による交流をしました。

■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。各校の取組は、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

[成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。コロナ禍ではありましたが、中学校区ごとに小中9年間を見通したプランを作成し、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。令和2年度からは、小学校で新しい学習指導要領のもと、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の外国語科の授業を実施しています。百間中学校区で行われていた外国語教育研究の成果を生かしながら、指導の充実を図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使つての授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

町民みんなが先生推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P168

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,073,000	896,970	0	328,000	0	0	568,970

【主な実施内容】

「町民みんなが先生」制度により、部活動等で11人の方々が小中学生の指導を行いました。

【成 果】

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

英語教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 P168

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,709,000	15,744,400	0	0	0	2,500,000	13,244,400

【主な実施内容】

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。

【成 果】

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区でオンラインで開催し、小・中学校における英語の学習の成果等を発表することができました。

小学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P174

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
295,372,000	290,210,117	128,220,100	0	62,000,000	1,049,480	98,940,537

※令和2年度からの繰越分を含みます。

※令和3年度予算のうち、2,034,000円を令和4年度に繰り越しています。

[主な実施内容]

■町内各小学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
令和3年度小学校低学年棟トイレ改修工事(その1)	R3.6.8~R3.10.29	21,439,000
令和3年度小学校低学年棟トイレ改修工事(その2)	R3.6.8~R3.10.29	26,664,000
【R2繰越】宮代町立東小学校校舎増築工事	R3.6.14~R4.2.28	138,105,000
小学校体育館LAN配線工事	R3.6.14~R3.8.31	2,835,800
宮代町学校施設個別施設計画策定業務委託	R3.7.12~R4.2.28	3,922,286
【R2繰越】宮代町立東小学校校舎増築工事監理業務委託	R3.7.26~R4.2.28	4,675,000
小学校便器尿石除去水垢洗浄清掃業務委託	R3.8.3~R3.9.30	659,010
【R2繰越】宮代町立小中学校学習用ICT機器等購入	R3.4.1~R4.3.31	10,574,917

[成 果]

東小学校の児童数増加による普通教室の不足を解消するため、東小学校校舎増築工事を行いました。また、各小学校のトイレ改修工事及び尿石除去洗浄清掃を実施し、教育環境の改善とトイレ洋式化率の向上を図りました。

体育館の通信ネットワークや書画カメラ、プリンターを整備したことにより、GIGAスクール構想の実現に向けた学校のICT環境を大きく向上させました。

また、老朽化の進む学校施設において児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画を策定しました。

小学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P178

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,325,000	9,527,022	391,000	0	0	0	9,136,022

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は114人（6,802,293円）となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は26人（747,369円）となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給をしました。事前支給者は36人（1,977,360円）となりました。

小学校環境教育推進事業

[学校教育担当]

決算書 P-

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,000	0	0	0	0	0	0

[主な実施内容]

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議をオンラインで実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

[成 果]

令和3年12月9日、宮代町役場101・102会議室と各校をオンラインでつなぎ「キッズエコサミット宮代2021」を開催しました。小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で年間をとおして取り組んだ環境への取組を紹介しました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」もオンラインで開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を、恒例の7月第一土曜日に実施しました。町内全小・中学生が取り組み、「家庭科で勉強した昔からの伝統的な『打ち水』に挑戦した」「薪を割って火をつけ、外でご飯を炊いて食べた」など授業での学びを生かしながら、子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

また、1月は、「宮代冬の江戸の日」として、町内全小・中学生が「お風呂の温度を低めにしたり、車でなく歩いて買い物に行ったりする」「湯たんぽの使用や厚着、しょうがを料理に取り入れて体を温める」などの取組が見られました。

中学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P182

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
58,795,000	50,648,392	2,895,000	0	0	1,002,950	46,750,442

※令和2年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■町内各中学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
宮代町学校施設個別施設計画策定業務委託	R3.7.12~R4.2.28	2,941,714

中学校便器尿石除去水垢洗浄清掃業務委託	R3. 8. 3～R3. 9. 30	529, 760
【R2 繰越】宮代町立小中学校学習用 I C T 機器等購入	R3. 4. 1～R4. 3. 31	2, 829, 463

[成 果]

老朽化の進む学校施設において児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画を策定しました。

また、各中学校のトイレにおいて尿石除去洗浄清掃を実施し、教育環境の改善を図りました。

さらに、書画カメラ、プリンターを整備したことにより、G I G A スクール構想の実現に向けた学校の I C T 環境を大きく向上させました。

中学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P184

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11, 986, 000	6, 968, 005	182, 000	131, 000	0	0	6, 655, 005

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は 8 5 人 (6, 6 0 1, 7 0 3 円) となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は 9 人 (3 6 6, 3 0 2 円) となりました。

学校給食運営管理事業

[教育総務担当]

決算書 P198

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
316, 071, 000	315, 356, 326	1, 097, 000	0	0	112, 732, 172	201, 527, 154

[主な実施内容]

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を 6 回 (書面開催含む)、給食に使う物資について検討する物資検討会を 1 1 回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を 1 回書面開催しました。さらに、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

新型コロナウイルス対策としては、新しい生活様式に基づく給食のルール (同一方向を向いての黙食、配膳の盛り切り等) を運用し、感染拡大防止に努めました。

■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
品 目 数	40品目	33品目	32品目
使 用 量 (米・野菜等)	米 24.4トン 野菜等 14.5トン	米 20.8トン 野菜等 11.3トン	米 20.4トン 野菜等 12.9トン

[成 果]

・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成につながるよう取り組みました。

・アレルギー対策

食物アレルギーを持っている児童生徒に対して、除去食・代替食の提供を行いました。

・新型コロナウイルス感染症対策

新しい生活様式に基づく給食ルールの徹底等の感染拡大防止対策に取り組みました。

社会教育活動事業

[生涯学習室]

決算書 P186

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,867,000	910,576	284,013	0	0	0	626,563

[主な実施内容]

■みやしろ大学

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座、ウォーキングなどを開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての講座が中止になりました。

■町民文化祭

宮代町文化協会との共催により、進修館を会場に舞台発表や作品展示を実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になりました。

■成人式(令和4年1月9日(日))

579,622円

町の特色を活かし、レジャーランドのある「東武動物公園」にての成人式を開催しました。企画、運営は新成人で構成される成人式実行委員会により行われ、211人の新成人が参加しました。

[成 果]

令和3年度においても、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、会場の特性上、十分な三密対策を取ることが困難なみやしろ大学や町民文化祭は中止となりました。

一方で、成人式については、東武レジャー企画（株）の協力により、昨年度から屋外施設である東武動物公園イベントステージHOLA！（オーラ）を会場に、成人式を開催することができました。

人権教育推進事業

[生涯学習室]

決算書 P186

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
922,000	611,178	0	0	0	0	611,178

[主な実施内容]

■子ども人権講座の開催

40,000円

町内の小学校6年生全員を対象に子ども人権講座「目が見えなくなって見えたもの」を開催し、251人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集（あおぞら第27集）の発行

94,861円

各小・中学校の児童生徒が書いた人権作文・標語を作品集にまとめました。また、オンラインを併用して開催した作文発表会には、会場校の5、6年生123人、一般10人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成

315,163円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を実施しました。

[成 果]

子ども人権講座では、講師から視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話してもらい、子供たちにとって生きることの視座をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成では、子供たち一人一人が人権問題について考える機会となりました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
583,000	161,330	0	17,000	0	13,200	131,130

[主な実施内容]

■子ども大学みやしろ 30,000円

日本工業大学と連携し、小学校4～6年生を対象に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

講義名	期日	場所	参加者数
緊張に負けない方法	10月16日(土)	日本工業大学 3号館	17人
SDGsを学ぼう	11月14日(日)	日本工業大学 5号館	28人
ウイルス感染のしくみを使った通信	11月28日(日)	日本工業大学 5号館	25人
音の不思議を体験しよう	12月12日(日)	日本工業大学 18号館	29人

■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催するものです。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から両大会は中止となりました。

■宮代町青少年相談員の活動

令和3年7月に予定していた、栃木県日光市湯西川「安らぎの森キャンプ場」でのサマーキャンプは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

■放課後子供教室 25,535円

国の「新・放課後子ども総合プラン」及び町の「宮代町子ども子育て支援事業計画」に基づき、①放課後に安心して過ごせる居場所の確保、②地域住民との交流、③スポーツや文化活動等の体験機会の提供を目的に実施するものです。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての事業が中止となりました。

■宮代町青少年健全育成推進員の活動 104,000円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東武動物公園西口での、青少年非行防止キャンペーンや8月の青少年非行防止夜間パトロールが中止となりました。11、12月の有害図書等取扱店舗の巡視活動を実施しました。

期 日	内 容
11月20日	町内コンビニエンスストア6店舗を巡視
12月9日	町内公共施設などを中心に22箇所を巡視

[成 果]

かるた大会や放課後子供教室などは、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

子ども大学みやしろは、日本工業大学の協力のもと大教室の提供を受け、換気や手指の消毒などの感染対策をしながら実施することができました。学校では学ぶことができない特色ある授業を実施し、子供たちの知的好奇心を刺激する学びや体験、交流の機会を提供することができました。

公民館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P188

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,034,000	3,631,529	0	0	0	2,410,170	1,221,359

[主な実施内容]

■公民館の利用状況

令和3年度は、308日開館し、3館で合計38,161人が利用しました。

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
百間公民館	利用回数	1,406	374	1,032	1,515
	利用人数	11,807	3,167	8,640	16,639
川端公民館	利用回数	1,867	437	1,430	2,022
	利用人数	12,763	2,619	10,144	18,306
和戸公民館	利用回数	1,892	622	1,270	1,728
	利用人数	13,591	4,029	9,562	15,135
合 計	利用回数	5,165	1,433	3,732	5,265
	利用人数	38,161	9,815	28,346	50,080

※令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月1日～5月31日まで休館。

[成 果]

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
88,980,000	88,913,700	50,000	0	0	31,320	88,832,380

[主な実施内容]

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
開館日数(日)	290	109	181	288
貸出者数(人)	77,012	27,651	49,361	80,695
うち広域対象	21,398	7,153	14,245	23,320
貸出冊数(冊・点)	271,541	103,884	167,657	282,958
うち広域対象	68,846	25,010	43,836	77,872

※令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月8日から5月21日まで及び令和3年1月6日から3月21日まで休館。

■図書等の所蔵数の状況

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
図書(冊)	267,798	2,595	265,203	262,247
うち一般書	203,866	1,787	202,079	200,011
うち児童書	63,932	808	63,124	62,236
視聴覚資料(点)	8,042	41	8,001	8,150
合計	275,840	2,636	273,204	270,397

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例(定期)行事のほか、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどを開催し、延べ2,930人が参加しました。

【月例行事】

行事名	回数	参加者数
童話と絵本の会	全11回	237人
紙芝居と折り紙	全12回	207人
おはなし会	全10回	328人
子ども映画会	全10回	251人
ライブラリーシアター	全12回	242人
ナクソス音楽会	全12回	152人
ブックスタート事業	全12回	238人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
夏休み親子で楽しむおはなしと映画	7月17日(土)、24日(土) 8月21日(土)、28日(土)	148人
夏休み子ども平和映画会	8月1日(日)	33人
夏休み科学あそび教室	8月6日(金)	15人
夏休みおはなし工作会	8月9日(月・祝)	11人
夏休み読書感想文教室	8月21日(土)	12人
雑誌リサイクル市	10月2日(土)、3日(日)	130人
図書リサイクル市	10月9日(土)、10日(日)	130人
クリスマスお楽しみ会	12月19日(日)	70人

【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
調べ学習ワークショップ	7月3日(土)、4日(日) 8月7日(土)、8日(日)	65人
日本工業大学特別講演会 「暮らし・ロボット・人工知能」	9月12日(日)	14人
持ち寄りレコード鑑賞会	11月3日(水)	33人
大人のための16ミリ映画会	11月7日(日)	36人

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による影響から、施設の臨時休館や様々な行事が中止となりましたが、令和3年度においては、一部行事が中止となったものの、夏休みの子供向け企画や大学と連携した講演会など多くの行事を再開することができました。

また、日本工業大学の協力を得て、図書館南側のテラスに学生が制作したイスが設置され、テラスの活用に向けた新たな取組が実施されました。さらに、東武鉄道(株)からの依頼のもと、東武動物公園駅西口で開催されたイベントにおいて、杉戸町立図書館との共同により出張紙芝居を行うなど、地域と連携した活動も展開しました。

総合運動公園管理事業

[生涯学習室]

決算書 P196

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
58,679,000	58,669,625	1,136,000	0	0	251,590	57,282,035

【主な実施内容】

指定管理者制度を活用し、総合運動公園の管理運営を行いました。

■総合運動公園の利用状況

令和3年度は319日開園し、197,872人が利用しました。

		3年度A	増減 A-B	2年度B	元年度
テニスコート	利用件数	3,433	707	2,726	3,047
	利用人数	23,605	4,641	18,964	22,192
多目的広場	利用件数	146	10	136	122
	利用人数	8,186	1,530	6,656	7,646
野球場	利用件数	245	89	156	218
	利用人数	16,562	5,582	10,980	13,568
ソフトボール場	利用件数	197	28	169	178
	利用人数	5,504	1,648	3,856	5,573
メインアリーナ	利用件数	1,686	639	1,047	1,507
	利用人数	27,965	10,068	17,897	34,621
サブアリーナ	利用件数	577	△279	856	1,414
	利用人数	28,006	17,808	10,198	20,118
剣道場	利用件数	310	△61	371	658
	利用人数	4,337	△1,651	5,988	13,988
柔道場	利用件数	560	220	340	503
	利用人数	7,145	3,648	3,497	9,095
弓道場	利用件数	995	419	576	1,187
	利用人数	3,513	795	2,718	4,934
会議室	利用件数	468	201	267	377
	利用人数	5,249	1,667	3,582	6,702
研修室	利用件数	367	172	195	308
	利用人数	6,473	3,094	3,379	9,380
トレーニング室	利用件数	9,337	5,063	4,274	15,603
	利用人数	9,337	5,063	4,274	15,603
室内プール	利用件数	27,730	14,636	13,094	33,849
	利用人数	51,990	20,370	31,620	56,046
合計	利用件数	46,051	21,844	24,207	58,971
	利用人数	197,872	74,263	123,609	219,466

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年8月2日から9月30日まで、施設の一部利用制限を実施。

■教室等の自主事業実施状況

教室名	3年度A	増減 A-B	2年度B	元年度
水泳	24,563	5,405	19,158	27,946
テニス	3,734	△275	4,009	5,597
体育	1,444	152	1,292	2,015
新体操	1,054	334	720	941

フットサル	1,575	356	1,219	1,458
バスケットボール	924	91	833	1,383
バドミントン	505	179	326	478
健康教室	3,005	1,375	1,630	1,018
ヨガ	1,651	529	1,122	1,679
卓球	1,101	260	841	1,374
ビクトリークリニック	72	72	—	—
60才から始める健康プログラム	0	0	0	504
60才以上の体力測定	0	0	0	17
その他大会・教室	308	61	247	998
合計	39,936	8,539	31,397	45,823

※自主事業は、感染症対策を実施した上で段階的に実施。

■施設の主な工事等

内 容	金額（円）
宮代町総合運動公園受電設備改修工事	1,188,000
総合体育館プール事務所前廊下床張替工事	495,000

■[成 果]

指定管理者の持つ専門性やノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも19万人以上の方に施設を利用していただきました。

宮代町総合運動公園の指定管理者であるミズノグループが、国内外のトップアスリートを招き、町民の方々に直接指導を受けていただく機会を提供する事業「ミズノヴィクトリークリニック」を開催しました。

社会体育施設維持管理事業

〔生涯学習室〕

決算書 P196

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,623,000	3,605,271	0	0	0	229,000	3,030,920

[主な実施内容]

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

令和3年度は359日開所し、43,920人が利用しました。

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
前原グラウンド	利用件数	376	67	309	329
	利用人数	7,112	53	7,059	7,588

東 条 原 グ ラ ウ ンド	利用件数	310	△41	351	320
	利用人数	4,493	135	4,358	5,513
東 グラウンド	利用件数	229	△265	494	288
	利用人数	2,969	△2,135	5,104	5,181
宮東グラウンド	利用件数	408	△98	506	691
	利用人数	11,644	1,568	10,076	12,197
宮 東 テニスコート	利用件数	1,759	474	1,285	1,592
	利用人数	15,111	2,756	12,355	13,764
山 崎 アーチェリー場	利用件数	2,591	70	2,521	2,411
	利用人数	2,591	70	2,521	2,411
合 計	利用件数	5,673	207	5,466	5,631
	利用人数	43,920	2,447	41,473	46,654

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響がありましたが、町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。

生涯スポーツ振興事業

[生涯学習室]

決算書 P196

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
739,000	384,010	0	0	0	0	384,010

[主な実施内容]

■第49回町民体育祭

幼児から高齢者まで全町民が参加できるスポーツの祭典として、町民の健康増進と町民相互の親睦を図ることを目的にしています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になりました。

■町民スポーツ大会

351,887円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を実施しました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの大会が中止となりましたが、5種目を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム 参加者数
野球の部	7～8月	総合運動公園野球場	17チーム
硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	中止
ソフトテニスの部	開催なし	総合運動公園テニスコート	—
ソフトボールの部	9～10月	総合運動公園ソフトボール場他	15チーム

サッカーの部	12月	総合運動公園多目的広場	4チーム
剣道の部	6月	総合体育館メインアリーナ	69名
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	中止
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	中止
弓道の部	1月	総合体育館弓道場	15名

■第39回宮代町綱引大会

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数(チーム)
宮代町綱引大会	12月5日(日)	総合体育館メインアリーナ	中止

■少年少女スポーツ振興事業

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月20日(日)	総合体育館 メインアリーナほか	中止
ロードレース大会	2月12日(土)	総合運動公園	中止

■その他の事業

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第23回ファミリーハイキング 10月～11月	秩父方面	ハイキングの楽しさや素晴らしい風景を味わい、家族のふれあいを深めます。	中止
第47回年少者スキー教室 1月9日(土)～10日(日)	日光湯元温泉 スキー場	小学校4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図ります。	中止
さいかつぼーる体験 5～2月(8月を除く)	総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	埼玉地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」の体験を通して、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供します。(年間9回開催)	中止
あそびと運動(トライ) 5～6月(春季)	総合体育館 メインアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」を養う下地を作ることを目的に、小学校1～2年生を対象とした教室を実施します。(各季5回)	春季(全3回) 延べ35名

あそびと運動（チャレンジ） 5～2月	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学校3～4年生を対象とした教室を実施します。（13回）	中止
-----------------------	-------------	---	----

※新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、事業が中止。一部事業は規模を縮小して開催。

【成 果】

新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止となりましたが、感染対策を実施した上で、あそびと運動（トライ）事業を開催し、児童へのからだを動かす楽しさを知ってもらう機会をつくることができました。

東京2020オリンピック聖火リレー事業

〔生涯学習室〕 決算書 P198

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,803,000	4,532,372	0	0	0	0	4,532,372

【主な実施内容】

東京2020オリンピック聖火リレーは、令和3年3月25日に福島県をスタートし、121日間をかけて全国を巡りました。埼玉県では、7月6日（火）から7月8日（木）までの3日間、県内40市町で実施し、当町もその一つとして実施しました。

【成 果】

宮代町では、杉戸町と合同で実施し、2日目、7月7日（水）の第6区間（杉戸町・宮代町）として、杉戸町役場をスタートし、東武動物公園駅東口をゴールとする約1.3キロメートルを6人の聖火ランナーが聖火を繋ぎました。また、東京2020オリンピック聖火リレーを記念し、当日の様子を振り返り、6区間で走った聖火ランナーや聖火リレーで使用されたトーチやユニフォーム、関連アイテム等を紹介する記念展を開催しました。

文化財保護事業

〔生涯学習室〕 決算書 P190

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
889,000	799,061	0	0	0	414,500	384,561

【主な実施内容】

■文化財保護委員会の運営 154,300円

文化財の指定等を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を実施しました。また、町指定無形民俗文化財の東条原獅子舞の指定解除について、教育委

員会に建議を行いました。

■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代（遺跡）及び信仰（神社）に関する調査を令和2年度に引き続いて実施しました。

■歴史講座の実施

10,000円

3月9日、さいたま民俗文化研究所主席研究員で日本民俗学会会員の板垣時夫氏を講師に、「埼玉東部の民俗 東部地区の祭礼行事2」を開催しました。前回は県東部地区の春・夏の祭礼行事についてでしたが、今回は秋から冬にかけての祭礼行事や民俗芸能を中心に、祭礼の意味や地域の特徴についてわかりやすく解説していただきました。受講者10人。

■文化財案内板等の設置

412,500円

宮代まちづくり基金を活用し、宝生院（字中地内）に、その歴史や由来を記した案内板を設置（ふるさと歩道の盤面交換）しました。また、資料館敷地内に百間2丁目「桜花碑（おうかひ）」を設置しました。

■指定文化財保存事業への補助

17,000円

指定文化財の保護、保存を目的に、埼玉県指定有形文化財五社神社本殿の管理者に防災設備保守点検費用の補助を行いました。

[成 果]

文化財案内板を設置することで合計42基となり、これまで設置したものと合わせて多くの方に地域の歴史、由来を周知できるようになりました。開催予定であった各種の講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止もしくは受講人数を減らしての開催となりました。

埋蔵文化財発掘調査事業

[生涯学習室]

決算書 P190

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,266,000	8,160,417	1,350,000	675,000	0	0	6,135,417

[主な実施内容]

■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計362件の照会がありました。

■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93条・94条の規定に係る発掘届が12件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

(1) 発掘届の原因

項目	件数
個人住宅	9
工場設備	1
分譲住宅	1
駐車場	1

(2) 指示事項

項目	件数
工事立会	1
慎重工事	11
本調査	0

■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

836,573 円

土地 10 件（合計約 69 m²）の試掘調査を実施しました。

調査の原因

項目	件数
個人住宅	8
分譲住宅	1
工場設備設置	1

■埋蔵文化財の遺物整理

発掘調査で出土した遺物の整理作業として、令和元年度地蔵院遺跡第 2 次調査、平成 26 年度地蔵院遺跡、平成 29 年度道仏遺跡、平成 29 年度・令和元年度姫宮神社遺跡等において報告書の刊行に向けて調査成果の執筆、トレース作業、仮図版作成、出土遺物の復元作業、図面作成作業を実施しました。

[成 果]

これまでに実施した発掘調査における調査報告書を刊行するための準備として、遺物や図面の整理作業を進めることができました。

埋蔵文化財発掘調査受託事業

[生涯学習室]

決算書 P190

3 年度予算 (円)	3 年度決算 (円)	3 年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,338,298	9,149,694			0	9,149,694	0

※決算額 令和 2 年度繰越明許分

[主な実施内容]

■民間の開発行為に伴う埋蔵文化財の調査

道仏遺跡地内における文化財保護法第 9 3 条の規定に係る発掘届が 1 件提出され、文化財保護法第 9 9 条に基づく埋蔵文化財の発掘調査を実施しました。

対象遺跡 道仏遺跡

調査の原因 分譲住宅1件

調査結果 道仏遺跡地内において、約560㎡の発掘調査を実施しました。調査の結果、古墳時代中期から後期の住居跡36軒（内8軒は以前の調査で検出した住居の続き）、土坑が3基検出されました。主な出土遺物は古墳時代土師器、須恵器、韓式系軟質土器、石製品、土製品、玉類、炭化材、穿孔貝巢穴跡軟質泥岩等です。また、出土遺物の洗浄作業、図面・写真等の記録類整理作業、第2原図作成作業を実施しました。

[成 果]

今回の調査では、同遺跡での過去の調査に引き続き、古墳時代中期から後期にかけての、大規模な集落跡が確認できました。また現在のところ、埼玉県内では宮代町でのみ出土が確認されている韓式系軟質土器も、前回の調査に引き続き出土しました。

資料館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P192

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,052,000	10,952,794	0	0	0	397,700	10,550,094

[主な実施内容]

■郷土資料館の利用状況

令和3年度は、278日開館しました。

3年度 A	増減 A-B	2年度度 B	元年
8,654	3,848	4,806人	10,844人

■資料寄贈等

町民をはじめとした方々から、民具や古文書等18件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約260冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

270,502円

区分	内 容	期 間	入館者数
特別展 (前年度から)	資料館のあしもと 地蔵院遺跡展 ～考古学のいろは～	令和2年10月 ～令和3年5月	1,056人 (4～5月分)
特別展	俳諧結社 多少庵 ～史料に見る活動の広がり～	令和3年10月 ～12月	1,686人
企画展	空から見るみやしろ	令和3年5月 ～10月	3,772人

	おひなさま	令和4年1月～3月	1,419人
	古文書に見る人々の暮らし4 ～古典に親しむ～	令和4年3月～7月	721人 (3月分)

■各種講座・体験学習教室

94,421円

事業名	内 容	参加者数
夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	7月29日～8月12日(計8回) 対象：小中学生 内容：縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、組みひもブレスレットづくり、和とじノートづくり	延べ 91人
かやぶき民家で 聞く昔話	8月7日 内容：旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスのみなさんの協力により、昔話や島村蓼三(盛助)の作品「村の寶(たから)」を聞く会を開催した。	20人
西原自然の森 フェスタ2021	12月4・5日 オカリナの夕べ(4日のみ) 内容：旧じゃぶじゃぶ池跡地と旧加藤家住宅を舞台に、オカリナ愛好グループの「こぶし10」による、オカリナの演奏会を開催した。 ナイトミュージアム(4・5日) 内容：竹あかりの点灯時間に合わせ、郷土資料館を18時まで開館した。	

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、下記の講座は中止となりました。

行 事 名	対 象
土器づくり教室	小・中学生
移築民家と「アトラシイ」ゲキ17	一 般
琵琶の調べ	一 般

■資料整理

48,064円

1. 町内から寄贈された古文書、民俗資料や歴史資料等の整理を実施しました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理及び目録化等を実施しました。

■普及、啓発

学校教育との連携により、受け入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校4校の受け入れをしました。
2. 博物館学芸員実習生2人を受け入れました。
3. 団体利用が2件ありました。
4. 職員派遣申請が2件あり、職員の派遣を実施しました。
5. 資料の館内利用が4件ありました。

■郷土資料館空調設備更新工事 1,560,900円
郷土資料館1階荷解室系統の空調設備更新工事を実施しました。

■西原自然の森敷地内施設案内板設置工事 693,000円
西原自然の森敷地内の施設案内のため、案内看板の設置を行いました。

■西原自然の森敷地内各種設備修繕工事 594,000円
西原自然の森敷地内において、外灯7灯のLEDランプへの交換修繕、点滅タイマーの交換修繕を行いました。

[成 果]

特別展は、前年度開催した「資料館のあしもと 地蔵院遺跡展～考古学のいろは～」を5月まで延長し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休館した期間分もご覧いただけるようにしました。

本年度の特別展は「俳諧結社 多少庵～史料に見る活動の広がり～」と題して、江戸時代後期から明治時代にかけて町域を中心に活動した俳諧結社多少庵について行いました。平成8年度にも多少庵についての特別展を実施しましたが、それ以降に確認された史料を中心に多少庵の活動範囲の広がりや活躍した俳人などについて紹介することができました。

企画展は、5月から10月にかけて「空から見るみやしろ」と題し、宮代町域を写した空中写真を展示しました。町が所有しているものだけでなく、国土地理院がインターネットで公開しているデータも活用したことから、昭和21年から令和2年にかけての変化が克明にわかるものとなりました。また、1月から3月にかけては例年同様「おひなさま」の展示を行いました。さらに、3月からは「古文書に見る人々の暮らし4 古典に親しむ」と題し、収蔵資料の中にある江戸時代の書物から、「古典」として身近な著作物を紹介しました。

西原自然の森の敷地内に「すてっぷ宮代（宮代町社会福祉協議会）」が開館したことを受け、敷地内の案内看板を設置し、外灯をLEDに交換するなど、西原自然の森内の整備を行うことができました。



国民健康保険特別会計



令和3年度宮代町国民健康保険特別会計決算における主要施策の成果

令和3年度の歳入総額は、37億3,339万1千円で前年度に比べ1億995万9千円、率にして3.0%の増額、歳出総額は、36億5,317万5千円で前年度に比べ1億5,231万1千円、率にして4.4%の増額となりました。収支差引額は、8,021万6千円となりました。

コロナ過の中、一時減少傾向にあった保険給付費が徐々に増加に転じましたが、国保税収の減少により単年度の会計収支では3,875万9千円の赤字となりました。

令和3年度は、赤字額の解消に向けて令和4年度の税率を検討する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、据え置きとしました。このことは、令和9年度の県内の国保税の統一化に向けて大きな課題となりました。

歳入では、被保険者数の減少に伴い、税収が前年度より約3,667万円下回りましたが、医療費の増加と共に普通交付金は増額となりました。また、歳出でも保険給付費や納付金などが増額となりました。

特定健康診査等実施事業では、徹底した感染予防対策をしたうえで実施した他、生活習慣改善に向けた保健指導を実施しました。また、特定健康診査受診率向上に向け、健診対象者の状況を受診履歴、年代、性別、健診結果値等を基に人工知能による分析・分類し、効果的な受診勧奨を行いました。疾病予防事業では、レセプトや特定健診のデータから糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者や受診中断者の人工透析への移行を予防するため、生活習慣病重症化予防対策事業を実施した他、健康ステーション事業としてぐるる宮代を会場とする「ウォーキング教室」を秋と春の2回開催し、被保険者の健康意識の向上に努めました。

令和3年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款名	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 国民健康保険税	658,867	17.6	91	△ 36,671
2 国庫支出金	1,920	0.1	0	△ 1,579
3 県支出金	2,637,243	70.6	364	124,639
4 財産収入	4	0.0	0	3
5 繰入金	304,869	8.2	42	28,945
6 繰越金	122,567	3.3	17	△ 2,661
7 諸収入	7,921	0.2	1	△ 2,717
歳入合計	3,733,391	100.0	515	109,959

歳出の状況

款名	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	52,428	1.4	7	△ 9,822
2 保険給付費	2,542,451	69.6	351	140,458
3 国民健康保険事業費納付金	876,583	24.0	121	21,519
4 共同事業拠出金	0	0.0	0	0
5 保健事業費	56,582	1.6	8	1,162
6 公債費	0	0.0	0	0
7 諸支出金	125,131	3.4	17	△ 1,006
8 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	3,653,175	100.0	504	152,311

令和4年3月31日現在被保険者数
7,250人

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
695,538	19.2	708,447	被保険者数の減
3,499	0.1	1,433	災害等臨時特例補助金（新型コロナウイルス感染症 対応分）の減
2,512,604	69.3	2,703,107	保険給付費等交付金の増
1	0.0	1	基金利子の増
275,924	7.6	358,147	その他一般会計繰入金の増
125,228	3.5	119,760	前年度県等支出金繰越金の減
10,638	0.3	11,712	一般被保険者第三者納付金の減
3,623,432	100.0	3,902,607	

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
62,250	1.8	63,896	職員の人事異動に伴う人件費の減
2,401,993	68.6	2,574,550	療養給付費の増
855,064	24.4	949,415	国民健康保険事業費納付金の増
0	0.0	0	
55,420	1.6	65,808	特定健康診査、がん検診委託料の増
0	0.0	0	
126,137	3.6	123,710	県支出金等の返還金の減
0	0.0	0	
3,500,864	100.0	3,777,379	

令和3年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
歳入総額 A	3,733,391	3,623,432	3,902,607
歳出総額 B	3,653,175	3,500,864	3,777,379
歳入歳出差引額 (A - B) C	80,216	122,568	125,228
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	80,216	122,568	125,228
単年度収支 F	△ 42,352	△ 2,660	5,467
積立金 G	0	0	0
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	0	0	0
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 42,352	△ 2,660	5,467

※ 次年度精算を踏まえた会計収支

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
実質収支 (J + K)	80,216	122,568	125,228
内、県等返還金等繰越金 J	28,471	26,069	38,787
内、その他繰越金 K	51,745	96,498	86,441
法定外繰入金決算 L	△ 90,504	△ 49,699	△ 124,169
精算後の会計収支 (K + L)	△ 38,759	46,799	△ 37,728

* 3年度の精算後の会計収支は見込み額です。

2 基金の現在高

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
国民健康保険出産費基金	4,025	4,021	4,020

* 基金現在高は、出納整理期間を含めた額です。

3 世帯数の状況（年度末現在）

(単位 世帯)

	3年度	2年度	元年度
世帯数	4,868	5,041	5,145
町の総世帯数	15,382	15,268	15,116
加入率	31.6%	33.0%	34.0%

4 被保険者数の状況（年度末現在）

(単位 人)

	3年度	2年度	元年度
被保険者数	7,250	7,608	7,908
町の総人口	33,656	33,792	33,969
加入率	21.5%	22.5%	23.3%

5 職員数等の状況

	3年度	2年度	元年度
(一般職員) 職員数	5人	6人	6人
平均年齢	43.80歳	44.16歳	42.90歳
一人当たりの給料月額	314,900円	315,750円	308,183円

1 款 国民健康保険税

決算書 P217

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
665,415,000	658,866,937	△36,670,592	695,537,529	708,446,653

現年課税分は被保険者数の減少する中、新型コロナウイルス感染症の影響による減免額が約 320 万円となり、収入済額は前年度より約 3,667 万円の減収となりました。

また、滞納繰越分は納税相談などの徴収対策に取り組み、収入未済額の縮小に努めました。

現年課税分の収納率は、前年度を上回りましたが、滞納繰越分は、前年度を下回りました。

■ 調定、収納の状況

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
調 定 額	752,211,574	△40,584,033	792,795,607	814,309,804
収 入 済 額	658,866,937	△36,670,592	695,537,529	708,446,653
不 納 欠 損 額	9,006,019	5,388,079	3,617,940	6,539,944
収 入 未 済 額	84,491,318	△9,534,956	94,026,274	99,591,907
収 納 率	87.6%	△0.1%	87.7%	87.0%

※収入済額には還付未済額 152,700 円(18 件分)が含まれています。

■ 軽減税額

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
7 割 軽 減	53,415,600	2,802,870	50,612,730	54,024,670
5 割 軽 減	24,624,250	△2,016,400	26,640,650	25,885,350
2 割 軽 減	8,992,980	△863,560	9,856,540	10,478,100
合 計	87,032,830	△77,090	87,109,920	90,388,120

※保険基盤安定負担金算出資料より

■ 軽減世帯数等

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
7 割 軽 減	1,299 (1,605)	60 (84)	1,239 (1,521)	1,292 (1,625)
5 割 軽 減	664 (1,066)	△33 (△85)	697 (1,151)	657 (1,119)
2 割 軽 減	612 (987)	△29 (△91)	641 (1,078)	668 (1,146)
合 計	2,575 (3,658)	△2 (△92)	2,577 (3,750)	2,617 (3,890)

※保険基盤安定負担金算出資料「医療分」軽減世帯より

※括弧内は軽減世帯に属する世帯員数

■ 新型コロナウイルス感染症の影響による減免

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
減免額	3,201,200	△3,565,800	6,767,000	505,800

■一般被保険者国民健康保険税（現年課税分）

（単位 円）

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
調 定 額	658,924,400	△35,376,500	694,300,900	708,172,042
収 入 済 額	633,583,635	△29,578,635	663,162,270	673,962,895
不 納 欠 損 額	67,400	67,400	0	96,855
収 入 未 済 額	25,426,065	△6,098,701	31,524,766	34,363,692
収 納 率	96.2%	0.7%	95.5%	95.2%

※収入済額には還付未済額 152,700 円(18 件分)が含まれています。

■一般被保険者国民健康保険税（滞納繰越分）

（単位 円）

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
調 定 額	93,284,413	△5,183,671	98,468,084	105,852,236
収 入 済 額	25,283,302	△7,068,095	32,351,397	34,224,855
不 納 欠 損 額	8,938,619	5,320,679	3,617,940	6,443,089
収 入 未 済 額	59,062,492	△3,436,255	62,498,747	65,201,592
収 納 率	27.1%	△5.8%	32.9%	32.3%

■退職被保険者等国民健康保険税（現年課税分）

（単位 円）

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
調 定 額	0	0	0	251,058
収 入 済 額	0	0	0	251,058
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	0	0	0	0
収 納 率	—	—	—	100%

■退職被保険者等国民健康保険税（滞納繰越分）

（単位 円）

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
調 定 額	2,761	△23,862	26,623	34,468
収 入 済 額	0	△23,862	23,862	7,845
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	2,761	0	2,761	26,623
収 納 率	0%	△89.6%	89.6%	22.8%

2款 国庫支出金

決算書 P217

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
1,000	1,920,000	△1,579,000	3,499,000	1,433,000

■国庫補助金

新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が減少した世帯の減免又は免除した保険税に対し、災害等臨時特例補助金（新型コロナウイルス感染症対応分）が交付されました。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
災害等臨時特例補助金	1,920,000	△1,579,000	3,499,000	1,433,000
合計	1,920,000	△1,579,000	3,499,000	1,433,000

3款 県支出金

決算書 P219

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
2,644,594,000	2,637,243,462	124,639,438	2,512,604,024	2,703,107,297

(単位 円)

■県補助金

普通交付金は、町の医療費等の支払いに対して交付されるもので、医療費の増加と共に普通交付金も増加しました。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
普通交付金	2,549,817,462	143,083,438	2,406,734,024	2,591,418,297
特別交付金（保険者努力支援分）	13,103,000	△3,966,000	17,069,000	21,890,000
特別交付金（特別調整交付金分）	8,109,000	269,000	7,840,000	0
特別交付金（県繰入金2号分）	54,800,000	△14,733,000	69,533,000	74,893,000
特別交付金（特定健康診査等負担金）	11,414,000	△14,000	11,428,000	14,906,000
合計	2,637,243,462	124,639,438	2,512,604,024	2,703,107,297

4款 財産収入

決算書 P219

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
5,000	4,130	3,223	907	772

■利子及び配当金 出産費基金の運用により発生する利子です。

5 款 繰 入 金

決算書 P219

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
304,869,000	304,868,589	28,944,678	275,923,911	358,146,665

■他会計繰入金（一般会計からの繰入）

保険基盤安定及び国民健康保険担当職員の給与費などの法定の繰入金のほか、国民健康保険事業費納付金の納付における不足額等を補てんするための財源を一般会計から繰り入れました。

・ 保険基盤安定繰入金

保険税軽減分として国民健康保険税の低所得者に対する保険税軽減相当額を、保険者支援分として軽減世帯の一般被保険者数に応じた額を、国、県分も含めて繰り入れました。

・ 職員給与費等繰入金

国民健康保険担当職員の人件費などの経費分を繰り入れました。

・ 出産育児一時金

1 件当り 42 万円の出産育児一時金の 3 分の 2 に相当する額を繰り入れました。

・ 財政安定化支援事業繰入金

保険財政の健全化と保険税負担の平準化を目的として地方財政措置されるものです。

・ その他一般会計繰入金（法定外繰入金）

県への納付金等の財源として、保険税及び法定の公費負担をしても、なお不足する額（国保特会の赤字相当）を一般会計から繰り入れました。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
保険基盤安定繰入金 (保険税軽減分)	87,032,830	△77,090	87,109,920	90,188,970
保険基盤安定繰入金 (保険者支援分)	50,834,626	△1,714,689	52,549,315	53,573,043
職員給与費等繰入金	58,368,589	△9,942,411	68,311,000	66,376,000
出産育児一時金繰入金	5,600,000	280,000	5,320,000	11,200,000
財政安定化支援事業繰入金	12,528,636	△406,275	12,934,911	12,639,652
その他一般会計繰入金	90,503,908	40,805,143	49,698,765	124,169,000
合 計	304,868,589	28,944,678	275,923,911	358,146,665

6 款 繰 越 金

決算書 P221

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
122,568,000	122,567,480	△2,660,824	125,228,304	119,760,599

■前年度繰越金

令和2年度決算剰余金として、令和3年度に繰り越されたものです。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
国県等支出金繰越金	20,071,839	△6,215,833	26,287,672	20,726,760
その他繰越金	102,495,641	3,555,009	98,940,632	99,033,839
合 計	122,567,480	△2,660,824	125,228,304	119,760,599

7 款 諸 収 入

決算書 P221

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
5,310,000	7,920,719	△2,717,270	10,637,989	11,712,006

■延滞金

国民健康保険税の納付に伴う延滞金です。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
一般被保険者延滞金	7,142,684	△658,815	7,801,499	9,739,139
退職被保険者等延滞金	0	△1,700	1,700	3,777

■町預金利子

国民健康保険特別会計の歳計現金に係る預金利子です。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
町 預 金 利 子	1,764	△209	1,973	2,237

■雑入

第三者行為により発生した保険給付に係る損害賠償金の他、不正・不当な医療に係る返納金、70歳以上の被保険者の一部負担金に係る指定公費負担分、がん検診負担金の収入です。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
一般被保険者第三者納付金	129,208	△2,149,137	2,278,345	739,664
一般被保険者返納金	100,158	△101,814	201,972	666,551
退職被保険者等返納金	0	0	0	0
指定公費負担分	0	0	0	5,108
がん検診等負担金	377,800	26,300	351,500	475,700
診療報酬等返還金	153,083	152,083	1,000	79,830
その他	16,022	16,022	-	-
合 計	776,271	△2,056,546	2,832,817	1,966,853

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
6,412,000	3,469,631	0	0	3,469,631	0

【主な実施内容】

資格管理の徹底、未申告者への申告勧奨等を実施し、適正かつ公平な賦課徴収に努めました。
また、令和3年度に予定していた令和4年度の税率等の見直しは据え置きとなりました。

■令和3年度の保険税率等

※括弧内は令和3年度標準保険税率等

区 分	医療分	支援分	介護分
所 得 割	6.17% (6.81%)	2.05% (2.44%)	1.89% (2.61%)
均 等 割	31,800円 (40,037円)	11,000円 (14,002円)	14,100円 (19,058円)
賦 課 限 度 額	630,000円	190,000円	170,000円

■世帯数

(単位 世帯、各年度末現在)

区 分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
世 帯 数	4,868	△173	5,041	5,145
うち退職者医療制度該当世帯数	0	0	0	1

※事業月報より

■被保険者数

(単位 人、各年度末現在)

区 分	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
一 般 被 保 険 者	7,250	△358	7,608	7,907
退 職 被 保 険 者 等	0	0	0	1
本 人	0	0	0	1
被 扶 養 者	0	0	0	0
合 計	7,250	△358	7,608	7,908

※事業月報より

【成 果】

適切かつ公平な課税を行いました。

一般被保険者療養給付事業

[国保・後期担当]

決算書 P228

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
2,223,996,000	2,184,531,668	0	2,184,531,668	0	0

[主な実施内容]

国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に対し、一般被保険者の療養給付費の保険者負担分(7～8割)の給付を行うものです。

(単位 円、件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
療 養 給 付 費	2,184,531,668	126,232,380	2,058,299,288	2,213,681,595
給 付 件 数	121,271	2,857	118,414	136,178
一件当たりの療養給付費	18,014	632	17,382	16,256

[成 果]

一般被保険者の療養に対して、保険医療機関や保険薬局を通じて適正な療養の給付を行いました。

退職被保険者等療養給付事業

[国保・後期担当]

決算書 P228

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
4,000	0	0	0	0	0

[主な実施内容]

国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に対し、退職被保険者等の療養給付費の保険者負担分(7割)の給付を行うものです。

(単位 円、件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
療 養 給 付 費	0	△1,239	1,239	4,637,118
給 付 件 数	0	△1	1	102
一件当たりの療養給付費	0	△1,239	1,239	45,462

[成 果]

退職被保険者等に対して、療養費の給付はありませんでした。

一般被保険者療養費支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P230

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
23,111,000	15,590,735	0	15,590,735	0	0

[主な実施内容]

国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に対し、一般被保険者の療養費に係る保険者負担分(7～8割)を支給した他、一般被保険者が作製した補装具等の費用に対して療養費の支給を行うものです。

(単位 円、件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
療 養 費	15,590,735	7,826	15,582,909	21,564,612
給 付 件 数	2,804	△32	2,836	3,734
一 件 当 り の 療 養 費	5,560	65	5,495	5,775

[成 果]

一般被保険者に対して、適正な療養費を支給しました。

一般被保険者高額療養費支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P230

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
339,319,000	327,437,649	0	327,437,649	0	0

[主な実施内容]

一般被保険者の療養給付において、自己負担額が一定の額を超えた額を高額療養費として、被保険者及び国民健康保険団体連合会を通じて各医療機関に支払うものです。

(単位 円、件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
高 額 療 養 費	327,437,649	13,665,984	313,771,665	324,581,578
給 付 件 数	5,487	△18	5,505	5,715
一 件 当 り の 高 額 療 養 費	59,675	2,677	56,998	56,795

[成 果]

一般被保険者に対して、適正な高額療養費を支給し、高額になった医療費の被保険者負担を軽減しました。

出産育児一時金支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P230

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
8,400,000	6,720,000	0	0	5,362,000	1,358,000

[主な実施内容]

被保険者の出産に対して、条例の定める額(1件42万円)を出産育児一時金として支給しました。

(単位 円、件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給額	6,720,000	840,000	5,880,000	2,098,900
支給件数	16	2	14	5

[成果]

出産育児一時金を支給することにより、被保険者の負担軽減を図りました。

葬祭費支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P230

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
3,450,000	2,800,000	0	0	289,000	2,511,000

[主な実施内容]

被保険者の死亡に伴う葬祭に対して、条例の定める額(1件5万円)を葬祭費として支給しました。

(単位 円、件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給額	2,800,000	△400,000	3,200,000	2,700,000
支給件数	56	△8	64	54

[成果]

葬祭費を支給することにより、被保険者遺族等の負担軽減を図りました。

傷病手当金支給事業

[国保・後期担当]

決算書 P232

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
562,000	561,908	0	0	0	561,908

[主な実施内容]

新型コロナウイルスに感染または感染の疑いがあり、仕事を休んだことで給与の支払いを受けられなかった方を対象に、傷病手当金を支給しました。

(単位 円、件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給額	561,908	183,875	378,033	—
支給件数	6	3	3	—

[成果]

新型コロナウイルス感染症拡大をできる限り防止するため、被保険者が感染した場合又は発熱等の症状があり感染が疑われる場合に仕事を休みやすい環境を整備し、休業中の被保険者とその家族の生活保障を図りました。

一般被保険者医療給付費分納付金納付事業

[国保・後期担当]

決算書 P232

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
580,695,000	580,694,518	1,309,000	50,354,374	86,938,822	442,092,322

[主な実施内容]

県内一般被保険者の医療費等の支払いに必要な金額を、所得水準、被保険者数、医療費水準により各市町村で按分し負担するものです。

当該納付金を財源に町が支払う医療費等を賄うための普通交付金が県から交付されます。

(単位 円)

3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
580,694,518	10,944,798	569,749,720	660,781,179

[成果]

当該納付金を納付することにより、市町村国保制度の適正な財政運営に寄与しました。

一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金納付事業

[国保・後期担当]

決算書 P232

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
214,557,000	214,556,044	437,000	18,605,091	31,650,000	163,863,953

[主な実施内容]

各医療保険者(国保・被用者保険)がそれぞれの加入者数(0歳から74歳)に応じて負担する後期高齢者支援金を、医療給付費分納付金同様に県内市町村で按分して負担するものです。

(単位 円)

3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
214,556,044	△4,609,842	219,165,886	225,347,915

[成 果]

当該納付金を納付することにより、後期高齢者医療制度の適正な財政運営に寄与しました。

介護納付金分納付金納付事業

[国保・後期担当]

決算書 P232

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
81,331,000	81,330,658	174,000	7,052,535	11,458,000	62,646,123

[主な実施内容]

各医療保険者(国保・被用者保険)がそれぞれの介護保険第2号被保険者数(40歳から64歳)に応じて負担する介護納付金を、医療給付費分納付金同様に県内市町村で按分して負担するものです。

(単位 円)

3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
81,330,658	15,198,565	66,132,093	62,794,617

[成 果]

当該納付金を納付することにより、介護保険制度の適正な財政運営に寄与しました。

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
36,870,000	30,221,316	0	11,414,000	3,748,422	15,058,894

[主な実施内容]

特定健康診査の結果に基づき、情報提供レベル、動機付け支援及び積極的支援の階層化を行いました。集団健診においては、胃がん検診、肺がん検診を同時に受診できる体制で実施しました。

特定保健指導では、動機付け支援、積極的支援の該当者に対し、管理栄養士による個別面談を実施すると共に、生活習慣の改善に取り組めるよう6ヶ月間にわたって定期的な保健指導を行い生活習慣病の予防に努めました。

■特定健康診査受診者

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
集団健診	921	158	763	1,143
個別健診	1,570	△112	1,682	1,782
計	2,491	46	2,445	2,925
受診率	45.5%	3.4%	42.1%	49.6%

※3年度の受診率は令和4年5月25日現在、2年度以前は最終報告

■特定保健指導実施者

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
積極的支援	15	9	6	3
動機付け支援	61	3	58	97
計	76	12	64	100
終了率	-	-	20.3%	26.2%

※3年度の実施者、終了率は秋ごろに確定予定、2年度以前は最終報告

■血糖コントロール教室

糖尿病に関する正しい知識の習得、食生活改善に向けた講話の実施、また、運動実技の実習を通じて、糖尿病の発症予防に向けた取り組みを行いました。

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
教室参加者	15	8	7	25

[成 果]

特定健康診査を実施することで、自己の健康管理への意識を高め、生活習慣病予防、疾病の早期発見の契機としました。また、特定保健指導、血糖コントロール教室を通じて、食生活に関する意識改革及び生活習慣の改善へのきっかけづくりが促進されました。

また、特定健康診査受診率向上に向け、健診対象者の状況を受診履歴、年代、性別、健診結果値等を基に人工知能による分析・分類し、効果的な受診勧奨を行いました。

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
30,092,000	24,634,098	0	0	3,367,800	21,266,298

[主な実施内容]

被保険者の健康管理の取組みを応援するために、人間ドックを受診された方への助成の他、がんの早期発見を目的に被保険者に係る検診費用の一部を負担しました。

生活習慣病重症化予防対策事業においては、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者に対する受診勧奨と糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い方に対する保健指導を行い、人工透析への移行防止に取り組みました。

また、ウォーキングイベントを実施し、被保険者の健康づくりを支援しました。

■各種検診等の状況

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
胃がん検診	523	85	438	643
肺がん検診	747	112	635	1,085
大腸がん検診	1,193	△95	1,288	1,460
子宮頸がん検診	243	4	239	287
乳がん検診	257	△14	271	336
人間ドック助成	297	32	265	359

■生活習慣病重症化予防対策事業

(単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
受診勧奨実施者	24	△10	34	24
保健指導参加者	4	△3	7	10

■健康ステーション事業

①秋の健康ウォーキング(保健センターと共同実施)

事業概要:誰でも取り組みやすいウォーキングを通じ、正しい歩き方や無理なく続けられるウォーキング等の講話と実技を行いました。

開催日等:令和3年10月21日(木) ぐるる宮代

参加者数:40名(内、国民健康保険加入者14名)

②桜ウォーク(保健センターと共同実施)

事業概要:桜を楽しみながら誰でも取り組みやすいウォーキングを通じ、正しい歩き方や無理なく続けられるウォーキング等の講話と実技を行いました。

開催日等:令和4年3月29日(火) ぐるる宮代

参加者数:13名(内、国民健康保険加入者13名)

[成 果]

各種検診や生活習慣病重症化予防対策事業、イベント等を通じて被保険者の健康増進、健康意識の向上に寄与しました。

3年度予算(円)	3年度決算(円)	3年度決算の財源内訳(円)			
		国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
1,867,000	1,726,622	0	0	156,000	1,570,622

[主な実施内容]

医療費の適正化、被保険者の医療費把握のため、医療費通知やジェネリック医薬品（後発医薬品）へ切り替えた場合、削減できる自己負担額を記載したお知らせを送付しました。

■ 医療費通知 発送数：年6回 延べ 23,288通

■ 「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」 発送数：年2回 延べ 320通

[成 果]

医療費通知の送付により、被保険者の健康と医療費の実情に対する認識を深めました。

また、ジェネリック医薬品の使用を促進することによって、被保険者の薬剤費の自己負担の軽減だけでなく、医療費の削減を図りました。



介 護 保 険 特 別 会 計



令和3年度宮代町介護保険特別会計決算における主要施策の成果

介護保険制度は、介護が必要になった高齢者やその家族を社会全体で支える社会保険制度であり、40歳以上の方の保険料（50%）及び公費（50%）を財源として運営しています。

令和4年3月末日現在の65歳以上の第1号被保険者は10,989人で、町総人口に占める割合は32.7%となっています。要介護等認定者（要支援1～要介護5）は、1,796人（第2号被保険者を含む総認定者数は1,839人）で、認定率は16.3%となっています。

要介護者に対しては、適切な介護サービスが受けられるよう必要な保険給付を行い、また要支援者等に対しては、市町村が中心となり地域の実情に応じて、効果的かつ効率的な支援等を行なうことを目的とする介護予防・日常生活支援総合事業によるサービス提供を行いました。また、高齢者の自立支援と重度化防止のため、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じたうえで、介護予防に関する基本的な知識の普及を目的とした介護予防教室の開催、地域で活躍するプラザサポーターの育成を行いました。さらに、地域交流サロンに対して、高齢者等の閉じこもり防止及び高齢者の元気アップを目的とした地域の居場所づくりへの支援を行いました。

令和3年度決算状況の概要ですが、歳入総額は32億967万4千円で前年度に比べ3,838万円、1.2%の増加、歳出総額は30億5,090万8千円で前年度に比べ1億3,563万千円、4.7%の増加となっています。

歳入歳出差引額は1億5,876万6千円となりましたが、翌年度において国・県支出金、支払基金交付金及び一般会計繰入金金の精算が行われることとなります。

なお、令和3年度決算における実質収支から前年度繰越金2億5,601万6千円を差し引いた単年度収支はマイナス9,725万円となりました。

歳入では、介護保険料は第8期介護保険事業計画に基づき、改定を行ったため、現年度分調定額合計は6億5,368万5千円で前年度に比べ1,324万8千円、2.1%の増となり、収入済額は6億5,099万2千円で前年度に比べ1,288万6千円、2.0%の増となりました。現年度分収納率は、特別徴収が100%、普通徴収は94.1%となりました。また、滞納繰越分の収納率については19.8%となりました。

第2号被保険者（40歳～64歳）の介護保険料である支払基金交付金は、7億1,562万1千円で、前年度に比べ1,944万円、2.8%の増となっています。

歳出では、介護サービス利用者の増加等に伴い、保険給付費が前年度に比べ5,777万5千円、2.3%の増加となっています。

また、介護保険給付費準備基金は8,532万5千円増加し、3億8,722万9千円となりました。

令和3年度 介護保険特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 介護保険料	652,768	20.4	59	13,203
2 分担金及び負担金	151	0.0	0	151
3 支払基金交付金	715,621	22.3	65	19,440
4 国庫支出金	568,419	17.7	52	2,778
5 県支出金	424,248	13.2	38	22,856
6 財産収入	309	0.0	0	232
7 繰入金	586,391	18.3	53	△ 111,951
8 繰越金	256,016	7.9	23	95,028
9 諸収入	5,751	0.2	1	△ 3,357
歳入合計	3,209,674	100.0	291	38,380

歳出の状況

款	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	104,631	3.4	9	441
2 保険給付費	2,577,891	84.5	234	57,775
3 地域支援事業費	111,136	3.6	10	4,674
4 基金積立金	157,130	5.2	14	40,846
5 公債費	0	0.0	0	0
6 諸支出金	100,120	3.3	9	31,894
7 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	3,050,908	100.0	277	135,630

歳入歳出差引額

158,766 千円

令和4年3月31日現在第1号被保険者数（2号の要介護認定者を含む）
11,032人

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
639,565	20.2	643,361	介護保険料改定による増
0	0.0	0	在宅医療・介護連携推進事業における負担金の皆増
696,181	22.0	674,868	介護保険給付費・地域支援事業費の増
565,641	17.8	511,440	介護保険給付費・地域支援事業費の増
401,392	12.7	367,855	介護保険給付費・地域支援事業費の増
77	0.0	69	介護保険給付費準備基金利子の増
698,342	22.0	617,971	保険料及び保険給付費見直しによる基金繰入金等の減
160,988	5.0	184,555	前年度繰越金の増
9,108	0.3	5,383	第三者行為に係る納付金の減
3,171,294	100.0	3,005,502	

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
104,190	3.6	111,057	認定調査事務等の増
2,520,116	86.4	2,445,740	介護（予防）サービス利用者数の増加に伴う介護保険給付費の増
106,462	3.7	100,956	地域支援事業費の増
116,284	4.0	92,677	介護保険給付費準備基金積立の増
0	0.0	0	
68,226	2.3	94,084	国・県支出金返還金の増
0	0.0	0	
2,915,278	100.0	2,844,514	

令和3年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
歳入総額 A	3,209,674	3,171,294	3,005,502
歳出総額 B	3,050,908	2,915,278	2,844,514
歳入歳出差引額 (A - B) C	158,766	256,016	160,988
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	158,766	256,016	160,988
単年度収支 F	△ 97,250	95,028	△ 23,567
積立金 G	157,130	116,284	92,677
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	71,804	156,936	109,141
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 11,924	54,376	△ 40,031

2 基金の現在高

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
介護保険給付費準備基金	387,229	301,904	342,556

3 被保険者数の状況

(単位 人)

	3年度	2年度	元年度
第1号被保険者	10,989	10,982	10,921
第2号被保険者(認定者数)	43	41	45
合計	11,032	11,023	10,966

4 介護サービス利用状況

(単位 人)

	3年度	2年度	元年度
居宅介護サービス利用者	995 (11,963)	967 (11,396)	950 (11,154)
地域密着型サービス利用者	158 (1,893)	163 (1,901)	152 (1,809)
施設介護サービス利用者	289 (3,325)	284 (3,426)	282 (3,402)
第1号事業サービス利用者	135 (1,682)	124 (1,469)	122 (1,318)
合 計	1,577 (18,863)	1,538 (18,192)	1,506 (17,683)

※令和4年3月利用者数(第2号被保険者含む)。()内は延べ人数。

5 職員数等の状況

	3年度	2年度	元年度
(一般職員) 職員数	11人	13人	13人
(一般職員) 平均年齢	40.03歳	41.08歳	43.03歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	288,218円	290,800円	297,777円

1 款 介 護 保 険 料

決算書 P251

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
688,028,000	652,768,320	13,203,863	639,564,457	643,361,685

保険料の改定に伴い、対前年比 2.1% の増となりました。

■現年度分特別徴収保険料

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
調 定 額	604,124,500	11,829,300	592,295,200	592,765,500
収 入 済 額	604,370,100	11,278,000	593,092,100	593,416,200
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	0	0	0	0
還 付 未 済 額	245,600	△551,300	796,900	650,700
収 納 率	100.0%	0.1ポイント	100.1%	100.1%

※令和 3 年度の特別徴収還付未済件数は 4 4 件です。

■現年度分普通徴収保険料

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
調 定 額	49,560,600	1,418,700	48,141,900	51,070,300
収 入 済 額	46,621,650	1,608,000	45,013,650	47,177,185
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	2,953,750	△252,750	3,206,500	3,972,415
還 付 未 済 額	14,800	△63,450	78,250	79,300
収 納 率	94.1%	0.6ポイント	93.5%	92.4%

※令和 3 年度の普通徴収還付未済件数は 6 件です。

■現年度分合計（特別徴収保険料及び普通徴収保険料）

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
調 定 額	653,685,100	13,248,000	640,437,100	643,835,800
収 入 済 額	650,991,750	12,886,000	638,105,750	640,593,385
不 納 欠 損 額	0	0	0	0
収 入 未 済 額	2,953,750	△252,750	3,206,500	3,972,415
還 付 未 済 額	260,400	△614,750	875,150	730,000
収 納 率	99.6%	0ポイント	99.6%	99.5%

■滞納繰越分普通徴収保険料

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
調 定 額	8,967,368	△212,007	9,179,375	11,926,310
収 入 済 額	1,776,570	317,863	1,458,707	2,768,300
不 納 欠 損 額	4,179,290	2,214,590	1,964,700	3,970,100
収 入 未 済 額	3,011,508	△2,214,590	5,760,268	5,208,610
還 付 未 済 額	0	△4,300	4,300	20,700
収 納 率	19.8%	3.9ポイント	15.9%	23.2%

滞納繰越に係る収納率は対前年比3.9ポイント増加しました。

2款 分担金及び交付金

決算書 P251

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
462,000	150,779	150,779	0	0

令和3年度は、宮代町が「蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療介護連携推進事業」の代表幹事であったため、蓮田市、白岡市からの負担金を収入しました。

3款 支払基金交付金

決算書 P251

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
778,656,0000	715,621,000	19,440,000	696,181,000	674,868,000

40歳から64歳までの第2号被保険者の介護保険料については、社会保険診療報酬支払基金が取りまとめを行い、町に交付されます。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
介護給付費交付金				
現年度分	701,591,000	16,975,000	684,616,000	664,243,000
地域支援事業支援交付金				
現年度分	14,030,000	2,465,000	11,565,000	10,625,000
合 計	715,621,000	19,440,000	696,181,000	674,868,000

4款 国庫支出金

決算書 P251

3年度予算	3年度決算A	増 減 A-B	2年度決算B	元年度決算
596,343,000	568,419,217	2,777,904	565,641,313	511,440,443

介護給付費等の増に伴い、国庫負担金は増加しましたが、調整交付金の減により、国庫補助金は減少しました。

また、令和3年度は、町内事業所の施設整備補助のための地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の交付を受けました。

(単位 円)

	3年度A	増 減 A-B	2年度B	元年度
国庫負担金	488,025,102	28,111,836	459,913,266	425,420,000
国庫補助金	80,394,115	△25,333,932	105,728,047	86,020,443
合 計	568,419,217	2,777,904	565,641,313	511,440,443

■国庫負担金

- ・現年度分介護給付費負担金（負担率 施設分 15/100 その他分 20/100） 488,025,102 円

■国庫補助金

- ・調整交付金 32,064,000 円
- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）（交付率 25/100） 10,957,800 円
- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業）
（交付率 38.5/100） 22,722,315 円
- ・保険者機能強化推進交付金 3,152,000 円
- ・介護保険保険者努力支援交付金 2,737,000 円
- ・介護保険事業費補助金（交付率 50/100） 794,000 円
- ・介護保険災害等臨時特例補助金 237,000 円
- ・地域介護・福祉空間推進交付金 7,730,000 円

5款 県支出金

決算書 P255

3年度予算	3年度決算A	増 減 A-B	2年度決算B	元年度決算
429,600,000	424,248,156	22,856,530	401,391,626	367,854,545

介護給付費等の増に伴い、県負担金が増加しました。また、地域支援事業費の増により、県補助金も増加しています。

(単位 円)

	3年度A	増 減 A-B	2年度B	元年度
県負担金	406,382,699	22,344,471	384,038,228	351,331,304
県補助金	17,856,657	525,259	17,331,398	16,514,521
県委託金	8,800	△13,200	22,000	8,720
合 計	424,248,156	22,856,530	401,391,626	367,854,545

■**県負担金**

- ・現年度分介護給付費負担金（負担率 施設分 17.5/100 その他分 12.5/100） 406,382,699 円

■**県補助金**

- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）（交付率 12.5/100） 6,495,500 円
- ・地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業）
（交付率 19.25/100） 11,361,157 円

■**県委託金**

- ・生活保護介護扶助審査判定業務委託金 8,800 円

6 款 財 産 収 入

決算書 P255

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
310,000	308,641	231,323	77,318	68,969

介護保険給付費準備基金から生じる預金利子です。

7 款 繰 入 金

決算書 P255

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
586,558,000	586,391,300	△111,951,100	698,342,400	617,970,700

■**介護給付費繰入金**

介護保険事業計画における介護給付費の減に伴い、町負担金が減となりました。

- ・介護給付費繰入金（負担率 12.5/100）

（単位 円）

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
介護給付費繰入金	354,342,000	△18,122,000	372,464,000	348,391,000

■**地域支援事業繰入金**

介護予防・日常生活支援総合事業、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援総合事業の事業費の増加に伴い、増となりました。

（単位 円）

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
介護予防・日常生活 支 援 総 合 事 業	6,496,000	204,000	6,292,000	5,456,000
介護予防・日常生活 支 援 総 合 事 業 以 外 の 地 域 支 援 事 業	12,200,000	23,000	12,177,000	12,171,000

■**その他一般会計繰入金**

人事異動等により、職員給与費繰入金が減少しました。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
職員給与費繰入金	72,728,000	△12,813,000	85,541,000	91,729,000
事務費繰入金	17,232,000	2,268,000	14,964,000	13,554,000
認定事務費繰入金	22,724,000	633,000	22,091,000	21,492,000
一時借入金利子繰入金	59,000	0	59,000	59,000
合 計	112,743,000	△9,912,000	122,655,000	126,834,000

■低所得者保険料軽減繰入金

公費による保険料軽減が強化されたことによる低所得者分（保険料第1段階から第3段階）の軽減相当額を繰り入れたものです。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
低所得者保険料軽減繰入金	28,806,300	987,900	27,818,400	15,977,700

■基金繰入金

前年度の介護保険料収入の余剰金を積み立てた介護保険給付費準備基金から、保険給付費の財源として繰り入れたものです。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
介護保険給付費準備基金繰入金	71,804,000	△85,132,000	156,936,000	109,141,000

8 款 繰 越 金

決算書 P257

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
256,017,000	256,016,247	95,028,466	160,987,781	184,555,134

前年度から繰り越された決算剰余金です。

9 款 諸 収 入

決算書 P259

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
6,756,000	5,751,300	△3,356,785	9,108,085	5,382,481

令和2年度に収入のあった第三者行為に係る納付金が本年度はなかったため、雑入が減となりました。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
町 預 金 利 子	4,843	1,025	3,818	3,910
収 益 事 業 収 入	0	0	0	112,136
延滞金、加算金及び過料	73,100	38,600	34,500	222,300
雑 入	5,673,357	△3,396,410	9,069,767	5,044,135
合 計	5,751,300	△3,356,785	9,108,085	5,382,481

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,046,000	3,793,013	0	0	0	3,793,013	0

[主な実施内容]

介護保険制度の財源として、65歳以上の第1号被保険者の方に前年中の所得等に応じて、介護保険料の賦課徴収を行いました。特別徴収（年金天引き）該当の方には、3月、5月、7月に特別徴収開始通知書、普通徴収（納付書払い、口座振替）該当の方には、4月に普通徴収暫定賦課通知書、8月に普通徴収納入通知書を発送しました。

■介護保険第1号被保険者数の推移

・特別徴収対象者数（年度末現在・併徴者を含む） (単位 人)

	3年度	2年度	元年度
第1段階	1,169	1,199	1,188
第2段階	586	560	548
第3段階	514	488	506
第4段階	1,632	1,712	1,744
第5段階	1,602	1,538	1,489
第6段階	1,494	1,539	1,453
第7段階	1,665	1,544	1,558
第8段階	790	797	776
第9段階	232	318	297
第10段階	198	187	177
第11段階	123	144	145
合計	10,005	10,026	9,881

・特別徴収対象者調定額 (単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
調定額	604,124,500	11,829,300	592,295,200	592,765,500

・普通徴収対象者数（年度末現在・併徴者を含む） (単位 人)

	3年度	2年度	元年度
第1段階	267	286	281
第2段階	19	10	14
第3段階	10	11	23
第4段階	200	224	248
第5段階	17	24	30
第6段階	140	137	148
第7段階	127	107	115
第8段階	86	84	89
第9段階	28	46	38
第10段階	44	44	46
第11段階	49	50	49
合計	987	1,023	1,081

・普通徴収対象者調定額

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
調 定 額	49,560,600	1,418,700	48,141,900	51,070,300

介護保険第1号被保険者数 (年度末現在の賦課対象者数)

(単位 人)

	3年度	2年度	元年度
第 1 段 階	1,437	1,485	1,469
第 2 段 階	605	569	562
第 3 段 階	523	497	526
第 4 段 階	1,829	1,933	1,989
第 5 段 階	1,614	1,558	1,511
第 6 段 階	1,630	1,674	1,595
第 7 段 階	1,791	1,646	1,668
第 8 段 階	876	881	858
第 9 段 階	260	363	330
第 10 段 階	241	229	219
第 11 段 階	172	190	192
合 計	10,978	11,025	10,919

・現年度分調定額 (特別徴収保険料及び普通徴収保険料)

(単位 円)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
調 定 額	653,685,100	13,248,000	640,437,100	643,835,800

[成 果]

徴収強化期間(10月から12月及び2月)を定め、集合催告書の発布を行い、窓口での納付相談、電話催告を実施したことで現年度普通徴収分の徴収率が0.6ポイント向上し、財源確保を図りました。

介護認定審査会運営事業

[介護保険担当]

決算書 P264

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,531,000	11,874,355	0	8,800	0	11,865,555	0

[主な実施内容]

介護保険法に基づき、介護認定審査会を設置し、介護認定の審査判定を行いました。

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
開催回数	49	1	48	48
申請人数	1,483	206	1,277	1,403
二次判定結果	非該当	1	4	4
	要支援 1	199	59	140
	要支援 2	213	54	159
	要介護 1	319	21	298
	要介護 2	226	9	217
	要介護 3	185	21	164
	要介護 4	174	16	158
	要介護 5	152	26	126

※区分変更却下 7
取消 3

※区分変更却下 9
取下 2

※区分変更却下 5
取下 3

[成 果]

保健・医療・福祉の各専門分野より選出された委員で組織する介護認定審査会において、適正かつ公平な要介護認定を行いました。

認定調査事業

[介護保険担当]

決算書 P264

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
9,216,000	8,028,802	0	0	0	8,028,802	0

[主な実施内容]

要介護認定申請者の訪問調査を行い、心身の状況を正確に把握しました。

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
新規申請数	458	46	412	383
更新申請数	824	122	702	877
変更申請数	190	27	163	143
合計	1,472	195	1,277	1,403

[成 果]

町の訪問調査及び委託調査により、適正な認定審査の実施に繋がりました。

居宅介護サービス給付事業

[介護保険担当] 決算書 P266

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,079,287,000	1,009,575,079	201,915,015	126,196,884	0	681,463,180	0

[主な実施内容]

要介護認定となった在宅の被保険者に対し、居宅サービス費用を保険給付しました。

- ・介護サービス利用件数 (単位 件)

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
訪問 サービス	訪問介護	2,690	111	2,579	2,611
	訪問入浴	341	48	293	262
	訪問看護	1,208	239	969	1,010
	訪問リハビリテーション	654	96	558	434
通所 サービス	通所介護	3,287	295	2,992	3,194
	通所リハビリテーション	2,246	△77	2,323	2,601
短期入所 サービス	短期入所生活介護	818	73	745	814
	短期入所療養介護	68	△17	85	132

[成 果]

居宅サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

地域密着型介護サービス給付事業

[介護保険担当] 決算書 P266

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
357,736,000	294,052,497	58,810,499	36,756,562	0	198,485,436	0

[主な実施内容]

高齢者が中重度の要介護状態に移行後も、可能な限り住み慣れた自宅・地域で生活を継続できるように、町が事業所の指定を行い、地域密着型介護サービス費用を保険給付しました。

- ・地域密着型介護サービス利用件数 (単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
小規模多機能型居宅介護	167	△12	179	176
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	378	△27	405	409
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	351	3	348	346
夜間対応型訪問介護	11	5	6	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	98	△1	99	41
地域密着型通所介護	871	△9	880	870

[成 果]

地域密着型サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

施設介護サービス給付事業

[介護保険担当] 決算書 P268

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,007,707,000	915,268,356	137,290,253	160,171,962	0	617,806,141	0

[主な実施内容]

要介護認定となった施設入所の被保険者に対し、施設介護サービス費用を保険給付しました。

・施設介護サービス利用者数(3月審査分) (単位 人)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
介護老人福祉施設	187 (2,229)	7 (17)	180 (2,212)	179 (2,126)
介護老人保健施設	90 (1,093)	△4 (△52)	94 (1,145)	100 (1,220)
介護療養型医療施設	3 (36)	0 (△34)	3 (70)	6 (64)

() 内は年度延べ人数

[成 果]

施設介護サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

居宅介護福祉用具購入費給付事業

[介護保険担当] 決算書 P268

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,037,000	3,505,958	701,191	438,244	0	2,366,523	0

[主な実施内容]

要介護認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための福祉用具の購入費用として、年10万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給件数(件)	120	14	106	110
支給総額(円)	3,505,958	361,054	3,144,904	2,811,403
支給者一人あたりの支給額(円)	29,216	△453	29,669	25,558

[成 果]

在宅生活の自立支援を実施するために、腰掛・補高便座、浴槽台、浴槽用手すり、入浴用いす等の購入費を保険給付しました。

居宅介護住宅改修費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P268

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
13,671,000	8,519,964	1,703,992	1,064,995	0	5,750,977	0

[主な実施内容]

要介護認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための住宅改修の費用として、1住宅につき20万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給件数(件)	90	2	88	81
支給総額(円)	8,519,964	△1,189,842	9,709,806	8,344,055
支給者一人あたりの支給額(円)	94,666	△15,673	110,339	103,013

[成 果]

在宅生活の自立支援を実施するために、手すりの取り付けや段差解消、滑り止め、引き戸への変更等の費用を保険給付しました。

居宅介護サービス計画給付事業

[介護保険担当]

決算書 P268

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
125,782,000	124,549,061	24,909,812	15,568,632	0	84,070,617	0

[主な実施内容]

居宅介護支援事業所に対し、要介護認定となった在宅被保険者の介護サービス計画作成にかかる費用を保険給付しました。

・介護サービス計画利用件数

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
3月分	745 (9,073)	20 (337)	725 (8,736)	702 (8,673)

() 内は年度延べ件数

[成 果]

居宅介護支援事業所への情報提供等により、効果的なケアプラン作成支援とサービス計画費の給付を行いました。

介護予防サービス給付事業

[介護保険担当]

決算書 P268

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
60,337,000	50,441,378	10,088,275	6,305,172	0	34,047,931	0

[主な実施内容]

要支援認定となった在宅の被保険者に対し、介護予防サービス費用を保険給付しました。

・介護予防サービス利用件数

(単位 件)

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
訪問 サービス	介護予防訪問看護	153	31	122	79
	介護予防訪問 リハビリテーション	66	△15	81	57
通所 サービス	介護予防通所 リハビリテーション	745	42	703	784
短期入所 サービス	介護予防短期入所介護	11	△5	16	31
	介護予防短期入所療養介護	1	1	0	1

[成 果]

介護予防サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

地域密着型介護予防サービス給付事業

[介護保険担当]

決算書 P270

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,226,000	3,786,198	757,239	473,274	0	2,555,685	0

[主な実施内容]

要支援状態になっても、可能な限り住み慣れた自宅・地域で生活を継続できるように、町が事業所の指定を行い、地域密着型介護予防サービス利用者への適切なサービス給付しました。

・地域密着型介護予防サービス利用件数

(単位 件)

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
介護予防小規模多機能型居宅介護		25	8	17	0
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)		12	0	12	0

[成 果]

地域密着型介護予防サービス利用者の適切なサービス給付を行いました。

介護予防福祉用具購入費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P270

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
896,000	498,400	99,680	62,300	0	336,420	0

[主な実施内容]

要支援認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための福祉用具の購入費用として、年10万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給件数(件)	23	△7	30	24
支給総額(円)	498,400	△208,089	706,489	472,575
支給者一人あたりの支給額(円)	21,670	△1,880	23,550	19,691

[成果]

在宅生活の自立支援を実施するために、腰掛・補高便座、浴槽台、入浴用いす等の購入費を保険給付しました。

介護予防住宅改修費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P270

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,158,000	4,555,717	911,143	569,464		3,075,110	0

[主な実施内容]

要支援認定となった被保険者に対し、在宅での日常生活の自立を助けるための住宅改修の費用として、1住宅につき20万円までを利用限度額とし、そのうちの9割、8割または7割を保険給付しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給件数(件)	40	△1	41	38
支給総額(円)	4,555,717	△125,676	4,681,393	4,276,052
支給者一人あたりの支給額(円)	113,893	△287	114,180	112,528

[成果]

在宅生活の自立支援を実施するために、手すりの取り付けや段差解消、滑り止め、引き戸への変更等の費用を保険給付しました。

介護予防サービス計画給付事業

[介護保険担当] 決算書 P270

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,610,000	8,609,109	1,721,821	1,076,138	0	5,811,150	0

[主な実施内容]

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に対し、要支援認定となった在宅被保険者の介護予防サービス計画作成にかかる費用を保険給付しました。

・介護予防サービス計画利用件数 (単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
3月分	149 (1,821)	8 (117)	141 (1,704)	133 (1,632)

() 内は年度延べ件数

[成 果]

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への情報提供等により効果的なケアプランの作成を支援とサービス計画費(介護予防支援分)を給付しました。

高額介護サービス費給付事業

[介護保険担当] 決算書 P272

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
62,727,000	62,726,744	12,545,348	7,840,843	0	42,340,553	0

[主な実施内容]

介護保険のサービスを利用し、その利用者負担額が高額になった場合、所得段階に応じて定められた上限を超える利用者負担額分の費用を給付しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ支給人数(人)	1,615	△362	1,977	1,872
支給総額(円)	62,726,744	△3,001,513	65,728,257	56,505,600
支給者一回あたりの支給額(円)	38,840	5,594	33,246	30,185

[成 果]

介護保険のサービス利用者のうち、所得段階ごとに定められた限度額を超えた利用者負担額となった方の経済的負担軽減を図ることができました。

特定入所者介護サービス費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P272

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
86,824,000	81,223,820	16,244,764	10,152,977	0	54,826,079	0

[主な実施内容]

要介護認定となった被保険者の施設入所及び短期入所の際に自己負担となる居住費（滞在費）、食費について、一定の要件を満たした低所得の方は負担限度額が設定され、限度額を超えた分は特定入所者介護サービス費として保険給付しました。

・利用件数

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
食 費	2,249	△240	2,489	2,486
居住費（滞在費）	2,266	△237	2,503	2,331

[成 果]

施設入所等における負担軽減を図りました。

特定入所者介護予防サービス費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P272

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
500,000	25,104	5,020	3,138	0	16,946	0

[主な実施内容]

要支援認定となった被保険者の短期入所の際に自己負担となる居住費（滞在費）、食費について、一定の要件を満たした低所得の方は負担限度額が設定され、設定限度額を超えた分は特定入所者介護予防サービス費として保険給付するものです。

・利用件数

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
食 費	3	△5	8	1
居住費（滞在費）	3	△5	8	1

[成 果]

施設入所等における負担軽減を図りました。

高額医療合算介護サービス費給付事業

[介護保険担当]

決算書 P272

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,931,000	8,930,239	1,786,047	1,116,279	0	6,027,913	0

[主な実施内容]

介護保険と医療保険の両方の利用者負担が高額になった場合に、その合計額が所得段階に応じて定められた上限を超える分の費用を給付しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支給延べ人数 (人)	279	34	245	231
支給総額 (円)	8,930,239	1,224,316	7,705,923	7,340,955

[成 果]

対象者の経済的負担軽減を図りました。

介護予防生活支援サービス事業

[高齢者支援担当]

決算書 P274

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
36,308,000	32,239,984	12,976,593	4,029,998	0	15,233,393	0

[主な実施内容]

要支援認定・事業対象者となった在宅の被保険者に対し、第1号事業（第1号訪問事業・第1号通所事業）費用を給付しました。

・第1号事業（第1号訪問事業・第1号通所事業）サービス利用件数 (単位 件)

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
第1号 訪問事業	介護予防訪問介護相当 (現行相当)	590	△58	648	614
	訪問型サービスA (基準緩和型)	0	0	0	6
第1号 通所事業	介護予防通所介護相当 (現行相当)	1,035	115	920	827
	通所型サービスA (基準緩和型)	57	8	49	36

[成 果]

第1号事業サービス利用者への適切なサービス給付を行いました。

介護予防ケアマネジメント事業

[高齢者支援担当]

決算書 P274

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,360,000	4,949,855	1,860,650	618,731	0	2,470,474	0

[主な実施内容]

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に対し、要支援認定・事業対象者となった在宅被保険者の介護予防ケアマネジメント作成にかかる費用を給付しました。

・介護予防ケアマネジメント利用件数

(単位 件)

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
3月分	87 (1,047)	△2 (40)	89 (1,007)	81 (803)

() 内は年度延べ件数

[成 果]

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への調整や情報提供等により効果的なケアプラン作成を支援し、介護予防ケアマネジメント作成費を給付しました。

介護予防普及啓発事業

[高齢者支援担当]

決算書 P274

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,971,000	2,463,475	538,269	301,775	0	1,623,431	0

[主な実施内容]

■口腔機能の向上プログラム「健口教室」

62,000円

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
実施コース数(回)	5 (10)	2 (5)	3 (5)	3 (6)
参加実人数(人)	10 (20)	4 (10)	6 (10)	5 (10)

() 内は延べ数

2日間コースを5コース実施しました。

[成 果]

口腔機能が低下している方や低下のおそれがあると判断した方を対象に、口腔ケアの必要性、摂食・嚥下機能訓練や口腔衛生指導等を行い、口腔機能の維持向上を図りました。

■「おたっしや元気塾」

2,391,400 円

	3 年度 A	増減 A-B	2 年度 B	元年度
会 場 (箇所)	3	△1	4	4
実 施 回 数 (回)	5 (70)	— (20)	ますます元気塾 7 はじめて元気塾 6 (50)	ますます元気塾 12 はじめて元気塾 10 (77)
参 加 人 数 (人)	134 (500)	22 (4)	112 (496)	175 (2,124)
ボランティア参加人数 (人)	2 (3)	△3 (△34)	5 (37)	6 (144)

() 内は延べ数

後期高齢者のフレイル対策のため、「ますます元気塾」と「はじめて元気塾」のプログラムを見直し、「おたっしや元気塾」に改称しました。

65歳以上の一般高齢者を対象に1クール5回の教室で、体力に自信がない方向けの簡単な体操に加え、口腔機能向上、栄養、認知症予防について指導を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度より、会場あたりの人数を減らして実施しています。

[成 果]

自宅で簡単に取り組める運動と口腔ケアや栄養について、基本的な知識と実技を学び、講座終了後も自主的に介護予防が継続できるよう、普及啓発を図りました。

地域介護予防活動支援事業

[高齢者支援担当] 決算書 P274

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,277,000	2,341,891	724,815	292,736	0	1,324,340	0

[主な実施内容]

■プラザサポーター養成講座 470,580円

12日間コースを1コース実施しました。()内は延べ数

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
実施回数(回)	12	△5	17	20
参加実人数(人)	6 (52)	2 (△5)	4 (57)	7 (120)

[成 果]

地域で、いきいき百歳体操等の介護予防体操やフレイル予防の普及啓発を行う人材を育成するために、プラザサポーター養成講座を実施し、4人が修了しました。

■地域のふれあい居場所づくり支援事業補助金 347,677円

地域交流サロン・健康づくり団体に対し、地域のふれあい居場所づくり支援事業補助金(備品補助・施設利用料)を交付しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
備品補助	146,677円(7)	34,125(△1)	112,552円(8)	607,939円(11)
施設利用	201,000円(9)	78,200(±0)	122,800円(9)	121,600円(8)

()内は交付団体数

[成 果]

地域での集いの場の活動促進につながりました。

認知症高齢者見守り事業

[高齢者支援担当] 決算書 P276

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
225,000	10,963	4,220	2,110	0	4,633	0

[主な実施内容]

■GPS位置情報発信機の貸与 10,963円

徘徊高齢者等を在宅で介護する方に対して、探索用のGPS位置情報発信機を貸与しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用者数(人)	2	1	1	2
位置情報取得回数(件)	0	0	0	0

[成 果]

徘徊高齢者等の早期発見、安全確保並びに介護者の身体的・精神的負担の軽減を図りました。

介護給付等費用適正化事業

[介護保険担当] 決算書 P276

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
896,000	459,429	176,880	88,440	0	194,109	0

[主な実施内容]

①介護給付費通知の送付(年2回) 令和3年 7月 対象者 1,564名
令和3年12月 対象者 1,571名

②ケアプランの点検確認指導

実施日 令和4年1月

対 象 町内居宅介護支援事業所所属の介護支援専門員(ケアマネジャー)

4事業所

③要介護認定調査票の点検

1,472件

[成 果]

利用者に対する適切な介護サービスの確保を目的として、「みやしろ健康福祉プラン」に定められた介護給付の適正化事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症のため訪問による住宅改修・福祉用具購入点検は行いませんでした。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
22,633,000	18,512,037	4,709,462	2,354,731	0	11,447,844	0

[主な実施内容]

■高齢者等給食配食サービスの実施 15,901,715円

一人暮らしの高齢者等に対して自宅へ週3回、夕食の宅配を行い、安心して自立生活が送れるよう支援しました。

委託先：公益社団法人宮代町シルバー人材センター

(内訳) 調理業務：社会福祉法人みつなみ会特別養護老人ホームみどりの森

配送業務：公益社団法人宮代町シルバー人材センター

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ利用者数(人)	1,305	81	1,224	1,119
延べ調理食数(食)	14,471	828	13,643	11,866
委託料(円)	15,901,715	1,053,250	14,848,465	12,373,558

[成 果]

高齢者や心身に障がいのある方の食生活の改善及び健康の増進とともに、配達員からの食事の宅配を通じて、地域社会との交流と高齢者の見守りを図りました。

■介護相談事業の実施 1,495,325円

介護保険制度利用者の日常的な不平、不安、疑問を受け付け、問題の発見や提起、解決策の提案などを通じて、苦情が発生することを未然に防ぐとともに、介護サービスの質の向上を図るため、介護サービス相談員による被保険者への電話相談を実施しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
介護サービス相談員	3	0	3	4
施設訪問(延べ回数)	0	△4	4	156
施設訪問(延べ人数)	0	△178	178	8,230
電話相談・ 対面相談(延べ人数)	451	200	251	0
連絡会議	12	3	9	12

[成 果]

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため電話による相談を中心に取り組みました。被保険者ご本人からの相談のほか、家族からの相談についても対応しました。

■緊急時通報システム機器設置及び運用 1,086,947円

おおむね65歳以上の一人暮らしで、転倒や発作を起こす可能性のある持病(心臓・脳血管・

肺の病気など)のある方で緊急時通報システムの利用が必要と判断した場合に専用機器を設置します。自宅で急病・事故などの際に、無線発信機や緊急通報専用機器を利用すると、緊急通報センターから必要に応じて消防本部に連絡され、速やかな救助活動が行われます。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
利用者数(人)	77	△2	79	75
新規設置台数(件)	8	△10	18	12

[成 果]

緊急時通報システムにより、24時間体制での見守り、緊急時に迅速かつ的確な対応ができる体制が確保でき、9件の緊急要請に対して8件の救急搬送が行われ、必要な治療につなげました。

家族介護継続支援事業

[高齢者支援担当] 決算書 P276

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,503,000	12,646,581	4,384,569	2,192,917	0	6,069,095	0

[主な実施内容]

■介護用品の支給

令和3年度に支給要件の変更を行い、要介護3～5の認定を受け、本人非課税の方のうち在宅で介護を受け、介護用品が必要と認めた方に各種介護用品(紙おむつ、尿取りパット、介護用手袋、介護用ぬれタオル、清拭剤、ドライシャンプー)を宅配により支給しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
延べ支給人数(人)	3,469	△214	3,683	3,269
支給総額(円)	11,335,743	6,445	11,329,298	10,133,018

[成 果]

在宅において排泄等の介護を必要とする高齢者及び家族等の介護者の経済的負担、身体的・精神的な負担を軽減しました。

地域包括支援センター運営管理事業

[高齢者支援担当] 決算書 P278

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
31,860,000	31,281,637	10,438,682	5,217,777	0	15,625,178	0

[主な実施内容]

■地域包括支援センターの適正な運営管理

地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、包括的に支援を実施する地域包括支援センターについて、その運営を平成31年4月から町内の社会福祉法人に委託し

ました。適正な運営管理を行うため、業務内容について事業評価を実施するとともに、介護保険事業運営協議会を開催し意見を聴取しました。

・地域包括支援センターの運営状況

		3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
介護予防ケアプラン作成（件）		119	27	92	43
総合相談（件）		3,688	△386	4,074	4,201
相談内容の内訳（件）	介護保険・介護サービスに関する相談	3,315	554	2,761	2,824
	福祉サービスに関する相談	81	△120	201	209
	認知症に関する相談	49	△4	53	67
	権利擁護に関する相談	8	△101	109	120
	その他の相談	107	△441	548	547
	見守り等	128	△274	402	434
地域訪問（件）		611	214	397	438
事業所（ケアマネジャー等）からの相談（件）		284	△60	344	412

[成 果]

民間の持つノウハウや柔軟性により、実務経験を積んだ専門職が介護・福祉・健康・医療など、様々な面から支援を行いました。高齢者やその家族、事業者等からの相談に迅速に対応し、介護保険サービスや町福祉制度等に繋げ、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けられるよう努めました。

在宅医療・介護連携推進事業

[高齢者支援担当]

決算書 P278

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,570,000	1,599,924	615,970	307,985	0	675,969	0

[主な実施内容]

■在宅医療・介護連携に関する関係団体等との連携

蓮田市・白岡市とともに在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定を締結し、地域の医療・介護資源の実態把握、在宅医療・介護関係者の関係づくり及び関係者の研修会や連携会議を開催し、スキルアップや情報共有を図りました。

また、久喜市・蓮田市・白岡市とともに南埼玉郡市医師会へ在宅医療・介護連携拠点等を委託し、地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談を受付けるとともに、入院ルールの作成に向けた準備を行い、切れ目なく在宅医療・在宅介護が提供される体制づくりを進めました。

[成 果]

医療機関・介護事業所が参加する研修会をオンライン形式で開催し、情報の共有、顔の見える関

係づくりを行い、在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を図ることで、住み慣れた地域で生活を
 なえるよう支援しました。

生活支援体制整備事業

[高齢者支援担当]

決算書 P278

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,577,000	4,374,682	2,250,336	810,628	0	1,313,718	0

[主な実施内容]

■生活支援コーディネーターの委託

地域の様々な支え合い活動をつなげ、組み合わせるコーディネート機能を担う生活支援コーディネーターを宮代町社会福祉協議会に委託し、主に地域情報の把握、情報発信を行い、生活支援体制整備推進会議（協議体）にて、ファシリテーター等会議運営の補佐役として活動しました。

■生活支援体制整備推進会議（協議体）の開催

生活支援の担い手育成の進め方や担い手が活躍する機会をつくるための話し合いの場を対面・オンライン併用により7月から3月まで隔月開催しました。目指す地域像を決め、地域で見つけた支え合い・助け合いを共有することを中心に行いました。

■地域活動情報誌の発行・送付

6月、10月、11月、2月に地域デビュー応援情報誌「縁じょい」通信を発行。身近な活動に興味を持った方（毎回約420人）に送付し、身近な活動への参加促進、意欲の醸成に寄与しました。

■認定ヘルパー養成講座の実施

平成29年4月から従事者（ヘルパー）要件を緩和した訪問型サービスAの提供が開始され、当該事業に従事することができる資格取得のための認定ヘルパー養成研修を11月に開催し、6名が認定を受けました。

■地域活動PR事業

12月の障がい者週間に行われた西原自然の森フェスタ期間中に、縁じょい交流会「手話ダンス×健康体操」「半身麻痺で踊る奇跡のダンサー ダンス講座」「作業療法士による介護予防体操」、シニアはじめて講座「スマートフォン体験会」を行いました。

[成 果]

協議体による会議を5回開催し、協議体の目指す地域像を「世代を超えた支え合いの宮代町～向こう三軒両隣・心つながる小さなサポート大きな幸せ・笑顔溢れてずっと住みたい～」に決める一体感を高めました。令和4年度以降、情報発信に重きを置き、地域活動に参加することの大切さや支え合い・助け合いの大切さなどを広めていくことの準備ができました。また、日本工業大学・町・社協が連携し、「認知症の方にやさしいまちづくりミーティング」を月に一度開催し、ヘルプマークの広報掲載、講演会の開催などを行いました。

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
365,000	126,000	48,510	24,255	0	53,235	0

[主な実施内容]

■ 認知症地域支援推進員の配置

地域包括支援センターもみの木の職員1名、高齢者支援担当職員1名が認知症地域支援推進員として認知症の人やその家族、ケアマネジャー等からの相談に対応しました。

■ 認知症初期集中支援チームの設置

認知症初期集中支援チームの設置は、平成30年1月から白岡市の認知症専門病院に委託しました。

	3年度 A	増減 A-B	2年度 B	元年度
支援対象ケース (件)	0	0	0	1
支援対象外ケース (件)	0	0	0	0

[成 果]

認知症初期集中支援チームでの支援対象ケースはありませんでしたが、医療機関への受診につながるよう支援しました。認知症の早期対応、早期診断に向けた支援体制の充実に努めました。



後期高齢者医療特別会計



令和3年度宮代町後期高齢者医療特別会計決算における主要施策の成果

令和3年度の歳入総額は5億4,416万6千円で、前年度に比べ1,339万7千円、率にして2.5%の増、歳出総額は5億4,056万7千円で、前年度に比べ1,395万9千円、率にして2.7%の増となり、令和3年度宮代町後期高齢者医療特別会計決算における収支差引額は359万9千円となりました。

歳入の主な財源となる保険料収入済額は、前年度に比べ1,014万3千円、率にして2.4%増加しました。収納対策においては、納付方法として口座振替、コンビニエンスストアでの収納、スマホ決済(PayB)を設け納付しやすい環境を整え、新規被保険者に対しては口座振替申込みの促進を図りました。また、保険料未納の被保険者に対しては電話や書面での催告、納付相談を行い、滞納の解消に努めた結果、収納率は現年度分で99.9%となりました。

引き続き適正かつ公平な保険料の賦課徴収に取り組んでまいります。

令和3年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 後期高齢者医療保険料	428,031	78.7	73	10,143
2 国庫支出金	0	0.0	0	△ 112
3 繰入金	111,711	20.5	19	5,296
4 諸収入	263	0.1	0	△ 130
5 繰越金	4,161	0.7	1	△ 1,800
歳入合計	544,166	100.0	93	13,397

歳出の状況

款 名	3年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	被保険者1人当たり	
1 総務費	25,278	4.7	4	3,788
2 後期高齢者医療広域連合納付金	511,672	94.6	87	8,989
3 諸支出金	3,617	0.7	1	1,182
4 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	540,567	100.0	92	13,959

令和4年3月31日現在被保険者数
5,853人

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	増減理由
決算額 B	構成比(%)		
417,888	78.8	397,582	被保険者数の増加に伴う現年度分の保険料収納額の増
112	0.0	0	高齢者医療制度円滑運営事業費補助金(税制改正に伴うシステム改修費)の皆減
106,415	20.0	99,333	保険基盤安定繰入金及び職員給与費繰入金の増
393	0.1	110	
5,961	1.1	2,137	前年度繰越金の減
530,769	100.0	499,162	

(単位 千円)

2年度		元年度 決算額	増減理由
決算額 B	構成比(%)		
21,490	4.1	19,980	職員給与費の増
502,683	95.4	472,212	保険基盤安定負担金及び保険料納付金の増
2,435	0.5	1,009	一般会計への繰出金の増
0	0.0	0	
526,608	100.0	493,201	

令和3年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	3年度	2年度	元年度
歳入総額 A	544,166	530,769	499,162
歳出総額 B	540,567	526,608	493,201
歳入歳出差引額 (A - B) C	3,599	4,161	5,961
翌年度へ繰越すべき財源 D	0	0	0
実質収支 (C - D) E	3,599	4,161	5,961
単年度収支 F	△ 562	△ 1,800	3,824
積立金 G	0	0	0
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	0	0	0
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 562	△ 1,800	3,824

2 被保険者数の状況 (年度末現在)

(単位 人)

	3年度	2年度	元年度
75歳以上の者	5,828	5,547	5,470
65歳以上で障害認定を受けた者	25	29	33
被保険者総数	5,853	5,576	5,503
総人口	33,656	33,792	33,969
総人口に対する被保険者の割合	17.4%	16.5%	16.2%

3 職員数等の状況

	3年度	2年度	元年度
(一般職員) 職員数	3人	2人	2人
(一般職員) 平均年齢	42.09歳	43.03歳	42.03歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	291,933円	311,650円	307,000円

1 款 後期高齢者医療保険料

決算書 P289

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
434,012,000	428,030,730	10,142,777	417,887,953	397,581,374

後期高齢者医療制度の運営に必要な被保険者が負担する保険料（総医療費から自己負担分を除いた額の1割相当分）です。

■現年度分特別徴収保険料

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
調 定 額	306,310,100	8,116,700	298,193,400	277,021,250
収 入 済 額	306,483,600	7,979,100	298,504,500	277,238,390
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	0	—	0	0
収 納 率	100%	—	100%	100%

収入済額には還付未済額 173,500 円 (35 件分) が含まれています。

■現年度分普通徴収保険料

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
調 定 額	121,537,200	1,908,000	119,629,200	120,548,300
収 入 済 額	120,726,400	2,053,420	118,672,980	119,502,950
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	810,800	△164,720	975,520	1,063,730
収 納 率	99.3%	0.1 ポイント	99.2%	99.1%

収入済額には還付未済額 40,300 円 (8 件分) が含まれています。

■現年度分（特別徴収保険料及び普通徴収保険料）

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
調 定 額	427,847,300	10,024,700	417,822,600	397,569,550
収 入 済 額	427,210,000	10,032,520	417,177,480	396,741,340
不 納 欠 損 額	0	—	0	0
収 入 未 済 額	810,800	△164,720	975,520	1,063,730
収 納 率	99.9%	0.1 ポイント	99.8%	99.8%

収入済額には還付未済額 213,800 円 (43 件分) が含まれています。

■滞納繰越分普通徴収保険料

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
調 定 額	2,984,650	△54,755	3,039,405	2,874,209
収 入 済 額	820,730	110,257	710,473	840,034
不 納 欠 損 額	1,142,250	822,448	319,802	2,450
収 入 未 済 額	1,021,670	△987,460	2,009,130	2,034,175
収 納 率	27.5%	4.1 ポイント	23.4%	29.2%

高齢者の医療の確保に関する法律第 160 条の規定による時効のため、1,142,250 円 (4 名分) の不納欠損を行いました。

3 款 繰 入 金

決算書 P289

3年度予算	3年度決算 A	増 減 A-B	2年度決算 B	元年度決算
111,712,000	111,711,090	5,296,522	106,414,568	99,333,000

■保険基盤安定繰入金

後期高齢者医療に係る保険料の所得に応じた均等割軽減分及び被用者保険の被扶養者であった被保険者の軽減分を補うために必要となる県及び町負担金分を、一般会計から繰り入れました。

■事務費繰入金

後期高齢者医療制度の運営に必要な事務経費を、一般会計から繰り入れました。

■職員給与費繰入金

後期高齢者医療担当職員の人件費を、一般会計から繰り入れました。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
保険基盤安定繰入金	72,602,090	1,247,522	71,354,568	68,029,331
事 務 費 繰 入 金	17,954,000	△566,000	18,520,000	15,556,669
職員給与費繰入金	21,155,000	4,615,000	16,540,000	15,747,000
合 計	111,711,090	5,296,522	106,414,568	99,333,000

4 款 諸 収 入

決算書 P289

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
416,000	263,090	△130,349	393,439	110,277

■延滞金、加算金及び過料

後期高齢者医療保険料に係る延滞金です。

■還付金及び還付加算金

過誤納となった保険料を還付するための財源となる埼玉県後期高齢者医療広域連合からの収入金です。

■町預金利子

歳計現金の預金利子です。

(単位 円)

	3 年度 A	増 減 A-B	2 年度 B	元年度
延滞金及び過料	18,600	△83,900	102,500	31,200
償還金及び還付加算金	243,600	△46,440	290,040	78,400
町預金利子	890	△9	899	677
合 計	263,090	△130,349	393,439	110,277

5 款 繰 越 金

決算書 P291

3 年度予算	3 年度決算 A	増 減 A-B	2 年度決算 B	元年度決算
4,162,000	4,161,248	△1,799,872	5,961,120	2,137,337

令和2年度決算剰余金として、令和3年度に繰越したものです。

後期高齢者医療保険料徴収事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P294

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,512,000	2,106,747	0	0	0	2,106,747	0

〔主な実施内容〕

特別徴収(年金からの天引き)の月ごとの保険料額が平均になるよう平準化を行いました。

また、保険料の納付において口座振替のほか、コンビニエンスストア等での納付や PayB(ペイビー)によるスマホ決済を利用した納付環境を整備し、被保険者の納付方法にかかる選択の幅を広げるとともに簡易化に努めました。

保険料の公平かつ適切な徴収対策として、滞納者への電話催告や納付相談を実施し、滞納者の経済環境に配慮した徴収を実施しました。

参考：保険料軽減区分ごとの被保険者数（令和3年度最終調定時）

(単位 人)

一般		2,497
均等割	2割軽減	917
同	5割軽減	605
同	7割軽減	1,834
合計		5,853

※年金生活者支援給付金の支給の対象とならないこと等を踏まえて行われていた 7.75 割軽減の措置は令和2年度までとなり、令和3年度以降は制度本来の仕組みどおり 7割軽減となりました。

〔成 果〕

滞納者に対する納付相談や電話催告等を実施した結果、現年度分の普通徴収保険料の徴収率は前年度から 0.1 ポイント上がって 99.3%となりました。特別徴収保険料を含んだ現年度分全体の保険料の徴収率は、99.9%となりました。

後期高齢者医療広域連合納付金納付事業

〔国保・後期担当〕

決算書 P296

3年度予算 (円)	3年度決算 (円)	3年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
519,320,000	511,672,063	0	0	0	511,672,063	0

〔主な実施内容〕

共通経費負担金、保険基盤安定負担金及び町が徴収した保険料を埼玉県後期高齢者医療広域連合に納付しました。

(単位 円)

	3年度 A	増 減 A-B	2年度 B	元年度
共通経費負担金	10,439,998	130,580	10,309,418	9,181,175
保険基盤安定負担金	72,602,090	1,247,522	71,354,568	68,029,331
後期高齢者医療保険料	428,629,975	7,610,767	421,019,208	395,001,669
合計	511,672,063	8,988,869	502,683,194	472,212,175

〔成 果〕

埼玉県後期高齢者医療広域連合の適正な財政運営に寄与しました。